

2004(平成16)年度

# 講義内容

仏教学部

人駒澤大學

# 講 義 內 容

## 目 次

I	全 学 共 通 科 目	
	1 宗 教 教 育 科 目 .....	9
	2 教 養 教 育 科 目 .....	21
	(1) 人 文 分 野 .....	21
	(2) 社 会 分 野 .....	41
	(3) 自 然 分 野 .....	49
	(4) 総 合 分 野 .....	71
	3 外 国 語 科 目 .....	91
	4 保 健 体 育 科 目 .....	213
II	専 門 教 育 科 目 .....	255
III	他 学 部 履 修 科 目 .....	315
IV	短 大 仏 教 科 開 設 科 目 .....	387
V	「日本語」・「日本事情」科目 .....	393
VI	随 意 科 目 .....	409

全 学 共 通 科 目	宗教教育 科目
	人文分野
	社会分野
	自然分野
科 目	総合分野
	外国語科目
科 目	保健体育 科目
	専門教育 科目
履 修 科 目	他学部
	短大仏教科 開設科目
開 設 科 目	「日本語」
	「日本事情」
科 目	随意科目



# I 全学共通科目





# 1. 宗教教育科目



# 1. 宗教教育科目

仏教と人間 ( 禅 )	〈田 上 太 秀〉	.....	9
仏教と人間 ( 仏 )	〈長谷部 八 朗〉	.....	9
仏教と人間 [再クラス]	〈池 田 魯 参〉	.....	9
仏教と人間 [再クラス]	〈晴 山 俊 英〉	.....	10
仏教と人間 [再クラス]	〈福 田 孝 雄〉	.....	10
仏教と人間 [再クラス]	〈吉 津 宜 英〉	.....	11
文 化 と 宗 教	〈長谷部 八 朗〉	.....	12
社 会 と 宗 教	〈池 上 良 正〉	.....	12
自 然 と 宗 教	〈小 川 順 敬〉	.....	13
坐 禅	〈佐藤 秀孝・熊本 英人〉	.....	14





科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	た が み たい しゅう 田 上 太 秀	禅1必	4

- 講義のねらい 禅学科の学生対象であるので、禅思想の流れをインド・中国・日本にわたって講ずる。
- 履修上の留意点 出席カードを配り、出欠を取る。また、夏期休暇中、宿題を与え、レポートを作成させ成績点の一部に加える。
- 成績評価の方法 レポート・期末テスト・出欠点の三つを合して評価する。
- 教 科 書 田上太秀著『禅の思想』（東京書籍刊）1,429円
- 参 考 書 等 田上太秀著『禅語散策』（東書選書104）（東京書籍刊）1,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	は せ べ ほ ち ろ う 長 谷 部 八 朗	仏教1必	4

- 講義のねらい 仏教の教えや我が国の歴史上の主要な仏教者の思想や行動を通して、人間の精神生活に果たす仏教さらには宗教の意義を学ぶ。
- 講義の内容・授業スケジュール 前期には、原始仏教段階から大乘仏教にいたる仏教の展開史を、それらの教えの主要な特徴にふれながらたどり、仏教の歴史と現勢を概観する。  
後期には、日本仏教に着目し、空海、道元、日蓮、親鸞ほか、主に平安から鎌倉期にかけての仏教諸宗派の祖師に対する民衆の信仰の姿を浮きぼりにして、仏教と人間・社会との係りを探る。
- 成績評価の方法 成績評価の仕方は未定だが、授業で1、2回小論文を書いてもらい、評価に盛り込む予定である。
- 教 科 書 使用しない。
- 参 考 書 等 授業の中で、適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	い け だ ろ う さん 池 田 魯 参	禅・仏教2・3・4年	4

- 講義のねらい 一年間の講義を通じて、世界の諸宗教と比較して仏教にはどのような特色があるのか考えてみたい。
- 講義の内容・授業スケジュール 前期では、世界の代表的な諸宗教が成立する歴史的文化的背景を明らかにし諸宗教の特質を意義づけ、その上で仏教成立の史的意義を明らかにし、釈尊（ブツダ）の人間観はどういうものであったのか考えてみたい。  
後期では、釈尊滅後の教団史的展開の諸問題を、インド・チベットを始め中国・朝鮮・日本などの東アジア諸地域における仏教の伝播と変容の歴史的意義を明らかにし、仏教信仰に生きた人々の人生観はどういうものであったのか、具体的に考えてみたい。
- 履修上の留意点 日頃から宗教の問題に関心を持って、宗教に関して見識のある教養人を目指して学んで欲しい。虚心に見聞し自分の頭で考える習慣を身につけて欲しい。
- 成績評価の方法 夏休みの課題レポートと学年末試験（論文形式）を中心に評価する。
- 教 科 書 適宜、講義資料をコピーして、課題毎に参考書等を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	禅・仏教2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・  
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	ふく だ たか お 福 田 孝 雄	禅・仏教2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

宗教学の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参 考 書 等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よし じゅん よし ひで 吉 津 宜 英	禅・仏教2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	ほせべ ほんろう 長谷部 八郎	禅・仏教選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	いけ がみ よし まさ 池上良正	禅・仏教選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 と 宗 教	お <sup>が</sup> わ <sup>とし</sup> <sup>ゆき</sup> 小 川 順 敬	禅・仏教選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。  
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 (前期) (後期) 禅	さとう しゅうこう くまもと えいじん 佐藤 秀孝・熊本 英人	禅・仏教選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょ。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・  
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教 科 書

適宜、プリントにて配布します。

参 考 書 等

『坐禅-講本-』(更生社) 2, 226円

## 2. 教養教育科目



## 2. 教養教育科目

### (1) 人文分野

文学	[外国文学「ロシア文学」]	〈杉山秀子〉	21
歴史学	[古代オリエント史]	〈大城道則〉	21
芸術学	(1) [日本美術]	〈北野良枝〉	22
芸術学	(2) [西洋美術]	〈矢野陽子〉	22
芸術学	(3) [音楽]	〈赤羽由規子〉	23
哲学	[現代文明と人間]	〈黒崎剛〉	23
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈河谷淳〉	24
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈山口祐弘〉	24
論理学	[知の技法]	〈箭野浩司〉	25
論理学	[知の技法]	〈伊古田理〉	26
科学史	[科学と技術]	〈小宮山隆〉	26
倫理学	(1) [人間観]	〈古田知章〉	27
倫理学	(2) [応用倫理学]	〈黒崎剛〉	28
倫理学	(3) [価値観]	〈滝沢正之〉	28
倫理学	(4) [応用倫理学]	〈箭野浩司〉	29
倫理学	(5) [制度とモラル]	〈滝口清栄〉	29
倫理学	(6) [東洋倫理]	〈末木恭彦〉	30
宗教学	(1) [比較宗教文化]	〈池上良正〉	30
宗教学	(2) [聖と俗]	〈田中かの子〉	31
宗教学	(3) [思想と儀礼]	〈小川順敬〉	31
宗教学	(4) [組織と運動]	〈洗建〉	32
人文地理学	(1) [風土と文化]	〈竹林和彦〉	32
人文地理学	(2) [風土と文化]	〈高橋健太郎〉	33
人文地理学	(3) [空間と行動]	〈山口太郎〉	34
人文地理学	(4) [空間と行動]	〈伊藤修一〉	35
教育	の思想	〈豊田千代子〉	36
教育	の思想	〈北村三子〉	37
教育	と社会	〈豊田千代子〉	37
教育	と社会	〈北村三子〉	38
発達と学習	の心理学	〈大浜幾久子〉	38
発達と学習	の心理学	〈角野善司〉	39
カリキュラムと学習	と心理学	〈大浜幾久子〉	39
カリキュラムと学習	と心理学	〈角野善司〉	40

## (2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕	〈小畑和〉	.....	41
統計学〔社会現象の統計的分析〕	〈稲葉敏夫〉	.....	41
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈小川順敬〉	.....	42
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈鶏徳啓登〉	.....	43
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈藤本茂〉	.....	44
政治学〔国際社会と日本〕	〈内海麻利〉	.....	45
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	〈橋本泰明〉	.....	45
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石雄爾〉	.....	46
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳堀素雅子〉	.....	47
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野中弘敏〉	.....	48



## (3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	49
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	〈市川清士〉	49
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真理〉	50
自然環境論〔自然史と環境〕	〈藤井享〉	51
自然環境論〔環境と保全〕—夏季集中—	〈山縣毅〉	52
自然誌〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	53
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	54
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	54
数学(3)〔現代代数学入門〕	〈福田賢一〉	55
情報数学〔情報と論理〕	〈上原隆平〉	55
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	56
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	57
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	57
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)	〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉 58
コンピュータ基礎(2)(7)	〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉 59
コンピュータ基礎(3)(8)	〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉 60
コンピュータ基礎(5)	〔コンピュータの実際〕	〈澤口隆〉 61
コンピュータ基礎(10)(23)(24)	〔コンピュータの実際〕	〈上原隆平〉 62
コンピュータ基礎(11)(15)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈元木光雄〉 63
コンピュータ基礎(12)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈小沢誠〉 64
コンピュータ基礎(13)(17)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈山本博信〉 65
コンピュータ基礎(14)(18)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈長坂浩史〉 66
コンピュータ基礎(19)(21)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈澤口隆〉 67
コンピュータ基礎(16)(20)(22)	〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈小川健次郎〉 68
コンピュータ応用(1)(2)	〔コンピュータの原理〕	〈上原隆平〉 69
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈遠藤万里〉	69
心理学〔心を科学する〕	〈高橋良博〉	70
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—	〈堀内正彦〉	70

#### (4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈四津谷 孝 道〉	71
総合Ⅰ(2)〔仏教と社会〕	〈熊 本 英 人〉	71
総合Ⅱ	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	72
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡 崎 寿一郎〉	73
総合Ⅲ(3)〔中国語圏文化の諸相〕	〈岩 崎 皇 〉	73
総合Ⅳ(1)〔現代アメリカ事情〕	〈林 明 人 〉	73
総合Ⅳ(2)〔米国シアトルNPOの経営研究〕	〈西 村 祐 子 〉	74
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸 小 哲 雄 〉	75
総合Ⅴ	〈 休 講 〉	
総合Ⅵ(1)〔民族とは何か〕	〈大 野 祐 二 〉	76
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈吉 田 京 子 〉	76
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早 川 紀 代 〉	77
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈藤本 茂 他 〉	78
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈早川 純貴 他 〉	79
総合Ⅷ	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 〔外国文学「ロシア文学」〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	禅・仏教選	4

講義のねらい

女性学・男性学の観点からロシア文学の名作といわれているものを取りあげ、既成の価値観や評価をあらいなおしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

プーシキンの『エフゲーニー・オネーギン』、トルストイの『アンナ・カレーニナ』、『戦争と平和』、チエホフの『子犬を連れて奥さん』その他の作品をDVDでとりあげ、当時の時代背景の中で浮き彫りにされた女性と男性の関係性を分析してみる。

成績評価の方法

出席回数、各人のディベートと、レポートで総合的に評価する。

教科書

プリントを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴 史 学 〔古代オリエント史〕	おお しろ みち のり 大 城 道 則	禅・仏教選	4

講義のねらい

古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール

ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市バルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- ① 地中海世界の中のエジプト
- ② 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- ③ 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- ④ 古王国時代のエジプト
- ⑤ 新王国時代のエジプト
- ⑥ メソポタミアの古代都市
- ⑦ 鉄の王国ヒッタイト

後期

- ⑧ 古代エーゲ文明の成立
- ⑨ 東方化の時代と大植民時代
- ⑩ エトルリア文明
- ⑪ 古代ローマ帝伝
- ⑫ 火山で埋もれた都市ポンペイ
- ⑬ 古代ローマ人の食生活
- ⑭ 砂漠の隊商都市バルミラの歴史

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）

その他

スライドとビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	きたのよしえ 北野良枝	禅・仏教選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 室町から桃山時代の絵画  
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識  
 (3) ~ (7) 室町時代の水墨画 (8) ~ (10) 阿弥派、土佐派、狩野派  
 (11) ~ (12) 狩野永徳と桃山画壇  
 (後期) 江戸時代の絵画  
 (13) 江戸時代の狩野派 (14) ~ (17) 琳派  
 (18) ~ (19) 浮世絵 (20) 南蘋派  
 (21) 文人画 (22) 秋田蘭画と司馬江漢  
 (23) 伊藤若冲と曾我蕭白 (24) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	やのようこ 矢野陽子	禅・仏教選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちとは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術  
 イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム  
 (後期) 17・18世紀の美術  
 バロック美術 (イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス)／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 〔音楽〕 (3)	<small>あか</small> 赤 <small>ぼ</small> 羽 <small>ゆきこ</small> 由規子	禅・仏教選	4

講義の内容・  
授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	<small>くろ</small> 黒 <small>さき</small> 崎 <small>つよし</small> 剛	禅・仏教選	4

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 以下のテーマを取り上げる予定
1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか。
  2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
  3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
  4. 労働の哲学的意義
  5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
  6. 二十世紀の人間解放論
  7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別になりに抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわ 谷 淳 <small>かわけ たに あつし</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

日常において私たちがまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、ここでは思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気なく発せられた単発の文（命題）にしてみても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした「流れ」の妥当な形式とは何かを考える学だということができよう。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらにそれを身につける訓練をつむことにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。  
 前期：伝統的論理  
 (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）  
 (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）  
 (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）  
 後期：現代論理（記号論理）入門  
 (d) 命題論理（日常言語の記号化と証明）  
 (e) 述語論理（日常言語の記号化と証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出欠の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	やま ぐち まさ ひろ <small>やまぐち まさひろ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- |  |   |
|--|---|
| <p>【前期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 論理学とは何か</li> <li>2. 思考の原理</li> <li>3. 同一性と同一律</li> <li>4. 関係の思想</li> <li>5. 対立と矛盾</li> <li>6. 矛盾の概念</li> <li>7. 判断論</li> <li>8. 無限判断</li> <li>9. 二律背反</li> <li>10. 弁証論</li> <li>11. 無限性の思想</li> <li>12. 論理思想の比較</li> </ol> | <p>【後期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 記号論理学の基本思想</li> <li>2. 真理関数</li> <li>3. 標準形</li> <li>4. 公理体系</li> <li>5. 定理の演繹</li> <li>6. 同</li> <li>7. 同</li> <li>8. 体系の条件</li> <li>9. 述語論理学</li> <li>10. 無矛盾性、完全性、決定問題</li> <li>11. 伝統的論理学との対応</li> <li>12. 三段論法の基礎付け</li> </ol> |
|--|---|

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論 理 学 〔知の技法〕	矢野 浩 司	全学科選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。(ただし、この授業は伝える内容は育成しません。内容は自分で育成してください。この授業が育成するのはメッセージを伝達する形式に関わる部分のみです)

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・  
授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジュアル戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人の参加は歓迎します。この授業は今年で三年目となり、すでに単位を取っているのにスキルアップのために参加し続けている人がいます。そんな熱心な人たちのために今年は、有段者の黒帯、あるいはトーナメントの勝者に与えられるトロフィーに相当するものを認定する制度をつくりたいと思います。それについてもプレゼン・バトルで決定しますので、アイデアを練っておいてください。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教 科 書

プリントを配布します。

参 考 書 等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでもに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）  
副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔科学と技術〕	小宮山 隆 <small>こみやま たかし</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

近代科学の成立およびその展開に深いかかわりをもつ「技術」のいくつかを軸に、科学と技術および社会との関連を視野に入れ、歴史を概観する。科学と技術はしばしば車の両輪にたとえられるが、新しく登場した技術が科学の進展を促すばかりでなく、阻害するケースもあり、そうした個々の事例をふまえて今日の科学技術文明を考える手がかりとしたい。後期には、IT、バイオ、ナノテクノロジー等、現代技術の動向についても紹介する。

履修上の留意点

自然科学的な知識は特に前提としないが、それだけに講義に対する積極的な取り組みが受講の要件となる。

成績評価の方法

出席状況、レポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。  
なお、試験については、「覚える」ことを強いる必要はないと思われるので、原則として、教科書・ノート等の参照を可とする。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふるたともあき 古田知章	全学科選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

- 〔前期〕人間観の形成の歴史
1. 人間と倫理 一人間であるために―
  2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
  3. 中世キリスト教思想における人間観
  4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―
- 〔後期〕新しい時代の人間観
1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
  2. 自己の内面性と他者の問題
  3. 人格 ―ロックを手がかりに―
  4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	黒崎 剛 <small>くろ さき つよし</small>	全学科選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にしている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定。

1. 生命の倫理—講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」—人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢 正之 <small>たき ざわ まさゆき</small>	全学科選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。  
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。  
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。  
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。  
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	矢野 浩司	全学科選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行つて、バックされた牛肉を買つて、ポリエチレン製の袋に入れてもらつて、家に持って帰つて食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。多くの人は選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、論理の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT 犯罪、IT 汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、殺人、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。

履修上の留意点

本年度は、授業終了後に希望者のみでグループ・ディスカッションを行います。この部分に関しては単位は出ませんが、意見を深めたい者、ディスカッション能力を高めたたい者は参加してください。参加希望者がいない場合は行いません。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーとディスカッション能力で評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清栄	全学科選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあつても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生を可能にするよりよき制度をめぐり思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	末木 恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の間で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知るとは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知るとは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。このような重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、このような問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	池上 良正 <small>いけ がみ よし まさ</small>	全学科選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①「宗教」概念の成立とその意義。②人類史と宗教。③現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	たなか のこ 田 中 かの子	全学科選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

拙著『比較宗教学―「いのち」の探求―』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	おがわ としゆき 小 川 順 敬	全学科選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょう。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい けん 洗 建	全学科選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実面に即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人 文 地 理 学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ばやし かず ひこ 竹 林 和 彦	禅・仏教選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討していく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス                | 10. 文化景観          |
| 2. 人文地理学の学問的性格          | 11. 文化伝播          |
| 3. 人文地理学の基本概念           | 12. 東南アジアの風土と文化   |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法      | 13. 東アジアの風土と文化    |
| 5. 人文地理学と地誌学            | 14. 市場の風景         |
| 6. 地理学にとって文化とは何か？       | 15. 都市での居住（都市の文化） |
| 7. 地域とは（地域の概念）          | 16. 都市と農村         |
| 8. 文化地域                 | 17. まとめ           |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ |                   |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(2) 〔風土と文化〕	たかほしけんたろう 高橋健太郎	禅・仏教選	4

## 講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

## 講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。◇人文地理学の位置づけ、◇文化伝播、◇文化生態、◇文化景観、◇文化変容、◇大衆文化、◇基層文化、◇居住、◇観光開発、◇地図、◇地名、◇空間認知、◇地域イメージ。

## 履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し提出してもらう。

## 成績評価の方法

教場レポートの内容(30%)と定期試験の結果(70%)で採点する。

## 教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

## 参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	山口太郎 <small>やまぐち たろう</small>	禪・仏教選	4

講義のねらい

都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなごしを養うことを目的とする。本講義は、受講生の都市でのフィールドワークに対し、地理学的な切り口を提示していく。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなごしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- I 東京の自然史
  - II 東京の歴史社会地理  
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰
  - III 先達による都市観察・記述  
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライブヒストリー
- (後期)
- IV 都市の中の差異  
都市計画、時間地理学、認知地図
  - V 都市民の憂鬱  
選好地図、まなごしの権力性、都市と故郷、都市の集団の風景
  - VI 商品としての都市  
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統、住民参加のまちづくり

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書

前期に以下のテキストを使用する。  
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。  
エドワード・レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）  
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）  
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他

講義は受講生のまち歩きを楽しくし、批判的なまなごしを身につけるための一助の場と位置付けたい。そのため、この1年間自発的にまち歩きをして欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	禪・仏教選	4

## 講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動しています。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくありません。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されていることは明らかです。ここでの目的は、次のような講義を通じて、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することです。前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説します。後期には、都市の形成や変化に不可欠な人口動態と移動の傾向を把握し、都市に関する既存の実証研究を紹介し、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきの理解をねらいます。

講義の内容・  
授業スケジュール

[前期] イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3~7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)  
[後期] 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3~8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

## 履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがありますので、高校数学や統計学などの知識を持っているとより理解が深まるでしょう。

## 成績評価の方法

原則として学年末の試験結果から評価しますが、出席状況も考慮する予定です。

## 教科書

講義では資料を随時配布します。

## 参考書等

坂本英夫・浜谷正人編 (1985) 『最近の地理学』 大明堂  
富田和暁・藤井 正編 (2001) 『図説 大都市圏』 古今書院  
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましいです。

## その他

プロジェクターを用いて講義を行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 の 思 想 (前期)	とよ た ちよ こ 豊 田 千代子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読んでみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教 科 書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周辺的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

J, デューイ『学校と社会』(岩波文庫)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	とよたちよこ 豊田千代子	禅・仏教2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返し  
自分たちが受けてきた教育をふり返し、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権  
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	禅・仏教2選	2

講義のねらい	教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。
講義の内容・授業スケジュール	①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。 ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。
履修上の留意点	この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。
成績評価の方法	出席状況とレポートにより評価します。
参考書等	教場で指示
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。 この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	禅・仏教2選	2

講義のねらい	子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。
講義の内容・授業スケジュール	1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。
成績評価の方法	レポート提出を中心とした評価の予定である。
教科書	参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。
その他	この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。 この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	すみの 角野 ぜん じ 善 司	禅・仏教2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期  
(7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感  
(11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13・15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのももちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出题して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数半分の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おお しま きく こ 大 浜 幾 久 子	12以降入学生/禅・仏教2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』文部科学省  
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	すみの ぜんの じ 角 野 善 司	12以降入学生/禪・仏教2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)カリキュラム(教育課程)とは (2)カリキュラムに関する法制  
 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史  
 (5・7)平成10年(11年)学習指導要領改訂の経緯と基本方針  
 (8・10)平成15年学習指導要領改訂の経緯と基本方針  
 (11・12)平成15年改訂学習指導要領の下での教育評価 (13・15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数 $\times$ の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

開講時に指示します。講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせ、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔社会生活を考える〕	お ば かと 小 畑 和	禅・仏教選	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切切組み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一の立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- ①マクロ的の要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)
- ②誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)
- ③幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
- ④家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)
- ⑤消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
- ⑥会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
- ⑦老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	い ば とし お 稲 葉 敏 夫	禅・仏教選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』(共立出版) 2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔社会変化と価値観〕	お 川 順 敬 <small>がわ とし ゆま</small>	禪・仏教選	4

社会分野

講義のねらい

文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思います。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はいとくひろとう 鶏徳啓登	禅・仏教選	4

#### 講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成るべく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。

後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。

さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

社会分野

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 前期

- 4・5月
  - 法とは何か
  - 法の種類
  - 法源
  - 法の生成（日本法の歴史）
  - 法と裁判の基礎知識
  - 国家の基礎知識
- 6・7月
  - 民法と商法の考え方
  - 裁判法、刑法、社会法の考え方

##### 後期

- 9・10月
  - 憲法とその原理について
  - 基本的人権の保障
- 11・12月
  - 統治機構について
  - 年間のまとめと「家」制度について

#### 履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになる。

#### 成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

#### 教科書

山口嘉三、大久保治男編『法学要説』（芦書房刊）2,800円

#### 参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより参考資料を配布する。

#### その他

授業の方法は講義です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 (夏季集中)	ふじもと しげる 藤 本 茂	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

本講義は、法についての基礎的事項の学習や新聞などによる身近な法的問題の解説を通して、以下のことを学んでもらうことを目的としている。

- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方にふれてもらう。
- ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
- ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法に触れて感じてもらうことにつとめたいと思う。教科書を順次説明するという形式はとらない。もっぱら、プリントを配布するなどして授業を進める。

出席することが重要になる。

講義スケジュールについては、

- ・法的思考を形成する基本的な諸概念
- ・現代法にいたる法の発展（西欧近代法の形成をふくむ）の概観
- ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理
- ・基本的人権
- ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

履修上の留意点

講義中、質問は歓迎。私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

成績評価の方法

記述式試験。また、出席を重視する。レポート等を実施することもある。これらを総合して評価する。

教科書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』（有斐閣双書）。学習の道しるべとして大いに活用してもらいたい。また、講義で言及できない部分を教科書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

参考書等

参考書として、たとえば、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』（有斐閣）、渡辺洋三『法とは何か』（岩波新書）。その他授業で、読んでほしい文献を紹介する。

その他

六法は、毎回は使わないが、持参して授業に臨んでほしい。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	うち内  うみ海  まり麻  り利	禅・仏教選	4

講義のねらい

本講義は、人間集団における秩序の形成と解体をめぐる、人が他者に対して、また他者と共に行う営み、あるいは権力・支配・自治・政策にかかわる現象であるとされる政治を、その現象が色濃く反映される都市計画やまちづくりという側面から見ることで学生諸君の興味と理解を深めることを目的としている。主たる視点は、国際的な都市比較による政治と都市計画の関係、また、市民によるまちづくりに見る政治のあり方などである。具体的には、都市形成過程、土地利用と都市整備、環境保全と景観創造、都市再生、協議型まちづくり等、都市計画やまちづくりにおける多様な事例を用いて政治を考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、各回毎にテーマを設定して講義を行うが、詳しいスケジュールについては、第1回目の授業の際に配付する。

履修上の留意点

都市計画やまちづくりに関する新聞、報道などニュースを日常的に見ていることが望ましい。

成績評価の方法

授業への出席、レポート、学期末試験の成績などを中心に評価する。

教科書

『政策過程論』（学陽書房）2004年 価格未定

参考書等

授業中に随時提示し、さらに詳細な考察を望む学生にはテーマに沿う参考書を推薦する。

社会分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	はし橋  もと本  ひろおき  泰明	禅・仏教選	4

講義のねらい

経済学的なものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、日本経済の現状を念頭におきつつ、一国の国民の所得や労働環境の決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が、ものの価格の決定にどう作用するのかを理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：日本経済の概観 経済循環 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 物価為替変動と国民所得  
後期：需要と供給 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論の基礎を理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考し、論理展開を十分理解することが大切である。いったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利き、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教科書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石雄爾	禅・仏教選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときには、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホッブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）  
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）  
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）  
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり す が こ 柳 堀 素雅子	禪・仏教選	4

#### 講義のねらい

死の問題をさまざまな視点から考えていく。病気による死、殺人による死、事故による死、戦争による死、自殺死など死の原因はさまざまである。いずれにしても「人間の死」には変わらないが、死んでいく本人、そして遺族をはじめとする周囲の人々に与える影響は異なってくる。

現在のところ「デス・エデュケーション」あるいは「死生学」という形で、これらを総合的に取り扱っている文献はほとんど見あたらないが、講義の中ではこれらの死を総合的に取り扱う予定である。あらゆる分野、多くのパースペクティブを必要とする内容なので、読書力、思考力、創造力、分析力などを働かせて、真剣に取り組んでもらいたい。人間の死を考えるには、それだけの人格を備えている必要があります。

社会分野

#### 講義の内容・授業スケジュール

- ①先端医療と死の問題—生命倫理の視点から取り扱う。医療の進歩と患者の人権。
  - ②戦争と死の問題—平和とは何か。核と人類。ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、アウシュヴィッツ
  - ③環境倫理と死の問題—水俣病と公害問題。レイチェル・カーソンの警告。環境ホルモン。遺伝子組み換え食品の問題等。
  - ④自殺と死の問題—自殺者の心理と自殺防止の問題。遺族の気持ちとグリーフケア
  - ⑤犯罪事件と死の問題—犯罪者の分析。犯罪被害者および遺族のケア、犯罪防止の問題。
- ①～⑤のテーマをすべて取り扱うとは限らないが、講義のはじめに参加者と協議の上決めていく。

#### 履修上の留意点

授業中に何回もレポートを提出してもらうので、講義に出席する意欲のない人は履修しないでほしい。

#### 成績評価の方法

レポートの提出状況と出席状況など総合的に評価する。

#### 参 考 書 等

講義中にその都度お知らせします。

#### そ の 他

ビデオ、OHP も使用する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理学 〔大学生の心理教育臨床心理学の立場から〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	禅・仏教選	4

社会分野

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中 村 敏 枝	禪・仏教選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。地球温暖化についてその背後にある社会・経済問題も視野にいれながら考察したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1-5) 地球の歴史と生命の期限  
(6-13) 生態系のしくみ  
(後期) (14-21) 生物の生活-植物群落の遷移・動物の生殖行動  
(22-26) 地球温暖化-生態系に与える影響・代替エネルギー

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 球 科 学 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわきよし 市 川 清 士	禪・仏教選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この間に答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動(プレートテクトニクス)、氷河期(気候変動)などの大きなスケールの変動について探っていきます。

後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていききたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること(できれば最新のものが望ましい)。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教 科 書

『地表環境の地学 一地形と土壌一』(東海大学出版会) 2,500円

参 考 書 等

参考書はその都度紹介します。

そ の 他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持つような講義を行おうと考えています。

また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔生命と環境〕	もちまるま 持丸真里	禪・仏教選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・  
授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2・3) 生物とは何か (4・5) 生命の誕生と地球環境 (6・7) 地球温暖化 (8・9) 生態系内の物質循環 (10) 生産者の働きと生態系 (11・12) 森林破壊 (13) 前期まとめ
- (後期) (14・15) 生態系の浄化作用 (16~18) 化学物質による生態系汚染 (19・20) ダイオキシン問題 (21・22) 環境ホルモン (23) オゾン層破壊 (24・25) 近代農業の問題 (26) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参 考 書 等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』(日本実業出版社) 1,500円  
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔自然史と環境〕	藤井 享 <small>ふじ い すすむ</small>	禅・仏教選	4

#### 講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約72,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,900万 km<sup>2</sup>もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の自然環境
- ③ 日本列島周辺の気候帯と植生分布
- ④ 植生の垂直分布と森林限界
- ⑤ 周氷河気候と自然環境
- ⑥ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑦ 日本海の古環境
- ⑧ 海面変動と陸橋の形成
- ⑨ サハリンの植生史
- ⑩ 後氷期の自然と環境

スケジュールは前期：①～④、後期：⑤～⑩を予定

#### 履修上の留意点

この講義は、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。

講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

#### 成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

#### 教科書

使用しない。

#### 参考書等

講義の中で紹介する。

#### その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔環境と保全〕 (夏季集中)	やま がた たけし 山 縣 毅	禅・仏教選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化  
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害  
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○	○	○		8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○	○	○		8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○	○	○		8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○	○	○		8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○	○	○		8月26日 木						
8月7日 土	○	○	○	○	○		8月27日 金	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	禪・仏教選	4

### 講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラール・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてはしい。

### 講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

#### 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
- (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
- (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
- (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
- (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）

#### 第2講 地球の地殻変動と災害 山縣 毅

- (1) 地球のシステム（地球内部・表層での現象）
- (2) 地震のメカニズムと災害
- (3) 火山活動のメカニズムと災害

#### 第3講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
- (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
- (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
- (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）

#### 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里

- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
- (2) エネルギー消費と「豊かさ」
- (3) 化石燃料の化学
- (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
- (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

### 履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

### 成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

### 参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	禅・仏教選	4

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的な思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、関数の極限と導関数・いろいろな関数の導関数・関数の変動・いろいろな応用を、後期に、定積分と不定積分・積分の計算・面積・曲線の長さ・体積・いろいろな応用を扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	『新訂 微積分 I』(大日本図書) 1,524円
参考書等	適宜紹介する。
その他	毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (2) 〔線形代数学入門〕	お ざわ まこと 小 沢 誠	禅・仏教選	4

講義のねらい	数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的な思想を身に付けることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期に、平面のベクトル・空間のベクトル・行列・連立1次方程式と行列を、後期に、行列式の定義と性質・行列式の応用・線形変換・固有値とその応用を扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。
教科書	『新訂 線形代数』(大日本図書) 1,619円
参考書等	適宜紹介する。
その他	毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	福田 賢一 <small>みく だ けん いち</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計る。情報基礎数理、経済数理に力点を置き、実践な応用力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：論理の基礎、論理と言語、情報理論と数理、論理回路、線型代数とその応用、  
後期：線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用

履修上の留意点

予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。

成績評価の方法

前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。

教科書

使用しない。プリントを配布する。

参考書等

必要となり次第指示する。

その他

教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数 学 〔情報と論理〕	上原 隆平 <small>うえ はら りゅう へい</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。

講義の内容・授業スケジュール

まず始めに基礎的な数学を学ぶ。次に形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。そしてオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行なわない。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

J.ホップクロフト、R.モトワニ、J.ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I 〔第2版〕』（サイエンス社）2,800円（2003年発売の〔第2版〕であることに注意）



科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	しの 篠原まさお 篠原正雄	禪・仏教選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 曇気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気のをさぐる』（岩波新書）563円  
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸真里	禅・仏教選	4

#### 講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2・3) 物質の成り立ち (4) 水の性質 (5~7) 有機化学の基礎 (8・9) 合成繊維 (10) 染料 (11・12) 合成洗剤と水質汚濁 (13) 前期まとめ  
後期 (14・15) タンパク質 (16・17) 遺伝子 (18) 遺伝子情報の社会への影響 (19・20) 遺伝子組み換え食品 (21) 食品の安全性 (22) 住環境の化学物質汚染 (23) まとめ

#### 履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストップックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

#### 成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

#### 参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのほらまさお 篠原正雄	禅・仏教選	4

#### 講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。  
太陽：構造 エネルギー源  
恒星：研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源  
後期は銀河をとりあげます。  
銀河系：星団 星雲 恒星の運動 星生成領域  
銀河：銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造  
宇宙：宇宙膨張 ビッグ・バン

#### 成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

#### 教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』(地人書館) 1,800円

#### その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ざわ まこと 小 沢 誠	禅・仏教選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教 科 書

HTML4.01Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やま ちと ひろ のぶ 山 本 博 信	禅・仏教選	2

#### 講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含まれます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができるようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本  
 (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信  
 (6~7) ワープロソフトと日本語変換 (8~10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷  
 (11~12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成  
 (13) 総合演習

#### 履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

#### 成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポート、授業の最終回で行う実技試験によって行います。

#### 教科書

未定

#### 参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

#### その他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわ ぐち たかし 澤 口 隆	禅・仏教選	2

#### 講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、

CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

#### 履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

#### 成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

#### 教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

#### 参考書等

同上

#### その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	禅・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやらなければならないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は假定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

村井純著『インターネット』（岩波新書416）630円および村井純著『インターネットⅡ』（岩波新書571）640円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 雄 元 木 光 雄	禅・仏教選	2

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(15)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金						
8月3日	火				○	○	○	8月23日	月						
8月4日	水				○	○	○	8月24日	火						
8月5日	木				○	○	○	8月25日	水						
8月6日	金				○	○	○	8月26日	木						
8月9日	月				○	○	○	8月27日	金						



科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小 沢 誠 お ざわ まこと	禅・仏教選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教科書

HTML4.01Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程  
コンピュータ基礎(12)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月	△	△	△				8月27日	金						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山本博信	禅・仏教選	2

講義のねらい

コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成してWebページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場（業務）ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でもとても大事なものです。ここでは特に描き方（ビジュアル表現）についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
  - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
  - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行います。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介します。

その他

実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程

コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	△	△	△				8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○				8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(17)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金	○	○	○			
8月3日 火							8月23日 月	○	○	○			
8月4日 水							8月24日 火	△	△	△			
8月5日 木							8月25日 水	○	○	○			
8月6日 金							8月26日 木	○	○	○			
8月9日 月							8月27日 金	○	○	○			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (14)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	禅・仏教選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。  
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。  
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2 日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。  
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○				8月23日 月						
8月4日 水	△	△	△				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○				8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(18)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月				○	○	○	8月20日 金						
8月3日 火				○	○	○	8月23日 月						
8月4日 水				△	△	△	8月24日 火						
8月5日 木				○	○	○	8月25日 水						
8月6日 金				○	○	○	8月26日 木						
8月9日 月				○	○	○	8月27日 金						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さわぐち たかし 澤 口 隆	禅・仏教選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(19)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金	○	○	○			
8月3日	火							8月23日	月	○	○	○			
8月4日	水							8月24日	火	○	○	○			
8月5日	木							8月25日	水	○	○	○			
8月6日	金							8月26日	木	○	○	○			
8月9日	月							8月27日	金	△	△	△			

△は予備日

コンピュータ基礎(21)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金				○	○	○
8月3日	火							8月23日	月				○	○	○
8月4日	水							8月24日	火				○	○	○
8月5日	木							8月25日	水				○	○	○
8月6日	金							8月26日	木				○	○	○
8月9日	月							8月27日	金				△	△	△

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お 川 健次郎 <small>がわ けんじろう</small>	禪・仏教選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程  
コンピュータ基礎(16)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○				8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○				8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○				8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○				8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○				8月26日	木						
8月9日	月	△	△	△				8月27日	金						

△は予備日  
コンピュータ基礎(20)

前半前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月				○	○	○	8月20日	金						
8月3日	火				○	○	○	8月23日	月						
8月4日	水				○	○	○	8月24日	火						
8月5日	木				○	○	○	8月25日	水						
8月6日	金				○	○	○	8月26日	木						
8月9日	月				△	△	△	8月27日	金						

△は予備日  
コンピュータ基礎(22)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月							8月20日	金	○	○	○			
8月3日	火							8月23日	月	○	○	○			
8月4日	水							8月24日	火	○	○	○			
8月5日	木							8月25日	水	○	○	○			
8月6日	金							8月26日	木	○	○	○			
8月9日	月							8月27日	金	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	禅・仏教選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・  
授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料はWWWを通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数logなど）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

山崎秀記『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,000円

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	禅・仏教選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・  
授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤万里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については 遠藤万里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	高橋 良博 <small>たか ぼし よし ひろ</small>	禅・仏教選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

履修上の留意点

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

成績評価の方法

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	堀内 正彦 <small>ほり うち まさ ひこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などどのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○	○	○		8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○	○	○		8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○	○	○		8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○	○	○		8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○	○	○		8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○	○	○		8月27日 金	△	△				

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつ や こう どう 四津谷 孝 道	全学科選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。

それを前提にして、「仏教と肉食主義」というテーマを、インド思想全体の関連の中で検討する。もう一つのテーマは「仏教と医学」である。このテーマの下に、特にインド・チベットの伝統医学の中にその自然観・人間観を探ってみる。

履修上の留意点

外国語の文献を扱うことが多いので、受講生は英語、ドイツ語、フランス語のある程度の語学力を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

その他

特になし。

総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	全学科選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教への期待、社会の現実などをみていくことで、現代への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	全学科選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

講義の内容・  
授業スケジュール

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

GRADING, AGAIN: Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

Textbook and materials: We will probably use *Social Practices*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	全学科選	4

#### 講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

#### 成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

#### 参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔中国語圏文化の諸相〕	いわさき ひろし 岩崎 皇	全学科選	4

#### 講義のねらい

同じ漢字文化圏の国として、中国の、漢字に関する言語政策を紹介します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

文字改革と80年以降の情報化社会に対応する政策を中心に解説します。

#### 成績評価の方法

出席及び授業態度で判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし あま と 林 明 人	全学科選	4

#### 講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

#### 成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

#### 教科書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔米国シアトルNPOの経営研究〕	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科選	4

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO(非営利組織)は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれるが、なかでもまちづくり(コミュニティビルディング)において市民と自治体の協同がとりわけて盛んでユニークな発展を続けているワシントン州、シアトル市の事例をとりあげてみる。さらに日本におけるまちづくりのありかたとの比較を行う。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い  
 コミュニティ・ビルディングとまちづくり  
 シアトルのまちづくり  
 シアトル・アジア系住民のまちづくり  
 自治体とNPOの協同について  
 日本のまちづくりとシアトル

成績評価の方法

平常点(出席率、レポート内容)重視。

教 科 書

教場にて指定。

参 考 書 等

教場にて指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まる こ てつ お 丸 小 哲 雄	全学科選	4

#### 講義のねらい

本講義の狙いは、受講生の既存概念に対して兆発することで、既視感に対して違和感を抱くように講義します。それを念頭において、近代化の啓蒙思想を批判し、それを乗り越えるための主体性としての自己組織の確立を目指すことにあります。ポストモダン概念を整理し、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うための批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史の思想を批判すること(帝国主義と植民地化に対する批判)にあります。そのために「大きな物語」の終息後に、どのようにして世界を再構築していくかが現代的な問題となります。

本講義においては、基本的に、近代の思想を担った思想家たちをモデルにして、その論理的枠組み、哲学・宗教の思想的な特徴、経済・政治におけるメカニズムと思想史的な特徴などのさまざまなキーワードを手がかりにして、近代思想の根拠を跡づけて、ポストモダンの現象と批判的立場を明確化していきます。前期では、近代建築史、広告批評史、エロスの解放問題、ファッション・モードの変遷、映画の変遷過程の特徴、文学と文学理論の特徴、近代を乗り越える根拠を原理的に見出すように講義していきます。従って、受講生がどのようにして主体性を形成するかが受講生の課題となります。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んで、前期と後期にレポートを作成します。講義の骨子は以下の通りです。

1. 「モダン」の定義とポストモダンの特質について
2. 近代言語観の変遷について
3. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
4. 近代における人間観、宇宙観、社会観の変遷について
5. 西洋の理性批判(啓蒙思想批判)について
  - 1) ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス、ショーペンハウエル、
  - 2) ニーチェとハイデガー 3) マック・ヴェーバー 4) ミュシエル・フーコー
6. トランスモダン  
横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
7. レビュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

#### 成績評価の方法

出席、前期・後期の読書レポート(リストから選択)、タム・ペーパー作成などの総合評価。

#### 教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

#### 参考書等

リーディング・リスト配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おおの 野 祐 二	全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的な方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめませんが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)  
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)  
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

総合分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よし だ 京 子	全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフィズム等々の思想トピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ(3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	全学科選	4

講義のねらい

この世の中はあたり前のことだけれども、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっている。この両性の関係はどんな風に私たちの社会の中で構成されているだろうか。それをつぎの分野でみなさんとともに考えます。私たちはどんな両性関係を望んでいるのか。私たちが理想とする両性関係を創造するには、どんなことが必要か、みなさんと考えます。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期

- a. ジェンダーってなに？  
フェミニズムやジェンダーという考え方が誕生した歴史背景と私たちがもっているジェンダー観を考えます。
- b. セクシュアリティとジェンダー  
性同一性障害、ドメスティックバイオレンス、ホモセクシュアルとヘテロセクシュアル、生殖技術の発展と人間の歴史などを考えます。

後期

- c. 家族の過去、現在、未来  
日本の家族の歴史をふり返りながら、みなさんが生まれ、現在にいたるまでの間に、どんな風に家族の機能や形、人間関係、家族観が変わったか、今後の家族のあり方をさぐります。
- d. 労働とジェンダー  
2003年10月の新卒の就職率は60パーセント。企業の雇用戦略が変貌する過程で男女の配置はどうなっているのか。男女がともに家族と労働の生活をおくるには何が必要か、考えます。

成績評価の方法

前期 夏休みに課題のレポートをまとめ提出する。  
後期 論述式試験。

そ の 他

随時、感想文などを提出してもらおう。なるべくみなさんの間で意志交換できるようにする。資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔トラブルと法的解決〕	藤本 茂・荒木 正孝 竹中 智香・原田啓一郎 日笠 完治・山口 邦夫	全学科選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・  
授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治      トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫      刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香      変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝      現代社会と商法
- 5 藤本 茂      現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎      大学生生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ 〔都市論〕 (2)	早川純貴・浦田早苗 品田知美・坂井文 保坂尚郎	全学科選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学や建築学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

**早川純貴**『都市論』のガイダンス（1回/4月）

**品田知美**「都市の変容と生活様式」（6回/4・5月）——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

**保坂尚郎**「都市と労働」（6回/6・7月）——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

**坂井文**「都市オープンスペースの公共性」（4回/9月・10月）——公共性の概念は、時代・文化とともに変容していく。本講座は、都市施設の一要素である都市オープンスペース整備の政策に注目しながら、その公共性のあり方について考察することを目的とする。具体的には、ロンドンと東京の歴史的な都市オープンスペースの概念の形成について考察したうえで、現在の政策について検証する。

**早川純貴**『「まちづくり」と住民参加』（4回/10・11月）——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

**浦田早苗**「イギリスの都市はおいしい」（4回/11・12月）——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

総合分野

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。



総合分野

### 3. 外 国 語 科 目

外  
国  
語

外国語

### 3 . 外国語科目

#### 《必修・選択必修科目》

##### 〔英 語〕

英語	I A	( 禪 )	〈高橋 寛〉	91
英語	I A	( 禪 )	〈田中 保〉	91
英語	I A	( 仏 )	〈伊勢村 定雄〉	92
英語	I A	( 仏 )	〈三幣 友行〉	92
英語	I A	( 仏 )	〈牧野 輝良〉	93
英語	I A	( 禪仏 )	〈山縣 裕〉	93
英語	I B	( 禪 )	〈岡崎 寿一郎〉	94
英語	I B	( 禪 )	〈三幣 友行〉	94
英語	I B	( 仏 )	〈国見 晃子〉	94
英語	I B	( 仏 )	〈本間 章郎〉	95
英語	I B	( 仏 )	〈小山 太一〉	95
英語	I B	( 禪仏 )	〈前田 脩〉	95
英語	II A	( 禪 )	〈矢島 直子〉	96
英語	II A	( 禪 )	〈佐藤 勝〉	96
英語	II A	( 仏 )	〈山縣 裕〉	97
英語	II A	( 仏 )	〈宇都宮 秀和〉	97
英語	II A	( 仏 )	〈武藤 久緒〉	97
英語	II B	( 禪 )	〈田中 靖子〉	98
英語	II B	( 禪 )	〈太田 由紀子〉	98
英語	II B	( 仏 )	〈川崎 笑佳〉	99
英語	II B	( 仏 )	〈田中 靖子〉	99
英語	II B	( 仏 )	〈太田 由紀子〉	99
英 会 話	I		〈ウェルズ, J. K.〉	100
英 会 話	I		〈ソルタ, P. N. F.〉	100
英 会 話	I		〈ジトウィッツ, P. D.〉	101
英 会 話	I		〈ピアス, D. M.〉	101
英 会 話	I		〈プラスキー, J. C.〉	102
英 会 話	I		〈ラーヂ, R.〉	102
英 会 話	I		〈レイン, R. V.〉	103
英 語	L L	I	〈甲斐 捷子〉	104
英 語	L L	I	〈加藤 佐和子〉	104
英 語	L L	I	〈久保 ひさ子〉	105
英 語	L L	I	〈中林 正身〉	105
英 語	L L	I	〈西村 祐子〉	106
英 語	L L	I	〈塙 美智子〉	106
英 語	L L	I	〈ヘラー, P. S.〉	107

##### 〔ド イ ツ 語〕

ドイツ語	I A	( 禪・仏 )	〈栗原 万修〉	108
ドイツ語	I A	( 禪・仏 )	〈野島 利彰〉	108
ドイツ語	I B	( 禪・仏 )	〈杉本 正俊〉	108
ドイツ語	I B	( 禪・仏 )	〈岡本 時子〉	109
ドイツ語	II A	( 禪・仏 )	〈百濟 勇〉	109

ドイツ語ⅡB (禅・仏) 〈飯塚 公夫〉	110
----------------------	-----

〔フランス語〕

フランス語ⅠA (禅・仏) 〈佐藤 久美子〉	111
フランス語ⅠA (禅・仏) 〈芦原 春〉	111
フランス語ⅠA (禅・仏) 〈遠山 博雄〉	111
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈竹田 正純〉	112
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈桑田 禮彰〉	112
フランス語ⅠB (禅・仏) 〈浜崎 設夫〉	112
フランス語ⅡA (禅・仏) 〈小玉 齊夫〉	113
フランス語ⅡA (禅・仏) 〈前田 祝一〉	113
フランス語ⅡB (禅・仏) 〈菅谷 暁〉	113

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈布施 直子・胡 玉華〉	115
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈福地 桂子・前川 亨〉	116
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈工藤 早恵・塩旗伸一郎〉	116
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈戸張 嘉勝・下出 宣子〉	117
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈天野 節・佐藤普美子〉	117
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈釜屋 修〉	117
中国語ⅠA・ⅠB (禅・仏) 〈小川 隆〉	118
中国語ⅡA (禅・仏) 〈釜屋 修〉	118
中国語ⅡA (禅・仏) 〈岩崎 皇〉	118
中国語ⅡA (禅・仏) 〈李 雲〉	119
中国語ⅡA (禅・仏) 〈松本 丁俊〉	119
中国語ⅡB (禅・仏) 〈岩崎 皇〉	119
中国語ⅡB (禅・仏) 〈平石 淑子〉	120
中国語ⅡB (禅・仏) 〈弘兼 加奈子〉	120

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈亀山 晃一〉	121
スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈ルイズティノコ, C.〉	121
スペイン語ⅠA (禅・仏) 〈宮地 達郎〉	121
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈米田 博美〉	122
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈佐藤 麻里乃〉	122
スペイン語ⅠB (禅・仏) 〈荻野 雅司〉	123
スペイン語ⅡA (禅・仏) 〈大岩 功〉	123
スペイン語ⅡA (禅・仏) 〈福本 久美子〉	123
スペイン語ⅡB (禅・仏) 〈宮地 達郎〉	124

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA (禅・仏) 〈佐野 朝子〉	126
ロシア語ⅠB (禅・仏) 〈廣田 英靖〉	126
ロシア語ⅡA (禅・仏) 〈杉山 秀子〉	127
ロシア語ⅡB (禅・仏) 〈木村 英明〉	127

# 《再履修クラス》

## 〔英 語〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	128
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	128
英語 I A	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	128
英語 I A	〔再クラス〕	〈牧野 輝良〉	129
英語 I A	〔再クラス〕	〈朝川 真紀〉	129
英語 I A	〔再クラス〕	〈佐藤 アヤ子〉	129
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	130
英語 I A	〔再クラス〕	〈塙 美智子〉	130
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	131
英語 I A	〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	131
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	132
英語 I A	〔再クラス〕	〈外池 一子〉	132
英語 I A	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	132
英語 I A	〔再クラス〕	〈熊沢 和明〉	133
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	133
英語 I A	〔再クラス〕	〈西原 克政〉	133
英語 I B	〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	134
英語 I B	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	134
英語 I B	〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	134
英語 I B	〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	135
英語 I B	〔再クラス〕	〈江田 幸子〉	135
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲斐 捷子〉	136
英語 I B	〔再クラス〕	〈石原 孝哉〉	136
英語 I B	〔再クラス〕	〈真砂 久晃〉	136
英語 I B	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	137
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊沢 和明〉	137
英語 I B	〔再クラス〕	〈町田 成男〉	137
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯沼 好永〉	138
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 明子〉	138
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀和〉	138
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	139
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 江里子〉	139
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	139
英語 II A	〔再クラス〕	〈井伊 順彦〉	140
英語 II A	〔再クラス〕	〈川崎 浩太郎〉	140
英語 II A	〔再クラス〕	〈矢島 直子〉	140
英語 II A	〔再クラス〕	〈相馬 美明〉	141
英語 II A	〔再クラス〕	〈河内 賢隆〉	141
英語 II A	〔再クラス〕	〈古富 猛〉	141
英語 II A	〔再クラス〕	〈三浦 眞理〉	142
英語 II A	〔再クラス〕	〈山岸 二郎〉	142
英語 II B	〔再クラス〕	〈佐藤 江里子〉	142
英語 II B	〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	143
英語 II B	〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	143
英語 II B	〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	144
英語 II B	〔再クラス〕	〈長谷川 公一〉	144

英語ⅡB〔再クラス〕	〈澤田真弓〉	144
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	145
英語ⅡB〔再クラス〕	〈前田脩〉	145
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	146
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	146
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	146
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	147

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	148
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈志真斗美恵〉	148
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	148
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	149
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈飯塚公夫〉	149
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	150
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈井村行子〉	150
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	150
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	151
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	151
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	151
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	152
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	152
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈織田繁美〉	152

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	153
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	153
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	153
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈遠山博雄〉	154
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	154
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	154
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関ア ン〉	155
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	155
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	156
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	156
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	156
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	157
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	157
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	157
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	158

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈江林英基〉	159
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈戸張嘉勝〉	159
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山静〉	159
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤普美子〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈塩旗伸一郎〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根岸政子〉	160
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻庭和典〉	161

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	161
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈村 松 哲 文〉	161
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	162
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	162
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡 玉 華〉	162
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	163
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	163
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈平 石 淑 子〉	163
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈岩 崎 皇〉	164
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	164
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	164
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	165
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	165

〔スペイン語〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈真 下 祐 一〉	166
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	166
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	167
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	167
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮 地 達 郎〉	168
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈荻 野 恵〉	168
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈ナバロ, ホワン J.〉	168
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 麻里乃〉	169
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福 本 久美子〉	169
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	170
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	170

〔ロシア語〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣 田 英 靖〉	171
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子〉	171
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈木 村 英 明〉	172
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	172
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈高 木 美菜子〉	172
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	173
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	173



# 《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	174
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	174
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	174
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	175
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	175
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	175
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	176
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	176
マルチ・メデア	〈大 庭 直 樹〉	177
マルチ・メデア	〈落 合 和 昭〉	178
マルチ・メデア	〈西 村 祐 子〉	178
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	179
英 会 話 II	〈プラスキー, J. C.〉	179
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D. M.〉	180
英 会 話 III	〈ウェルズ, J. K.〉	181
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	182
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	183
英 語 LL II	〈太 田 雅 子〉	184
英 語 LL II	〈外 池 一 子〉	184
英 語 LL II	〈西 村 祐 子〉	185
英 語 LL III	〈久 保 ひ さ 子〉	186
英 語 LL III	〈西 村 祐 子〉	186
英 語 LL III	〈レーン, C. M.〉	187
ドイ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	188
時 事 ドイ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	188
上 級 ドイ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	188
ドイ ツ 語 LL I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	189
ドイ ツ 語 LL II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	189
ドイ ツ 語 I A (選)	〈五 十 嵐 信 子〉	190
ドイ ツ 語 I B (選)	〈野 島 利 彰〉	190
ドイ ツ 語 II (選)	〈松 岡 晋〉	191
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈小 玉 齊 夫〉	191
時 事 フ ラ ン ス 語	〈大 野 英 士〉	192
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	192
フ ラ ン ス 語 LL I	〈ラリア・三倉, M〉	193
フ ラ ン ス 語 LL II	〈ラリア・三倉, M〉	193
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	193
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈伊 藤 な お〉	194
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈大 野 英 士〉	194
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈菅 原 猛〉	195
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	195
中 国 語 外 国 書 講 読	〈佐 藤 普 美 子〉	195
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	196
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修〉	196
中 国 語 LL I	〈佐 藤 普 美 子〉	197
中 国 語 LL II	〈小 川 隆〉	197
中 国 語 I A (選)	〈釜 屋 修〉	197

中国語 I A (選)	〈宮本厚子〉	198
中国語 I B (選)	〈蘭明〉	198
中国語 II (選)	〈松本丁俊〉	198
スペイン語外国書講読	〈真下祐一〉	199
時事スペイン語	〈真下祐一〉	199
上級スペイン語	〈上野勝広〉	200
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	200
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	200
スペイン語 I A (選)	〈宮地達郎〉	201
スペイン語 I B (選)	〈亀山晃一〉	201
スペイン語 II (選)	〈萩野雅司〉	202
ロシア語外国書講読	〈廣田英靖〉	202
時事ロシア語	〈木村英明〉	202
上級ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	203
ロシア語 L L I	〈安德ニーナ〉	203
ロシア語 L L II	〈安德ニーナ〉	203
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	204
ロシア語 I B (選)	〈木村英明〉	204
ロシア語 II (選)	〈佐野朝子〉	205
朝鮮語 I A (選)	〈宋美玲〉	205
朝鮮語 I B (選)	〈宋美玲〉	206
朝鮮語 II (選)	〈宋美玲〉	206

外国語

# 英 語 I A

## 〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	<sup>たか</sup> 高 <sup>はし</sup> 橋 <sup>ひろし</sup> 寛	禅1必	2

### 講義のねらい

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力点を置き、なるべく多くの会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

### 成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を総合して出します。

### 教 科 書

*Hear It! Say It!* (金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	<sup>た</sup> 田 <sup>なか</sup> 中 <sup>たもつ</sup> 保	禅1必	2

### 講義のねらい

入学時の文法力を利用して、センテンスから徐々にパラグラフへと英文が書けるように学びます。さらに、日常英会話表現やトラベル英会話も取り入れて、英語運用能力を培うようにします。

### 講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストにそって進めますが、予習を前提とした発表形式によって行います。

### 履修上の留意点

必ず予習をして授業に臨むこと。

### 成績評価の方法

授業時の発表・前期後期の試験・出席・レポート等を総合的に検討して評価します。

### 教 科 書

『基本英語表現法』(成美堂) 1,680円 ISBN4-7919-4907-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	伊勢村 定雄 <small>いせむら きたお</small>	仏教1必	2

講義のねらい

音読とダイアログの暗唱により、英語の発音と表現を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 ガイダンス (2回目から授業開始)  
〈本文音読・訳読→ダイアログ音読・訳読→練習→ダイアログテスト〉のサイクルで授業はすすめる。
- 5月 (ダイアログ) オーラルテスト (1回)
- 6月 オーラルテスト (2回)
- 7月 オーラルテスト (3回)
- 9月 後期のガイダンス及び授業開始  
(後期から〈2度/3時間〉の割合でオーラルテストとなる)
- 10月 オーラルテスト (4回)
- 10月 オーラルテスト (5回)
- 10月 オーラルテスト (6回)
- 11月 オーラルテスト (7回)
- 11月 オーラルテスト (8回)
- 12月 オーラルテスト (9回)
- 12月 オーラルテスト (10回?)

履修上の留意点

予習は必ずすること! 辞書は持参のこと。

成績評価の方法

主にオーラルテストによる。他出席状況及びその態度。

教科書

伊勢村定雄、Dennis R. Kogg『アメリカン・ライフを英語で』(北星堂書店) 1,900円

参考書等

なし

その他

上記「講義の内容・授業スケジュール」を参照。演習形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	三幣 友行 <small>みぬさ ともゆき</small>	仏教1必	2

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、基本的な英語の文法、語順、構造を理解し、英語による意志伝達能力の向上を目指す。

履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の2/3に満たない場合は単位を認めない。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	まきの 牧野 輝良	仏教1必	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造、語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをよく読み、あわせてよりよく英文を理解するために、ドリルとして英文法の問題を課する。

履修上の留意点

指名された学生は答えられるように予習して出席すること。

成績評価の方法

授業中の発表、提出物、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席等を総合して評価する。

教科書

『基本英文法』(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-4907-2C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	やまがたの 山縣 ゆたか 裕	禅・仏教1必	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点をおく。

成績評価の方法

定期試験などから総合的に評価する。

教科書

穴戸真・Bruce Allen 著『アメリカ西海岸へ行こう』(成美堂) 1,700円  
ISBN4-7919-4051-2

# 英 語 I B

## 〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	おか ざき としちろう 岡 崎 寿一郎	禅1必	2

### 講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

### 履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

### 成績評価の方法

平常評価としての出席 (50%)、前期試験に代わる夏季レポート (25%)、後期試験 (25%) の総合評価とします。

### 教 科 書

高山宏『古代世界を探る』(金星堂) 1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	み ぬさ とちゆう 三 幣 友 行	禅1必	2

### 講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英文を正しく読み、正しく理解することを目標とする。

### 履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

### 成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の2/3に満たない場合は単位を認めない。

### 教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	くに み あき こ 国 見 晃 子	仏教1必	2

### 講義の内容・ 授業スケジュール

英語の歌のヒアリング練習を行うことで、英語特有の音声変化現象や話し言葉のスピードの速さに慣れることを目的とする。また時代背景を考慮しながら歌詞を分析することで、曲の理解を一層深いものにする。

### 履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて7回までしか認められない。遅刻〔30分以内〕は3回で1回の欠席とみなす)。辞書は毎回必ず持参すること。

### 成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

### 教 科 書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ほんま あきお 本間 章 郎	仏教1必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思います。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこないます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における質問に対する返答、小テスト、前期と後期とにおこなう試験によって成績を評価します。

教科書

ジョアン・ペロケティ他著『*Ecology and Business* (エコロジーとビジネス)』(南雲堂)1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	こやま たいち 小山 太 一	仏教1必	2

講義のねらい

現代作家による連作短編を読むことによって、英文の流れをとらえる読解力をつけることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

各ストーリーの山場を選んで精読します。他の部分は、筋が理解できる程度にざっと読んでおいてください。

履修上の留意点

全回数の3分の2以上の出席、および予習は必須です。授業にはテキストと辞書を持参してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、期末試験の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

Ian McEwan *The Daydreamer* (南雲堂) 1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	まえだ おさむ 前 田 脩	禅・仏教1必	2

講義のねらい

英文を読むことで、日英異なる文化の思考方法のちがいを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

授業ははじめにリスニングを行い、その後英文を読みすすめます。さらに英文ニュースのコピーを使用することがあります。

履修上の留意点

授業は予習が重要です。積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期、後期の試験の結果を総合的に評価します。

教科書

『スクリーンミュージックで学ぶ英語』(金星堂) 1,200円 ISBN4-7647-3693-4 C1082



# 英 語 Ⅱ A

## 〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達（Writing and/or Speaking）：ⅡAを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	矢 島 直 子 <small>やしま なおこ</small>	禪 2 年	2

講義のねらい

英語のリスニングに慣れることを目標にします。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書とCDを使って、英語を聞き取る練習をします。

履修上の留意点

授業では、学生にどんどんあててやってもらいますから、予習をしてくること。初回から教科書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的な評価をします。

教 科 書

James Bean *Listen to this!* [Intermediate] (『リスニングスキルの総合演習』中級) (成美堂) 2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	佐 藤 勝 <small>さとう まさる</small>	禪 2 年	2

講義のねらい

インターネット時代を迎えた現在の日本では英作文力は実用英語の面で非常に重要と言えます。基本英文法を踏まえた正確な英作文力の充実を図ります。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書の進度は原則1回で1課とします。

履修上の留意点

予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法

平常点（出席状況・授業態度等）＋レポート＋定期試験。

教 科 書

Murata, Otani “*English Composition Workbook*” (Macmillan Languagehouse) 1,800円＋税 ISBN4-89585-460-4

参 考 書 等

推薦辞書：『ジーニアス英和辞典』『ジーニアス和英辞典』（大修館書店）  
『プログレッシブ英和中辞典』『プログレッシブ和英中辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	山縣裕 <small>やまがた ゆたか</small>	仏教2年	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点をおく。

成績評価の方法

出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	宇都宮秀和 <small>うつのみや ひでかず</small>	仏教2年	2

講義のねらい

著者が述べているように、日本人が決まって犯す同じ誤りがある。それを克服すれば、我々ももっと英語らしい英語が書けるはずである。これからは、自分の考えを世界に向けて発信しなければならない時代になるので、そのことを念頭において授業をすすめたい。

講義の内容・授業スケジュール

日本人が決まって犯す英文の誤りは、深いところで、文化の問題にも関係している。そのような問題についても考えたい。

履修上の留意点

予習が要求される。

成績評価の方法

平常点。出席数も重要。

教科書

木塚/Northridge 著『英作文の盲点200-第4版』（マクミラン・ランゲージハウス）1,800円 ISBN 4-89585-500-7

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A	武藤久緒 <small>むとう ひさお</small>	仏教2年	2

講義のねらい

英語で書いて話せる実践の能力の強化を目標とします。従って平易な英文を文法理解を基礎に正しく書く訓練が授業の中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

現在・過去・未来、仮定、使役、許可、依頼・勧誘、提案、意図、決定、推量、原因・理由、目的・結果、譲歩・様態、比較、強調など発想別に16の概念の型と表現方法を学習します。習得した知識を応用、特定のテーマで作文し、前後期一回づつ提出してもらいます。

前期 第1課から第8課まで  
後期 第9課から第16課まで

履修上の留意点

毎回、受講者に順次作文を板書発表してもらいますので予習をして下さい。

成績評価の方法

成績評価は前・後期の期末テスト、授業中の発表、作文レポート、出席状況などを考慮して行います。

教科書

岸野英治著『大学生のための表現英文法・英作文』（英宝社）

# 英 語 II B

## 〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	たなかやすこ 田 中 靖 子	禅 2 年	2

### 講義のねらい

本授業では、単なる英文和訳ではなく読解に必要なストラテジー（パラグラフリーディング）を学んでいくことをねらいとします。

### 講義の内容・授業スケジュール

速読の力を高めていけるように授業を構成していきます。パラグラフの特徴をとらえパラグラフ毎に、長い文を速読速解できるように進めていきます。さらに理解を確かなものとするために基礎的な文法事項や語法を確認していきます。

### 履修上の留意点

本授業は事前の予習を前提として進めます。

### 成績評価の方法

この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

### 教 科 書

教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	おわたゆきこ 太 田 由 紀 子	禅 2 年	2

### 講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を読むことで読解力を養うと共に彼の生きた19世紀末の英国、20世紀初頭の米国に対する理解を深める。

### 講義の内容・授業スケジュール

読解を進めるかたわら進行状況に合わせてチャップリン監督・主演の映画を鑑賞する。サイレント映画からトーキー（セリフのついた映画）へと移りゆく作品群であるが、各々の魅力を感じ分けると同時にトーキー鑑賞に際しては聴解力の訓練を行う。

### 履修上の留意点

予習・復習をすること。

### 成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

### 教 科 書

Charles Chaplin 著 *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99  
ISBN: 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	川崎笑佳 <small>かわ さき えみ か</small>	仏教2年	2

講義のねらい

1年次の読解能力を基礎として、speed readingの上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にはテキスト中心で行うが、必要に応じてTOEIC®、TOEFL®等の教材も利用する。

履修上の留意点

予習を前提として授業を進める。

成績評価の方法

3分の2以上の出席と授業態度（発表を含む）、期末試験の結果をもとに総合的に評価する。

教科書

『News for You 2004/2005 Edition 〈やさしいニュース英語 2004/2005年版〉』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	田中靖子 <small>た なか やす こ</small>	仏教2年	2

講義のねらい

本授業では、単なる英文和訳ではなく読解に必要なストラテジー（パラグラフリーディング）を学んでいくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

速読の力を高めていけるように授業を構成していきます。パラグラフの特徴をとらえパラグラフ毎に、長い文を速読速解できるように進めていきます。さらに理解を確かなものとするために基礎的な文法事項や語法を確認していきます。

履修上の留意点

本授業は事前の予習を前提として進めます。

成績評価の方法

この授業では休まずに出席して activities に参加することが求められます。授業中の積極的な参加が、評価の基準となることに留意してください。評価は前期・後期テスト、課題の評価、授業への参加状況などを総合して行います。

教科書

教場にて指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B	太田由紀子 <small>おお た ゆき こ</small>	仏教2年	2

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を読むことで読解力を養うと共に彼の生きた19世紀末の英国、20世紀初頭の米国に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

読解を進めるかわら進行状況に合わせ、チャップリン監督・主演の映画を鑑賞する。サイレント映画からトーキー（セリフのついた映画）へと移りゆく作品群であるが、各々の魅力を感じ分けると同時にトーキー鑑賞に際しては聴解力の訓練を行う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin 著 *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99  
ISBN : 0141011475

# 英 会 話 I

## 〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!  
Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

### 成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.  
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P. N. F.	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

### 講義の内容・授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

### 履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

### 成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

### 教 科 書

*Communicate* : book 1a / David Paul / Macmillan Language House, ¥1,230  
ISBN0 - 435 - 26119 - 3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ジトウィッツ, P. D.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social use and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教科書

*Teamwork* by Richard Carrington, Macmillian Language House, 1994.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英 会 話 I	ピアス, D. M.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing the piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	プラスキー, J.C.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves at a basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

講義の内容・  
授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions. Topics will focus on the students, school, family and friends. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・  
授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教 科 書

I) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7  
 II) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レイン, R.V.	禅・仏教1年	2

講義のねらい

This course will help the student to : 1) use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2) improve their presentation-skills.

講義の内容・  
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities (done in pairs) to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes (approximately eight times), the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教 科 書

Steven Molinsky and Bill Bliss, *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 3* (Pearson Education) 2001



# 英 語 L L I

## 〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。I Aの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	全学科1年	2

### 講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通して、アメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」、授業の中で、基本的な発音の矯正も身につくまで、しっかり行います。

「旅行編」、「留学編」、全20課を前後期で終了する予定です。

### 履修上の留意点

授業としては週一回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また一単元終了時には小テストを行います。

### 成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が三分之一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

### 教 科 書

*Viva! San Francisco* (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か どう さわ こ 加 藤 佐和子	全学科1年	2

### 講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC®スコア500を目標にする。

### 講義の内容・ 授業スケジュール

毎回テキストを1Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC®受験のための学習も行う。

### 履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

### 成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%  
まとめテスト50%

### 教 科 書

『English20』（英進社）  
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	久 保 ひさ子	全学科1年	2

講義のねらい

海外旅行の場面別に、一回で通じる短い英会話を習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

旅行英会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。応用できるようにするため、さらに暗記する。小テストあり。

履修上の留意点

LL 授業は、ラボを用いた実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点と小テスト合計点

教 科 書

マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	中 林 正 身	全学科1年	2

講義のねらい

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験をとおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教 科 書

最初の授業時に指示する。

参 考 書 等

最初の授業時に指示する。

そ の 他

家庭や LL 自習室を利用したの予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全学科1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっています「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は日本語でおこなうが、すべて英語での授業となるLLIIに進むための橋渡しとして、後期にはペアワークが多く取り入れられ、毎回かなりの量の英語を実際に話すことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語のビデオを見、ストーリーのまとめ方を学習。基本的な会話表現を学ぶ。  
9-12月：ペアワークを多く取り入れ、ビデオの中で行われる会話を再現しながらスキットを独自につくっていく訓練をする。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	ほなわ みちこ 埴 美智子	全学科1年	2

外国語

講義のねらい

LL教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	ヘラー, P.S.	全学科1年	2

講義のねらい

発音を改善し会話が出来る様にしていく。

講義の内容・  
授業スケジュール

教材を使いリスニング練習、口頭練習を通し、発音、イントネーション、リズム、ストレスを改善していく。

履修上の留意点

教室内では英語で話すこと。宿題をしてくること。

成績評価の方法

出席率、宿題、リスニングテスト、スピーキングテスト、授業に参加しているかどうかを総合して評価。

教科書

*IMPACT LISTENING 1* ISBN962-00-5133-5  
*CLEAR SPEECH FROM THE START* ISBN0-521-63737-6

## 〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	栗原万修 <small>くりはらかずのぶ</small>	禪・仏教1年	2

### 講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法です。このクラスではドイツ語初級文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続して勉強しないと習得できませんから休まないように。

### 成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、学習意欲なども含め総合的に判断します。

### 教科書

大岩信太郎『英語対照新ドイツ文法14時間』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>	禪・仏教1年	2

### 講義のねらい

ドイツ語は言葉の組み立てがとてもしっかりした言語です。それを理解するには文法から入るのが近道です。ヨーロッパの言語は親戚同士なので、ドイツ語の文法を知ると同時にヨーロッパの他の言語を理解する上にも役に立ちます。

### 講義の内容・授業スケジュール

原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。動詞変化に慣れるため発音練習には動詞の変化表を使います。

### 履修上の留意点

練習問題がたくさんあります。問題を予習して授業に出席してください。

### 成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

### 教科書

岩崎・平尾著『新訂・岩崎・平尾・初歩ドイツ文法』（同学社）2,000円

### 参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

### その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	杉本正俊 <small>すぎもとまさとし</small>	禪・仏教1年	2

### 講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかわりを持つドイツ語圏の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらおう。(注) (ドイツ語圏は、ドイツ、オーストリア、スイスの一部を主要部分とする)

### 講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

### 履修上の留意点

予習よりも、授業中の集中力に重きを置いて要領良く学んで下さい。特に教師のことばにしっかり耳を傾ける事が重要です。

### 成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加する事を非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、正しい答えをしたかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたのかどうかという点をより重視します。

### 教科書

橋本政義・Bernhard Neuberger・橋本淑恵著『フィール・シュパース〔新訂版〕』（郁文堂）2,400円 ISBN4-261-01194-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	岡本 時子 <small>おか ちと きこ</small>	禅・仏教1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

教科書については開講時に指定します。

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	百済 勇 <small>もも ずみ いさむ</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人大學院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

諸君が、ヨーロッパの人文科学、社会科学を履修対象とする場合には、ヨーロッパで一番語られているドイツ語が必要だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人回数当てての口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。

成績評価の方法

これらを総合して年度末の成績として評価する。前期、後期の定期試験は行わない。時にはドイツの新聞の文化・政治・経済・記事などのコピーも使用する。熱心な学生の受講を希望する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	飯塚公夫 <small>いいづかきみお</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

一年で習ったドイツ語の補習とその応用。辞書を引くことに慣れること。勉強する根気を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

最初は一年の文法の復習と未修部分の文法説明及び練習問題。さらにそれらに関わる簡単な文章の読解。その後はこちらの用意したプリント（おそらく短編の物語）を読む。

履修上の留意点

辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。予習が必要になるので、予習時間を自分の生活スケジュールに組み込める人の参加が望ましい。

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書

木村クリスタ他著『初級総仕上げ 2度目のドイツ語』（白水社）2,000円

## [フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	佐藤 久美子	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。フランス語になるべく多く接してもらうために宿題を頻繁に課す。

### 履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習（最低限新しい単語を調べておくこと）が不可欠。

### 成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

### 教科書

佐藤著『フロレゾン』（白水社）2,000円

### 参考書等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	芦原 眷	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

### 履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

### 成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

### 教科書

安田悦子『ヴィット・メ・ビヤン』（白水社）1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	遠山 博雄	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

### 講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で、練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

### 履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

### 成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。

### 教科書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2004年度版）』（朝日出版社）2,200円

### 参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。



科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	竹田 正純	禅・仏教1年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法項目の修得を目指したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

初歩的な読む・書く・話すができるよう反復練習を中心に授業をすすめていく。

履修上の留意点

度々小テストをおこなうので授業を休まないこと。

成績評価の方法

前後期2度の試験と、上記小テストの結果で評価する。

教科書

藤田裕二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	桑田 禮彰	禅・仏教1年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・  
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

北山研二他著『パリ・セズィエム』(駿河台出版社) 2,500円

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B	浜崎 設夫	禅・仏教1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・  
授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること(予習は必要なし)。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

滑川『ポケットにフランス語』(第三書房) 2,100円

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	こ だま なり お 夫 小 玉 齊 夫	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

滝川 等著『やさしく読めるフランス語新聞(2004年度版)』(第三書房) 1,700円  
ISBN4-8086-2674-8 C1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	ま え だ の り か ず 前 田 祝 一	禅・仏教2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

ジャン・ド・ブリュノフ作、安東次男編『仔象のババール』(第三書房) 1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	す が や さ と る 菅 谷 暁	禅・仏教2年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランス文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『セレクション・時事フランス語』(朝日出版社) 1,800円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用し練習します。

# 中国語

## 中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

## 中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

## 中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

### 【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

- 商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円
- 相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

- 松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円
  - 武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円
- また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

- 伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円
- 愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

- 对外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円
- 倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	布施直子	禅・仏教1年	2
中国語 I B	胡玉華		

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	禅・仏教1年	2
中国語 I B	前川亨		

講義のねらい

福地 (A)、前川 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を妨害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	禅・仏教1年	2
中国語 I B	塩旗伸一郎		

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすこと。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

なお教科書には、遊び感覚で単語が身につく CD-ROM「中国語入門300語ワールド」が附いているので活用してほしい。

履修上の留意点

必ず中国語 IA（火曜第4時限、工藤先生）とセットで履修すること。  
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。  
欠席は前期・後期それぞれ4回目から10点づつ減点。遅刻は2回で欠席1回に相当。

教科書

相原・陳・飯田『300語ワールド版：一年生のころ』（朝日出版社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	戸張嘉勝	禅・仏教1年	2
中国語 I B	下出宣子		

講義のねらい

発音（ピンイン）と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文字・語義・文法・表現などの面から日本語と中国語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
- ②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
- ③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験・前期と後期の期末試験・授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

牧田英二・楊立明著『新編 例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	天野節	禅・仏教1年	2
中国語 I B	佐藤普美子		

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認と文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点

予習、復習を行い、必ず出席して、声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、B担当教員がそれぞれ行います。

教科書

牧田英二『新編 例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	禅・仏教1年	2
中国語 I B			

講義のねらい

中国語の発音の基礎を学び、発音表記のピンインをしっかりと学ぶ。語法の基礎のしくみを理解し、中国語入門の基礎を固める。

講義の内容・授業スケジュール

一人の教師が同一テキストで週二回の授業を展開する。

履修上の留意点

皆出席、大胆不敵の質問、大声と積極的な授業への参画を切望する。

成績評価の方法

出席点、各種課題、小テスト、期末テスト等の成績と授業態度を総合的に評価して判定する。

教科書

荒川清秀・趙煒宏・上野由紀子『簡明初級中国語』（光生館）1,300円

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	禅・仏教1年	2
中国語 I B			

講義の内容・  
授業スケジュール

IAとIBとで特に内容を分けず、週2回の授業で、ともかくどんどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後に文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法

教科書は全15課で、2課に1度の割合でテストを行い、解答はすべてピンイン（ローマ字・声調記号）で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

荒川・周・塩山『キャンパスライフ中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	釜屋 修 <small>かま や おさむ</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中国語Iで身につけた力をさらに発展向上させ、基礎能力をいっそう固める。またIの復習の場ともする。

講義の内容・  
授業スケジュール

週一回、会話文と読解文を交互に学んでいくが、一人ひとり朗読、翻訳を担当する。

履修上の留意点

出席し積極的、自主的に授業に参加すること。予習、課題の提出を義務づける。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加態度、平常点、期末テスト等を総合的に評価して判断する。

教科書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テキスト』（白帝社）1,700円

参考書等

開講時に指示する。辞書を必要とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引、クラブ活動等）により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エペディのとんち話』（金星堂）1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲	禅・仏教2年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

武信彰等『教養初級中国語』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	松本丁俊	禅・仏教2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらに出席状況も加味して、総合的に採点する。

教科書

陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	岩崎皇	禅・仏教2年	2

講義のねらい

中国語の音声に慣れることが目標です。また、そのための道具としてペンインを使えるよう練習します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオを利用しつつ、テキストに沿って練習していきます。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

授業態度及び試験で判断します。

教科書

董燕・遠藤光暁『理香と王麗 話す中国語2』（朝日出版社）2,700円



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	平石淑子	禅・仏教2年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

中国語の正しい発音の習得に力を入れ、あわせて中国語の表現方法（語順）を学ぶ。一週間に一課進むことを目標とし、随時小テストなどを実施する。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③指定された宿題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（小テストを含む）、及び期末試験による。

教科書

塚本慶一監修 劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	弘兼加奈子	禅・仏教2年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、さらに発展させることを目標とする。  
課文は比較的長い会話体の本文、文法、練習から構成されている。実践的な中国語を学んでほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）2,200円

## [スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

### 履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

### 成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

### 教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

### 成績評価の方法

出席を重視します。前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

### 教科書

未定

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語 I A	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	禅・仏教1年	2

### 講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

### 講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

### 履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

### 成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

### 教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

### 参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）  
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	よね だ ひろ み 米 田 博 美	禪・仏教1年	2

講義のねらい

情報のグローバル化には目をみはるものがあり、世界各地で発信される情報がインターネットを通じて瞬時に得ることができます。スペインやラテンアメリカ諸国で4億以上の人々が話すスペイン語を理解できれば自らの世界は大きく広がることでしょう。自動翻訳機、自動通訳機なども近未来において、日常的なものとなるであろうが、原語で解説し、直接、言葉によりコミュニケーションを図ることは、より深い理解と大きな満足につながるものです。来年度には南北アメリカ全域を対象とした自由貿易協定が結ばれる可能性もあり、スペイン語を母国語とする多くのラテンアメリカ諸国の発展が予想され、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語の重要性は確実に増えています。強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『和西中辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

その他

一方的な文法的説明に終わることなく、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントをしたり、ビデオ鑑賞をできる機会もつくる考えです。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	さ とう まりの 佐 藤 麻里乃	禪・仏教1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくる。

成績評価の方法

各学期末の試験、小テスト、授業中の態度を総合して評価する。

教科書

教科書：未定  
辞書：『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

参考書等

宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	おぎのまさし 荻野雅司	禅・仏教1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communicationがより容易に行えるようにします。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くて、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II A	おおいかいさお 大岩 功	禅・仏教2年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城界編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II A	ふくもとくみこ 福本 久美子	禅・仏教2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

教室にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	みやち たつるう 宮地達郎	禅・仏教2年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法中心の前年度の簡単な復習を行い、日常生活に関連したいろいろなケースでの会話を履修することを目的とする。ケースの内容は例えば、自己紹介、デパートでの買い物、交通機関で、病気のとき、旅行、レストランで、郵便局などである。

履修上の留意点

使用する教科書以外に必ず前年に使用した教科書を持参すること。文法復習に必要。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

財団法人海外技術者研修協会編集『新日本語の基礎Ⅰ分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）  
『スペイン語ミニ辞典』

# ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学ばば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B: 発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B: 一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』(研究社) 東郷 正延他著
- 『露和辞典』(岩波書店) 和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』(博友社) 木村 彰一他編
- 『和露辞典』(研究社) 藤沼 貴著
- 『和露辞典』(講談社) 佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	佐野朝子	禪・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B	廣田英靖	禪・仏教1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	すぎやま ひでこ 杉山 秀子	禅・仏教2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	きむら ひであき 木村 英明	禅・仏教2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。



## 《再履修クラス》

### 〔英 語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全学科2・3・4年	2

#### 講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。  
後期：より複雑な内容のメールの書き方を学ぶ。

#### 履修上の留意点

学生への要望：大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

#### 成績評価の方法

成績評価：平常点重視。定期試験はおこなわない。

#### 教 科 書

Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわい ひろみ 岩 井 洋 美	全学科2・3・4年	2

#### 講義のねらい

基礎的な文法を再確認し、英語で表現できるようにする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストで語彙や文法を確認後、英作文などの問題に取り組む。

#### 履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

#### 成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと前、後期試験で評価。

#### 教 科 書

『会話作文のための復習英文法』(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15389-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

#### 講義のねらい

日常生活に必要な英作文(手紙なども含む)を短文から学んでゆく。

#### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを用いて授業内で作文を行なう。必要に応じてプリントも使用する。

#### 履修上の留意点

各自の必要に応じて、高校で使用した「英文法」の教科書などを持参するとよい。

#### 成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

#### 教 科 書

『自然な日本語から自然な英語へ』(成美堂) 1,500円 ISBN4-7919-5028-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	牧野輝良	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造・語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・  
授業スケジュール

英文をよりよく理解するために英語の例文をよく読み、訳読を参考に自分で和訳し、英語と日本語の表現の違いを知ること。

成績評価の方法

授業中の課題の提出、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2/3以上の出席を総合して評価する。

教科書

『大学英文法AtoZ』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	朝川真紀	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活におけるコミュニケーションに必要な基本的英語表現力を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

大学で英語を学ぶために必要な最低限の文法事項を確認しながら、あらゆる場面での会話表現を学び、聞く力、話す力、書く力を伸ばし定着させていくための演習を繰り返す。

履修上の留意点

予習は毎回行うこと。辞書は必ず持参すること。遅刻した者は授業開始30分まで入室を認めるが、遅刻3回で1回欠席とする。全授業数の3分の2以上出席していない者は不合格とする。

成績評価の方法

平常点、小テスト、定期試験の総合評価。

教科書

浅川和也著『リスニングマスターコース英語で聴く世界事情』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3782-5 C1082

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	佐藤アヤ子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語でのE-mailの書き方を学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

毎回様々な話題の通信文を練習し、大切な表現を暗記します。

履修上の留意点

毎週、前週に学んだ表現の暗写テストをします。

成績評価の方法

毎回の暗写テスト、前期・後期の試験結果、平常点を総合的に評価します。

教科書

松居 司、Philip Hinder 著『はじめてのEメール英作文』（南雲堂） ISBN4-523-17321-4 C0082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	よし え まさ お 吉 江 正 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋がりたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分の一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

*A Short History of the World* (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	はなわ みちこ 埴 美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『*Effective reading & listening—Learning About Different Cultures—* 読解・聴解のための効果的学習ブック』(松柏社) 1,800円

参考書等

その都度黒板に板書し案内する。

その他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	塚 本 利 男 <small>つかもととしお</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習をかねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教 科 書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円＋税 ISBN4-255-15390-6C1082

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	川 島 弘 之 <small>かわしまひろゆき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらおう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

『ロックの心』（大修館書店）1,339円 ISBN4-469-24066-4  
その他 DVD の映像を使用する。

参 考 書 等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）  
『ロックの意味』（草思社）  
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）  
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

そ の 他

DVD の映像を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	おのりのこ 尾 上 典 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日本と西洋の文化を比較したテキストを使用して、言語理解に必要な文化的・社会的背景知識を習得させるとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時に欧米と日本の文化を正しく理解するのに役立つ様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験・小テストなどによって総合的に判断する。

教 科 書

飛岡 健・David Burleigh 共著 *Japanese and Westerners* 『日本人と欧米人』（マクミラン・ランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	とのいけかずこ 外 池 一 子	全学科2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	たかやなぎふみえ 高 柳 文 江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、現代社会が抱えている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に、writing, speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、提出物、授業への取り組み方等）40%

教 科 書

第一回の授業にて発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な国語英語の教材を使い、日常基本表現からダイアログに至る会話表現の理解と運用能力の向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に学習しながら、プリントの副教材も使用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習が必要です。

成績評価の方法

前期・後期の試験をしますが、出席点と日常の発表点を重視します。単語小テスト、レポート課題など、様々な活動を総合評価します。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教科書

*Cultivating Writing Skills* (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にし はら かつ まさ 西 原 克 政	全学科2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用して行ってもらいたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席が授業回数の3分の2以上であること。日常のプレゼンテーションをその都度評価する。前期・後期試験は行わない。

教科書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	て じま けい こ 手 島 敬 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教 科 書

『Reading Culture and Comprehension (2) 基礎英文講読法 (2)』  
(マクミラン ランゲージハウス) 1,800円 ISBN4-89585-451-5

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	はやし たかのり 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

外  
国  
語

講義のねらい

現代の我々の日常生活におけるエコロジーと経済に関する中級レベルの読解を行なう。またテーマ別のリスニングも行なう。

講義の内容・  
授業スケジュール

読解とリスニングを平行して行なう。

履修上の留意点

単語調べ等、予習が必要。

成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教 科 書

『エコロジーとビジネス』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17430-X  
『5分間ヒアリング』(南雲堂) 700円 ISBN4-523-17151-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	きむら かつ ひこ 木 村 克 彦	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教 科 書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	武藤 久緒 <small>むとう ひさお</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
1. Too Many People? or Too Few?
  2. A Relative Problem
  3. Terrorists or Freedom Fighters?
  4. Fighting in the Name of God.
  5. Judging People the Wrong Way.
  6. The Emptiness Inside
  7. An All-American Planet
  8. The Enemy of Everybody
- 後期
9. A Big, Mean Teacher
  10. The Battle of the Sexes
  11. Trying to Cure the World
  12. When Conservation Isn't Enough
  13. The Fight for Rights
  14. The Issue You Seldom See
  15. Problems that Know No Borders

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前・後期の期末テスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Peter Weld, *The World Ahead* (金星堂)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子 <small>えだ さちこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander, *Hollywood Dialogs* (ASAHI PRESS) 1,800円



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	甲斐捷子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

今年の I B 再クラスは、やさしい英語で書かれた面白い小説を読みます。ただし、言葉の解釈は英語で行い、語彙を増やしながら、口語英語の運用能力も高めるような授業内容となります。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト一冊終了後時間が余れば、著者のインタビュー記事を読みます。これはハンドアウトとして配布します。

履修上の留意点

一単元終わるごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同様の内容のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて学習して下さい。

成績評価の方法

一応の日安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しない場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

*The Summer after the War and A Family Supper* (鶴見書店) 900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原孝哉	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートは e-mail で提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	真砂久晃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2  
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

*THE BEATLES* (南雲堂フェニックス) 980円 + 税

参考書等

THE BEATLES の CD、DVD など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	たか やなぎ かみ え 高 柳 文 江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・  
授業スケジュール

世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基にまずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題を行い、更なる理解を深めます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み方等）40%。

教科書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	くま さわ かず おき 熊 沢 和 明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

総合教材のテキストを使い、主に読解の能力を向上させるのをめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

テキストを中心に学習しながらプリントの副教材を使用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習してくること。

成績評価の方法

前期、後期の試験をします。出席と日常の発表なども重視。単語小テストなどもやります。総合評価です。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まち だ しげ お 町 田 成 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。また、リスニングでは聞きながら文章の大意を把握する。

講義の内容・  
授業スケジュール

原則としてテキストにしたがって読みすすめる。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席＋発表＋試験の総合評価とする。

教科書

検討中のため、第一回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼好永 <small>いいぬま よしなが</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

*Reading Landmarks of the world* (三修社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	佐藤明子 <small>さとう あきこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

『*Real Life in Britain* (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850円(税別)  
ISBN4-384-33246-7 C1082

参考書等

必ず辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	宇都宮秀和 <small>うつのみや ひでかず</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

再履修のクラスを数年受けもって受ける印象は、a)出席数が不足している、b)理解していない部分を、理解するまで十分に掘り下げないで、あいまいな理解でやり過ごして来た、以上の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

以上のことを考慮して、解らない部分を中心に授業をすすめていきたい。

履修上の留意点

進み方は、遅くてもよいから基本的なことをしっかりと理解しながらすすむ。

成績評価の方法

毎回、毎回、小テストを行い、それらを積み重ねた平常点。

教科書

プリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おが ざき としちろう 岡 崎 寿一郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

村田薫『英語で学ぶ知の原点』（鶴見書店）1,500円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	さ とう えりこ 佐 藤 江里子	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に参加すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教科書

未定

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おが ざき としちろう 岡 崎 寿一郎	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	井伊順彦	全学科3・4年	2

講義のねらい

日米の文化の差異について会話からはじまり、文法事項を復習。Exerciseで英語力を養成。センテンス・レベルの作文能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに従って、前半 Letter から Vacation, 後半 Drinking から Loan Words まで。

履修上の留意点

授業の予習復習をすること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、小テスト、前・後期のテストによる総合的評価とする。

教科書

『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円（本体）＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	川崎浩太郎	全学科3・4年	2

外国語

講義のねらい

IAを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらう。また、口語表現の学習のため、TOEIC®のリスニングなどもおこなう。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、授業中のレポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Skills for Better Writing—構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）ISBN4-523-17448-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	矢島直子	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語のリスニングに慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とCDを使って、英語を聞き取る練習をします。

履修上の留意点

授業では、学生にどんどんあててやってもらいますから、予習をしてください。二回目から教科書を使いますから、それまでに教科書を手に入れること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的な評価をします。

教科書

James Bean『Listen to this! Intermediate リスニングスキルの総合演習 中級』（成美堂）2,400円 ISBN4-7919-4579-4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	相馬美明 <small>そう ま よし あき</small>	全学科3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

I Aの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC®、TOEFL®のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	河内賢隆 <small>かわ うち けん りゅう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

ここで扱われている題材は、さまざまなメディアから取った最新のものです。それを表現している語法も新しく、いわば生きた英語です。テープを多用しながら授業をすすめますので、耳の訓練も目指しています。

履修上の留意点

再履修クラスなので、出席と発表は重視します。

成績評価の方法

出席点+発表点=50点、残りの50点を二回のテストで評価します。とにかく真面目な授業態度で学習して下さい。

教科書

『メディア英語で読む現代社会2004』(金星堂) 1,700円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	古富猛 <small>こ とみ たけし</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

講座上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて共通点が多く、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると英語においても痛感させられている。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	みうら まり 三浦 眞理	全学科3・4年	2

講義のねらい

英文法の基礎事項を学習し、日本人には分かりにくい点や、まちがしやすい点を中心に学習し、文法的に誤りのない文が書けるように、豊かに表現できるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、それを基礎にして英作文を色々工夫しながら作成してみたいと思います。そして、実際に活用できるように学習していこうと思います。

履修上の留意点

予習しておくこと。授業には必ず辞書を携帯すること。

成績評価の方法

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に行い、後期最後に総まとめ試験を実施します（授業時間中の小テスト重視）。評価は、3分の2以上の出席（厳守）、小テスト、授業中の発表（50～60%）及び後期試験の結果を入れて総合的に評価します。

教科書

Essential English Grammar for Writing (弓プレス) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	やま ぎし じ ろう 山 岸 二 郎	全学科3・4年	2

講義のねらい

英文構造の理解に努めつつ、いろいろな英文表現力の向上を計る。

講義の内容・授業スケジュール

「文法事項」に目を通してから「練習問題」「発展問題」更に「復習問題」へと学習をすすめる。

履修上の留意点

必ず予習をしておくこと。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。前期後期のテスト、小テスト等総合して評価する。

教科書

『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-15360-4 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	さとう えりこ 佐藤 江里子	全学科3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	伊藤美代子	全学科3・4年	2

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。  
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングもを行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Naoko Ogawa, Yumiko Yoshida, Mariko Miyajima『パラグラフ中心の英語基礎演習』（金星堂）1,950円
2. 伊藤美代子（編著）『さらばジャパニーズイングリッシュ』（北樹出版）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川手浩一	全学科3・4年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的はその国の文化を知ることである。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。

教科書

『Looking at America 素顔のアメリカ』（誠美堂）1,600円

その他

月曜日・4時限



科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	川手 浩一 <small>かわ て ひろかず</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい	外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。
講義の内容・授業スケジュール	外国語としての英語を学ぶ目的は、言葉を学習してその国の文化を知ることである。テキストを読みながらその内容について理解する。
履修上の留意点	授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。
成績評価の方法	日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。
教科書	『Skills for Better Reading 構造で読む英文エッセイ』（南雲堂）1,900円
その他	月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	長谷川 公一 <small>はせがわ こういち</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい	マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。
成績評価の方法	出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。
教科書	『マザー・テレサ』（桐原書店）388円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	澤田 真弓 <small>さわ たまみ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい	簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。
履修上の留意点	積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずやっておくこと。
成績評価の方法	出席回数、発表や提出物、前期後期試験の結果を総合的に判断して評価します。
教科書	教場にて指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	おち あい かず あき 落 合 和 昭	全学科3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC®、TOEFL®、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる）。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

『日常会話英作文』（成美堂）ISBN4-7919-5035-6 C1082  
『Oxford Idioms Dictionary for Learners of English』（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431545-2

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	まえ だ おさむ 前 田 脩	全学科3・4年	2

講義のねらい

英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめながら、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期、後期の試験の結果を総合的に評価します。

教 科 書

『サバイバル・イングリッシュ(1)』（朝日出版）1,359円 ISBN4-255-15168-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	かわ うち けん りょう 河 内 賢 隆	全学科3・4年	2

講義のねらい

テキストのタイトルからわかる様に、人間性と文化がどのように係ってきたかを歴史的に扱ったものです。これは、文明が行きつまった現代、我々が根本的に問い直さなければならぬ問題です。

講義の内容・授業スケジュール

また内容と共に英文も精読し、語法的な面にも注意を向けたいと思います。

履修上の留意点

3、4年の再履クラスなので真面目な授業態度を求めます。

成績評価の方法

評価は、出席点+発表点=50点、残りの50点を二回の試験でだします。

教科書

『知の進化論—人間性と文化の起源』（金星堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	全学科3・4年	2

外国語

講義の内容・授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

Checknote For Business Trends（金星堂） 1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	さき くら さだ お 笹 倉 貞 夫	全学科3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック The Big Book of Amazing Facts』（太陽社）

その他

土曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	笹倉貞夫	全学科3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・  
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

Pearl Buck『聖書物語 *The Bible Story*』（太陽社）

その他

土曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野 博子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志真 斗美恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。（毎回実施）

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方たちが受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。休まず出席してください。

成績評価の方法

平常点（練習問題の提出、小テスト。重視）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

西本美彦・西本アンゲリカ著『エクセ12——ドイツ文法』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	本橋 右京	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章にできるだけ多く触れることで、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を初めから復習し、ドイツ語の仕組みを把握します。これをドリル式練習問題で確実なものとしましょう。必要に応じて補助練習プリントを配布します。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	すぎもとまさとし 杉本正俊	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかかわりを持つドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイスの一部など)の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらおう。授業の性質上、文法に重要な力点を置いた授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

予習より、授業中の集中力に重点を置いて要領良く学んで下さい。教師のことばにしっかり耳を傾け、よく理解する事が重要です。こちらも必要事項は学生が理解しているかどうかを確認しながら繰り返し説明するつもりです。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加しているかどうかを非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、結果的に正しい答えを出したかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたかどうか、という点をより重視します。

教科書

藤代幸一・保阪靖一『ワンポイント・ドイツ文法』(郁文堂) 1,800円  
ISBN4-261-01185-9

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いいづかきみお 飯塚公夫	全学科2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席ただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。(授業中にものを飲んだり、ヘッドフォンを頭につけたまま、あとから教室に入ってくる神経には、ドイツ語のみならず、まともな知識は入っていないでしょう。)

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点 (=発表点)。

教科書

大久保進他著『ポータルサイト：ドイツ語』(朝日出版社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島としあき の 利 彰	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法をある程度踏まえながら、耳からドイツ語を学びます。

講義の内容・  
授業スケジュール

付属のCDを自宅で聞いてあることを前提として授業を進めます。教室では音読と練習問題に答えてもらうことを主眼にします。3課に1回程度ヒアリングテストを行います。

履修上の留意点

練習問題がたくさんあります。よく予習をして答えられるようにしておいてください。

成績評価の方法

予習をしてあるか否か、2回の期末試験、ヒアリングテストなどを総合的に判断して成績を評価します。

教科書

荻野・ラープ著『ベルリン・キャンパスライフ』（朝日出版）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	井村ゆきこ い 行 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいます。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教科書

教科書販売時まで決定して、書店の方に連絡しておきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	本橋うきょう も と 右 京	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがった、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法を初めから復習します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、これをやさしいテキストで確認します。さらに多くの練習問題で理解を確実なものとし、できればユーモアに富む読章で、学ぶ楽しさを味わえればと願っています。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

春日正男 『トア！トア！トア！ーサッカーで学ぶドイツ語』（郁文堂）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	まつ おか 松 岡 晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2～3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずです。合計10章からなっていますので、各章を2～3回分の授業で終えることを一応の目安とします。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。再履修となった理由のほとんどは、途中で勉強を諦め、出席しなかったことです。今年はそのようなことのないように切に願います。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '03トピックス』（朝日出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	お だ しげ み 織 田 繁 美	全学科2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

この授業は、ドイツ社会の身近な話題、様々なジャンルの分野を扱った文章に触れながら、初級文法を見ていこうというものです。

講義の内容・授業スケジュール

授業初めの30分、40分は授業で扱う分野の説明に当てるので、遅刻しないように留意して下さい。

履修上の留意点

一回一回の積み重ねがドイツ語の力になっていくので、授業を休まないようにして下さい。辞書を必ず持参のこと。

成績評価の方法

前期末、後期末のテストの外に、平常点が重視される。

教科書

プリントを授業の都度渡す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ A 〔再クラス〕	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	全学科3・4年	2

講義のねらい

再履修クラスなので、できるだけやさしく、わかりやすい授業にしたいと思います。ただし語学は継続的にやらないと習得できませんから出席を重視します。休まないように。

成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、授業中の学習意欲等も含め総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の学力に合わせ、最適と思われる教材をその都度教場で配布します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	全学科3・4年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は人文科学・社会科学を学ぶ3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人数回当てての徹底した口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。時には、ドイツの新聞の文化・社会・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	全学科3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』(朝日出版社) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	お だ しげ み 織 田 繁 美	全学科3・4年	2

講義のねらい

このクラスは、日常のやさしい会話を通じて、聞き取りに習熟することを目指す。そのため、常識的な知識の取得と、会話ではどのような表現がなされるかというようなことを勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

時には短い記事のようなものを読み、読解力を養うことも進めていきたい。授業には全精力を注ぐ位に気持ちを集中して臨んで下さい。

履修上の留意点

一回一回の授業では、大して沢山の勉強をしていないかに見えますが、それを積み重ねると、ドイツ語の大きな力になります。授業に休まないように、遅刻しないようにして下さい。

成績評価の方法

平常点に大きなウエイトが置かれます。

教科書

プリントを用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	竹田 正純 <small>たけだ まさずみ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法事項の修得を目指す。

履修上の留意点

文法事項などの小テスト、発音テストを毎授業おこなうので休まないこと。

成績評価の方法

上記テストのほか、前後期2度の試験をもとに評価する。

教科書

竹内信夫・工藤 進『フランス文法カレントパーズ』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	芦原 眷 <small>あしはら けん</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章(おもに会話の多い文章)が読めて(発音)、その内容が理解(読解力)できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

野村二郎著『キャロット』(白水社) 1,325円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小玉 齊夫 <small>こたま なりお</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書

小畑・寺家村 著 『快速フランス語』(駿河台出版社) 1,600円  
ISBN4-411-00752-5 C1085

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	と お や ま ひろ お 遠 山 博 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

2回ないし3回の筆記試験、動詞活用の小試験を行いません。

教科書

佐藤久美子他著『フロレンゾ』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	たに かわ 谷 川 かおる	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・  
授業スケジュール

文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教科書

明石伸子著『パリで会いましょう』(白水社) 2,200円

参考書等

授業中に紹介する。

その他

全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが や さとる 菅 谷 暁	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点

休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

藤田著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま ぜき 今 関 アン	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・  
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座って出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)

教 科 書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参 考 書 等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)  
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I B 〔再クラス〕	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	全学科2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

音としてのフランス語の習得を中心に、可能であれば、会話の基礎をつくりあげたい、と思います。

講義の内容・  
授業スケジュール

一時間に一課という進度で、そのつど、確実に、表現のかたちを確かめていく予定です。前期に、まとめとしての試験、後期に全体の試験を行い、また、随時、知識確認のための書き取りを行います。

履修上の留意点

必ず毎回出席すること。文法事項よりも、フランス語表現のかたちを覚えること。授業ごとに必ず自分が発声するつもりで来ること。

成績評価の方法

前述の諸試験で総合的に判定します。

教 科 書

藤田 著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円 ISBN4-255-35151-1 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	長谷川 光 明 <small>はせがわ みつ あき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。
講義の内容・ 授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期二回と後期二回の計四回行います。
履修上の留意点	基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。
成績評価の方法	前期二回、後期二回の試験と平常点。
教科書	岩間直文『話したくなるフランス語 全面改訂版』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	畑 中 千 晶 <small>はた なか ち あき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	初級文法を復習しつつ、会話、和文仏訳の力を伸ばす。また、フランス文化について書かれた文章を読みながら読解力を高める。その際、音読できるようになることを目指す。
講義の内容・ 授業スケジュール	初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。
履修上の留意点	自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください（CDを活用します）。
成績評価の方法	前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%。
教科書	澤田直之、リリアヌ・ラタンジオ、黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—（改訂版、CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	沼 倉 広 子 <small>ぬま くら ひろ こ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい	辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。
講義の内容・ 授業スケジュール	文化、地理などを題材にフランスの現在を知る。
履修上の留意点	文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。
成績評価の方法	前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。
教科書	野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円 ISBN 4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅱ A 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	全学科3・4年	2

講義のねらい

ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験および平常点。

教科書

中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅱ B 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	全学科3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。

講義の内容・授業スケジュール

比較的やさしい文章を少しづつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れ親しみ、同時にフランス人の感性や知性のあり方にも触れましょう。

履修上の留意点

初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席や日頃の課題なども考慮します。

教科書

野内良三『フランス・ユーモア集』（第三書房）900円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語Ⅱ B 〔再クラス〕	ぬま くらひろこ 沼 倉 広 子	全学科3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

瀧川好庸（他）著『やさしく読めるフランス語新聞』（第三書房）1,700円  
ISBN4-8086-2674-8 C1085

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II B 〔再クラス〕	<sup>たに</sup> 谷 <sup>かわ</sup> 川 かおる	全学科3・4年	2

講義のねらい

フランス語の文法を学び直しながら、実際のテキストに慣れ、辞書があれば読めるようになることを目標とします。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は主に文法の復習。後期には、いろいろなテキストの読解に挑戦します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

演習方式ですので、なるべく積極的に参加してください。

## 〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	江林英基 <small>こう りん ひでもと</small>	全学科2・3・4年	2

### 講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

### 成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

### 教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	戸張嘉勝 <small>と ばり よし かつ</small>	全学科2・3・4年	2

### 講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

### 講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を認識する。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して練習する。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

### 成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

### 教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記著『中国語精選サラダ（単語と基本文型）』（朝日出版社）2,200円

## 外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	杉山静 <small>すぎ やま やすし</small>	全学科2・3・4年	2

### 講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語の基礎的なものの履修を通じて、基本的な中国語の学力、読む、聞く等の力の育成を目指す。

### 講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は、中国語の最も重要且つ基本的な拼音・発音の知識について集中講義を行う。  
発音の力を付けてから、教科書内の基礎句型、更に常用語彙等を重点的に授業を進めながら、簡単な文法の知識も講義に含まれる。

### 履修上の留意点

中国語の発音を学ぶには必ず“漢語拼音方案”という北京語の音声のローマ字綴りのシステムの勉強に力を注ぐべきである。それに漢字の簡体字や発音、意味等に留意し、日本の漢字と比較して見ること。

### 成績評価の方法

出席率を高く評価するが、授業に臨む態度も評価のポイントとなる。  
年間約3回の筆記試験；前期末、中間試験と年末のテストを予定している。外に発音テストを1回行う。

### 教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

### 参考書等

辞書を用意する必要がある。



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子ほか『縁日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	塩旗 伸一郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

とにかくピンインを声に出して読めるようになる。そして中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことが目的。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。  
欠席は前期・後期それぞれ3回目から10点づつ減点。遅刻は2回で欠席1回に相当。

教科書

戸沼市子他『縁日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	根岸 政子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

第1時限の授業であるが、遅刻をせずに、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらば かずのり 櫻庭和典	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著『中国語初級対話64』（白帝社）1,550円

参考書等

辞書は当然必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。携帯電話の電源は必ず切っておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そう ない わ 曹 泰 和	全学科2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	むら まつ てつ ふう 村 松 哲 文	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・  
授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書

陳洲拳・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたら けい こ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・  
授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

讃井唯允『着実にまなぶ中国語 入門編』（朝日出版社）2,300円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りこんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4~5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ ぎょく か</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- (a) 中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。
- (b) 音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表記を学ぶ。
- (c) 簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。
- (d) コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国或いは中国文化への理解を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期の前半は、発音の修得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話をできるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を修得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストとあわせて評価する。より楽しい授業を目指すため、授業の出席率と授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	全学科2・3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、とにかく欠席せず積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語 ふうとんほあ』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2・3・4年	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の二ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	いわさき ひろし 岩崎 皇	全学科3・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	全学科3・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ B 〔再クラス〕	り うん 李 雲	全学科3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

本門史『中国語ポイント42』(白水社) 2,100円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。  
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李 雲	全学科3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

渡辺晴夫『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。  
水曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	蘭 明	全学科3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ま じも ゆう いち 真 下 祐 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) アルファベット・文字と発音 (2) 人称代名詞 動詞 SER (3) 冠詞 形容詞 (4) 動詞 ESTAR・1 (5) 動詞 ESTAR・2 (6) 時間・曜日・日付 (7) 規則動詞 (8) 動詞 IR (9) Yo の活用が不規則な動詞 (10) 天候の表現 (11) 目的語人称代名詞 (12) 現在分詞 時の経過の表現 (13) 試験  
後期 (14) 語根母音変化動詞 (15) その他の不規則動詞 (16) 動詞 GUSTAR (17) 比較 (18) 再帰動詞 (19) 不定主語文 (20) 命令 1 (21) 命令 2 (22) 過去未来形 (23) 現在完了 (24) 感嘆文 (25) 試験

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意しててください。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。練習用プリントも随時配布するのでファイルを用意しておくこと。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野勝広 『新世紀のスペイン語』(同学社)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』(教材マルコ社)  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・  
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。  
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みやの たつろう 宮地達郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）  
『スペイン語ミニ辞典』

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎの めぐみ 荻野恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ナバ口, ホワンJ.	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

よく用いられる規則動詞、不規則動詞の活用、定冠詞、不定冠詞、主格および目的格人称代名詞といったスペイン語の基礎を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。

成績評価の方法

各回におわりに小テストを行います。その結果の集計により評価します。特別試験も実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	佐 藤 麻 里 乃 <small>さとう まりの</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

提出物の出来具合により評価する。

教 科 書

未定  
辞書『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

参 考 書 等

宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	福 本 久 美 子 <small>ふくもと くみこ</small>	全学科3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ 大 岩 功	全学科3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教 科 書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）  
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書  
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円  
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円  
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円  
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円  
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安徳ニーナ <small>あん とく にーな</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	高木美菜子 <small>たかぎ みなこ</small>	全学科3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕			

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	全学科3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。  
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。学生の学力に応じて教科書を選びます。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕 ロシア語ⅡB〔再クラス〕	<small>あん とく</small> 安 徳 ニーナ	全学科3・4年	2

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

## 〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	林 明人 <small>はやし あきと</small>	全学科選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教科書

教員が作成したものを uses。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	矢島直子 <small>やしま なおこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

イギリス現代戯曲を読んで、現代の英語に慣れるとともに、想像力を働かせて読むことを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストとして使う戯曲を、きちんと読んでいきます。

履修上の留意点

ほぼ毎回あたりますから、必ず辞書をよく引いて予習をしてください。教科書の手配は、出席する学生数を確認してからなので、初回の授業から出席してください。教科書が書店に入るまで、プリントで授業を行いません。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

Anthony Neilson, *The Lying Kind*, Methuen, £7-99, ISBN0-413-77314-0

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	牧野輝良 <small>まきの てるよし</small>	全学科選	4

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・授業スケジュール

英文の構造をしっかり学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳が出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教科書

『真の国際化とは』（成美堂）980円 ISBN4-7919-1236-5 C1382

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	竹村 恵都子 <small>たけむら えつこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	林 明人 <small>はやし あきと</small>	全学科選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	岸本 茂和 <small>きしもと しげかず</small>	全学科選	4

講義のねらい

racism（人種差別主義）、sexism（性差別主義）、ethnicity（少数民族）などを鍵のことばとして、現代アメリカを読みときつつ、“September11,2001”——2001年9月11日の、あの悲劇の日までいたる。

講義の内容・授業スケジュール

「研究」と銘打っているが、いわゆる講義ではなくふつうの英語の授業だ。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもってくる。テキストの英語はそうとう密度が高いのでその点を留意しておくこと。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの〈美德〉』（朝日出版社）1,400円

その他

受講者は70人を上限とする。



科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たんじひろまさ 丹治弘昌	全学科選	4

講義のねらい

時事英語の講座を担当してまず痛切に感ずるのは、学生の修得している語彙と実際に新聞、雑誌あるいは放送においてニュースに使われる英単語の間にはかなりの差があることである。これは習得語彙の量的な不足もさることながら、質的な面での個々の単語の意味を包括的にとらえていないことからきていることと思われる。一つの単語について一つの語義をもって事足りると思いついでいたり、また頻度数の低い意味にこだわって、ニュース全体の意味を取り違えたりすることが良く見受けられる。そこで時事英語の単語を段階的に、同時にジャンル（分野）ごとに分けて、かなり整理してみることにした。時事英語というと、むやみに英単語を暗記し、語彙数をふやさなければならないと思われがちだが、むしろ基礎的な語彙の活用や応用に習熟し、簡単なコメントを表現できることから始めて、段階的に語彙修得を重ねていって、質と量の両面から時事英語の学習をすすめることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

『よくわかるニュース英語』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	やしまなおこ 矢島直子	全学科選	4

講義のねらい

時事英語の読み方を学び、慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書で時事英語を読み、記事の内容・構成を学びます。慣れてきたら、時に、英字新聞の記事も使います。

履修上の留意点

学生にどんどんあててやってもらいますから、必ず予習をしてくること。学生にあててやってもらいために、一クラスの人数を60名までとしますから、初回の授業に必ず出席してください。できれば初回から教科書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教科書

馬場彰、佐藤和哉『Current English（『時事英語2004／2005年版』）』（成美堂）1,800円  
ISBN4-7919-4826-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお ば なお き 大 庭 直 樹	全学科選	2

#### 講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。

第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。

第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。

第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。

第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

#### 履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

#### 成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらおう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おちろ あい かず あき 落合和昭	全学科選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC<sup>®</sup>、TOEFL<sup>®</sup>、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。始めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳と会話英作文）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度（ちなみに、去年の場合は、約15回だった）、小テストは5～10分程度のを10回程度（去年は8回）、授業中の発表、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める（去年の場合は、一人約20回）。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『句動詞の実用総合演習』（マクミラン）
- 2) 『スモーク』（松柏社）1,750円 ISBN4-88198-457-8C3082
- 3) 『Oxford Phrasal Verbs Dictionary for Learners of English』（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431543-6

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	にし むら ゆう こ 西村祐子	全学科選	2

講義のねらい

インターネットやオーディオ・ビデオ機器を使用して、英語とコンピュータ操作の初歩を身につけるクラス。

講義の内容・授業スケジュール

- 4-7月：インターネットによる英語サイトを利用した読解・作文。  
9-12月：英語によるプレゼンテーションをまとめたビデオをコンピュータで製作。

履修上の留意点

あくまでも英語のクラスなので、コンピュータソフトについて詳しく学ぶよりも英語習得をめざす学生の履修を進める。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教科書

教場にて指定。

参考書等

特になし。

# 英 会 話 II

## 〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.

To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.

To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

### 講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

### 成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

### 教科書

*The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical* by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves beyond the basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

### 講義の内容・授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions about themselves, school, family and friends. Emphasis will be placed on the exchange of information and the negotiation of meaning. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

### 履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

### 成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

### 教科書

None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 II (夏季集中)	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

This is a special intensive class for English conversation that advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for every sort of circumstance such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. To the purpose of high scores in the important examinations intensive weekly review will be made of the major language aspects tested in TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. English composition and listening comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The core of class activity will consist in accelerated practice in conversation. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Students will have opportunity to carry on intelligent dialogues about interesting topics at a level above ordinary conversation. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can final after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your academic grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Social Practices*, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2003. Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	8月20日	金				
8月3日	火	○	○	○	○	8月23日	月				
8月4日	水	○	○	○	○	8月24日	火				
8月5日	木	○	○	○	○	8月25日	水				
8月6日	金	○	○	○	○	8月26日	木				
8月9日	月	○	○	○	○	8月27日	金				

# 英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

## 講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.  
Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!

I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

## 成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.  
LET'S HAVE FUN

外  
国  
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・  
授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

外  
国  
語

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教 科 書

I) *New Headway* English Course Pre-Intermediate *Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436670-7

II) *New Headway* English Course Pre-Intermediate *Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436672-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.

20% two take home essays (10% each essay)

40% two presentations, with discussion sheet (20% each presentation)

40% participation within the class (20% each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					



# 英 語 L L II

## 〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお たい まよ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

### 履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

### 成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

### 教 科 書

*Listening Theory and Practice*（開文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

### 講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

### 履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセットテープを必ず持参すること。

### 成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

### 教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4選	2

#### 講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標はTOEIC®700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

#### 講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。  
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点を置いた授業となる。

#### 履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。  
テープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

#### 成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

#### 教科書

テキスト：*Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)  
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

#### 参考書等

使用ビデオ：Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。（いずれも本学LL事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

#### その他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。  
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

# 英 語 L L III

## 〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位 単
英 語 L L III	久 保 ひさ子	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

英文のレクチュアが、聞き取れ、ディベートできる程度をめざしたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。ビデオやスピーチや、ディスカッションを含む。

### 履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習の、授業のため、欠席しないようにお願いします。

### 成績評価の方法

試験と授業実習点

### 教 科 書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

外  
国  
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

### 講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめたLLIのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力を習得することをめざす。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC®800以上の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

### 講義の内容・授業スケジュール

4-7月：アメリカの大学教養レベルの社会科学系ビデオを素材として用いて英語でのサマリーの仕方を中心とする授業。  
9-12月：英語での発表とエッセイ・ライティングを中心とした授業。

### 履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修を決める場合にLLIIの内容とよく比較して決定してほしい。

### 成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

### 教 科 書

教場で指示（主にプリントを使用）。

### 参 考 書 等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL事務室備え付け）。  
使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL事務室備え付け）その他社会科学系教育ビデオを適宜使用。

### そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the 'real world' they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・  
授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be also to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also 'take control' of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

20% attendance  
40% exams  
40% participation within the class

教 科 書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語外国書講読	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	全学科3・4選	4

講義のねらい

異文化を理解し、またそれを介して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことです。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んで行きます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、日独の文化の相違についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年2回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島利彰 <small>のじまとしあき</small>	全学科3・4選	4

講義のねらい

今年度はドイツやオーストリアが抱えている様々な社会問題を取り上げます。失業、世代間の紛争、麻薬などあまり明るい話題はありませんが、日本でも同じように問題となっている、あるいはこれから問題となるであろうことです。ドイツやオーストリアがそれらの問題をどのように解決しようとするのか、その努力を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。

履修上の留意点

予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。

その他

テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	栗原万修 <small>くりはらかずのぶ</small>	全学科3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつづけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく、平常の勉強経過を中心に総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L I	<sup>こばやし</sup> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 L L II	<sup>こばやし</sup> 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拓げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

*Themen I neu*

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	いごらし のぶ こ 五十嵐 信子	全学科選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』（白水社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	の じま とし あき 野 島 利 彰	全学科選	2

講義のねらい

CDつき教科書を使い、音からドイツ語を学びます。ドイツ語は発音と文字とが一致しており、また難しい音も少ないので、練習すればすぐ上手に発音できるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

教場ではCDを聞きません。授業でテキストの音読を指名します。自宅で十分CDを聞き、音読練習もしておいてください。

履修上の留意点

教科書には多数の練習問題があります。答えられるよう予習をしてください。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行います。このテストと定期試験(筆記試験)の成績が評価の大きな基準になります。

教科書

三室・シュレヒト著『ドイツ・プラクティッシュ<グリーン>』（三修社）2,500円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

その他

ラジオやテレビのドイツ語講座も役に立ちます。ぜひ視聴してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ(選)	まつ 松岡 すすむ 晋	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初等文法の知識を基礎にして、より多くのドイツ語の文章を読んでみようというのがこの授業のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章(1~2ページからなるドイツ語の文章)、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。なお教科書が早く終わった場合には、他の教材(短い新聞記事など)をコピーで配布して読む予定でおります。

履修上の留意点

ドイツ語の文章に慣れてもらい、今後、新聞・雑誌等のより難しい文章を読むための基礎を築きたいと考えております。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので、定期的な出席と最低限度の予習をお願いします。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点(出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々)によって行います。

教科書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か(新訂版)』(郁文堂) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語外国書講読	こ 小 だま 玉 なり 齊 お 夫	全学科3・4選	4

講義のねらい

国際的な医療援助団体の活動をとおして、フランス語の読解力を高めるのが目的です。同時に、その前提となる国際協調・連帯の実相を知ることも。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法の復習も含めて、ゆっくり読んでいきます。後期は、他の資料にも依拠しながら、速読の練習もしたいと思っています。

履修上の留意点

かならず、授業には出席して、フランス語の文の仕組みを把握する意欲を高めていくこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、ふだんの課題のこなしかた、等によって評価します。

教科書

ブローマン著、桜井編 『ボランティアとその体験から—国境なき医師団の挑戦』 (朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-35157-0 C1085

外国語



科目名	担当者名	配当学科	単位
時事フランス語	大野英士	全学科3・4選	4

講義のねらい

『ル・モンド』『ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール』など、フランスを代表する新聞、雑誌から抜粋した記事を読むことで、文法力・語彙力をアップすると共に、フランスの現代社会の諸相を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

教室でプリントを配布し、ポイントや難解な表現についてあらかじめ説明しますので、出席者は十分予習してきてください。それをもとに出席者にあてて、順番に訳してもらいます。内容について互いに議論したり、適宜、関連した話題に関するテレビ・ニュースなども活用したいと思います。

履修上の留意点

分からないことは遠慮なく質問してください。何度でも丁寧に説明します。一方的に教師の説明を聞くのではなく、学生の主体的・積極的な授業への参加を期待します。

成績評価の方法

出席、平常点、前期末のテスト、定期試験の総合点で評価します。

教科書

教室でプリントを配布します。

参考書等

『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	小玉齊夫	全学科3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思しますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

石野、松山 等著 『フランス語21』（白水社）2,400円  
ISBN4-560-06026-6 C3085

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア・三倉、M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (パーペーパー) *Présenter Pratiquer Produire*』 (第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉、M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)  
プリントした資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田清子	全学科選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	伊藤 なお	全学科選	2

講義のねらい

一年間かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、簡単な対話文をもとに基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聴き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。テキストに付属する現地ロケによるビデオも観いてみましょう。

履修上の留意点

選択科目ではありますが、できるだけ毎回出席し、授業には積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点、前・後期試験によって判定します。

教科書

藤田祐二『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	大野英士	全学科選	2

講義のねらい

フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

『新エスカルゴ』は、各課ごとにそれぞれ「挨拶する」「自己紹介する」「家族・年齢を言う」などと、日常生活のなかで遭遇する実践的な課題を設定し、それを言うために必要な文法事項や、関連表現を学ばせるというきわめて合理的な構成になっています。1年で1冊を終わらせます。習った知識を確認するため『練習問題ABC』を適宜併用します。

履修上の留意点

授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。

成績評価の方法

授業中の小テスト、前期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。

教科書

藤田裕二著『新・えすかるご1』(朝日出版社) 2,500円  
加賀山孝子他『フランス語練習問題ABC』(早美出版社) 2,000円

参考書等

『フランス語動詞活用表』(駿河台出版社) 800円

その他

辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	菅原 猛	全学科選	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

I A を補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

澤田直之・黒川学他著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—』（駿河台出版社）2,500円 ISBN4-411-01093-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II (選)	桑田 禮彰	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一歩踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

長谷川公昭他著『時事フランス語（2004年度版）』（朝日出版社）

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語外国書講読	佐藤 普美子	全学科3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小説）を読んでいます。

講義の内容・授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教科書

開講時、プリントを配布します。

参考書等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しお 塩 <small>はた</small> 旗 <small>しんいちろう</small> 伸一郎	全学科3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読と精読の2種のアプローチにより、様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読むことができる。精読は、じっくりと文の構造を捕える練習を積む。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。  
教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。

参考書等

辞書は『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま 釜 <small>や</small> 屋 <small>おさむ</small> 修	全学科3・4選	2

講義のねらい

比較的長い文章の解釈、実的な会話能力の向上をめざす。新聞文体、短篇小説、随筆等多様な文体に挑戦してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

参加者が自らの関心の所在に沿って担当分野を選択し、朗読、翻訳を行う。教材を通して現代中国のさまざまな状況を理解し、討論する。

履修上の留意点

出席し、予習をきちんと行い、問題点の整理を行うこと。

成績評価の方法

平常点、授業態度を中心に判定。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中辞典以上の辞典を必要とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L I	佐藤 普美子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を目ざす。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇3』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 L L II	小川 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱榮『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	釜屋 修	全学科選	2

講義のねらい

中国語発音の基礎、語法のしくみについての基本理解の獲得を中心とする。ピンインの習得と正確な発音の学習に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので学習量の不足が心配となる。課題の消化、テキストについているCDを活用した家庭学習が望まれる。

履修上の留意点

IB(選)とあわせて受講できるが、この科目のみを履修する人は、学習機会が週一回となるので欠席は大敵である。

成績評価の方法

出席状況、平常の学習の積極性、平常点と期末テストの成績等を総合的に判定する。

教科書

守屋宏則『フォーアップ初級中国語』（同学社）2,500円

参考書等

開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	宮本厚子 <small>みやもとあつこ</small>	全学科選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

『〈新版〉中国語はじめの一步』（白水社）2,200円。

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	蘭明 <small>らんめい</small>	全学科選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は最初の一か月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	松本丁俊 <small>まつもとあつとし</small>	全学科2・3・4選	2

講義の内容・  
授業スケジュール

外国人である日本人が中国人に接したとき言うべき言葉、言うべき表現など実用面の中国語。中国語を学んでもない田中さん夫婦の北京旅行という設定で、挨拶から始まり、買物、食事といった日常生活に限られた会話を学ぶ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中の発音、練習問題、さらに出席点も加味する。

教科書

王元武・鶴島俊一郎『北京旅行』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語外国書講読	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	全学科3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで様々な分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。今年はいスパノアメリカ文化史をテーマにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~3) 先住民文化 (4~6) アメリカの発見 (7~9) 植民地時代 (10~13) 独立期  
後期 (14~16) 独立後 (17~19) 近代化時代1 (20~22) 近代化時代2 (23~26) 現代

履修上の留意点

現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関するコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加と各回の達成度チェックによって評価します。

教科書

初回の授業でテキストと入手方法を伝えます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	全学科3・4選	4

外国語

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも注意しましょう。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1~3) 新聞記事のスペイン語 (スペイン) 4~6) 新聞記事のスペイン語 (メキシコ) 7~9) 新聞記事のスペイン語 (アルゼンチン) 10~13) 新聞記事のスペイン語 (その他の地域)  
後期 14~16) 雑誌コラム (国際情勢) 17~19) 雑誌コラム (文化) 20~22) 雑誌コラム (その他) 23~26) スペイン語で見た日本

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教科書

随時プリントを配布します。インターネットも活用します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	うえのかつひろ 上野勝広	全学科3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

年間4回の試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	みやち たつ ろう 宮 地 達 郎	全学科選	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語 6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）  
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ(選)	荻野雅司	全学科3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々で行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語外国書講読	廣田英靖	全学科3・4選	4

講義のねらい

1~2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけではなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	木村英明	全学科3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	全学科3・4選	2

講義のねらい

会話練習。  
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。  
講読した内容について自由会話を行う。  
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。  
学生の要望も考慮してテキストを選びます。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	<small>あん とく</small> 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。  
日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	<small>あん とく</small> 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A (選)	クロチコフ, Y.	全学科選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボディークラウド）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返し練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学習します。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円、プリント配布。  
ビデオ、オーディオ等を使用します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I B (選)	木 村 英 明 きむら ひであき	全学科選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語Ⅱ(選)	佐野朝子 <small>さのあさこ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS WE SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語ⅠA(選)	宋美玲 <small>ソンミリン</small>	全学科選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語(会話編1)』(白帝社)1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社)1,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I B (選)	宋美玲	全学科選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを旨とする。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,890円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 II (選)	宋美玲	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

- 1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円
- 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。  
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

## 4. 保 健 体 育 科 目

科 保  
健 健  
体 体  
目 育



# 保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

## 4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義〉	213
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤政之〉	214
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	〈末次美樹〉	215
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木淳平〉	216
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋俊介〉	217
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹田幸夫〉	218
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈舘岡儀秋〉	219
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光永吉輝〉	220
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈村松誠〉	221
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	222
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈鈴木淳平〉	223
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大石武士〉	223
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(サッカー)	〈秋田浩一〉	224
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(卓球)	〈川村正義・山口良博〉	225
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(バドミントン)	〈牧野茂〉	226
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(ソフトボール)	〈高橋俊介・村松誠〉	227
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(室内球技)	〈鈴木淳平〉	228
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース(トレーニング)	〈山口良博〉	229
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(簡化太極拳)	〈大石武士〉	230
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(バドミントン)	〈長濱友雄〉	231
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(室内球技)	〈鈴木淳平〉	232
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(卓球)	〈牧野茂〉	232
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／基礎(バスケットボール)	〈牧野茂〉	233
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(簡化太極拳)	〈大石武士〉	234
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(ニュースポーツ)	〈大石武士〉	235
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)	〈長濱友雄〉	236
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(室内球技)	〈鈴木淳平〉	236
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(バドミントン)	〈鈴木淳平〉	237
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期／応用(卓球)	〈牧野茂〉	238

生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期／応用 (バスケットボール)	
〈牧野 茂〉	239
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中) 〈江口 淳一〉	240
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中) 〈江口 淳一〉	241
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中) 〈三幣 晴三〉	242
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ) 〈森本 葵 他〉	243
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード) 〈鈴木 淳平 他〉	244
健康・スポーツ論 1 〈佐藤 政之〉	245
健康・スポーツ論 2 〈大石 武士〉	246
健康・スポーツ論 2 〈村松 誠〉	247
健康・スポーツ論 2 〈牧野 茂〉	248

# 「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

月曜日・1時限	※竹田	体操・トランポリン
	高橋	空手道
	館岡	ゴルフ
	光永	トレーニング
	川村	室内球技
	佐藤	ジョギング
	鈴木	ソフトボール
	村松	卓球
	末次	簡化太極拳

※は、科目の主担当者

# 「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日					
1時限											
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	牧	前期・応用	牧	前期・応用			
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球		バスケットボール			
	濱	後期・基礎	石	後期・応用		後期・応用	野	後期・応用	野	バスケットボール	
		バドミントン		ニュースポーツ※		卓球		バスケットボール			
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	前期・基礎	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎	
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技		卓球		バスケットボール	
	濱	後期・応用	石	後期・基礎		後期・応用	後期・基礎	野	後期・基礎	野	後期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※		室内球技	卓球		バスケットボール		
4時限	大	前期・応用		鈴	木	前期・基礎	鈴	前期・応用			
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン			
	石	後期・応用				後期・基礎		後期・応用			
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン			

保健体育  
科目

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科  
保  
健  
体  
育  
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむらまさよし 川村正義	禅・仏教1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明  
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)  
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)  
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	さとう まさゆき 佐藤 政之	禅・仏教1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、  
野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	すえ つぐ み き 末 次 美 樹	禅・仏教1必	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 单鞭・雲手・单鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿杖・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：綜合
- 12 時限目：綜合
- 13 時限目：綜合
- 14 時限目：綜合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 2) 教場：101教場

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	<small>すず き じゅん べい</small> 鈴木 淳 平	禅・仏教1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： 〃
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： 〃
- 5 時限目： 〃
- 6 時限目： 〃
- 7 時限目： 〃
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： 〃
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与  
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。  
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たか ばし しゅん すけ 高 橋 俊 介	禅・仏教1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

保健  
体育  
目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだゆきお 竹田 幸夫	禪・仏教1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	たて おか よし あき 館 岡 儀 秋	禪・仏教1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。  
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	禅・仏教1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・  
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ(室内専用)を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容(毎時間記録をする)、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法(単独法、対人法)などを各時間に詳しく講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むら まつ 村 松 誠	禅・仏教1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	田中 佳孝・長濱 友雄 <small>たなか よしたか ながはま ともお</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 【前期】
- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
  - 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
  - 3 時限目： ♪ (サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
  - 4 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
  - 5 時限目： ♪ (シングルスゲーム)
  - 6 時限目： ♪ (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
  - 7 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
  - 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
  - 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
  - 10 時限目： ♪ (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
  - 11 時限目： ♪ (ルール解説、シングルスゲーム)
  - 12 時限目： ♪ (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
  - 13 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
  - 14 時限目： ♪ (ダブルスゲーム)
  - 15 時限目： ♪ (まとめと評価)
- 【後期】
- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
  - 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
  - 3 時限目： ♪ (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
  - 4 時限目： ♪ (フォーメーション、ゲーム)
  - 5 時限目： ♪ (ゲーム)
  - 6 時限目： ♪ (ゲーム)
  - 7 時限目： ♪ (ゲーム)
  - 8 時限目： ♪ (まとめと評価)
  - 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
  - 10 時限目： ♪ (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
  - 11 時限目： ♪ (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
  - 12 時限目： ♪ (ゲーム)
  - 13 時限目： ♪ (ゲーム)
  - 14 時限目： ♪ (ゲーム)
  - 15 時限目： ♪ (まとめと評価)

保科  
健  
体  
育  
目

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右攔脚・双峰貫耳・轉身左攔脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・取勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科保健体育



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後：〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前：〃
- 5日目午後：〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00  
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまくち よしひろ 川村 正義・山口 良博	全学科2・3・4年	2

#### 講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3 日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4 日目午前：ダブルスゲーム
- 4 日目午後：ダブルスゲーム
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習[再クラス] 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧野 茂	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）  
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク  
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム  
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス  
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク  
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム  
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク  
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム  
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム  
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク  
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム  
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム  
5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。  
(2) 体育館シューズを用意すること。  
(3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について  
(1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合  
(2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30  
(3) 実施場所：玉川体育館  
(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。  
(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ むらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	全学科2・3・4年	2

#### 講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパツティング、走塁練習、その他）  
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム  
午後：〃
- 第3日目 午前：〃  
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃  
午後：〃
- 第5日目 午前：〃  
午後：〃

#### 履修上の留意点

一般の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

#### 成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

#### そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- 実施場所：玉川グラウンド
- 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(室内球技)	鈴 木 淳 平 <small>すず き じゅん べい</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・  
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素(体力的・技術的)を意識してゲームを多く消化していく。  
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習[再クラス] 集中授業コース(トレーニング)	やま くち よし ひろ 山 口 良 博	全学科2・3・4年	2

#### 講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

#### 履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

#### そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)  
(後期) 12月21日(火)～25日(土)  
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前 10：00～12：00  
午後 13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

保 科  
健 体  
育 目

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

#### 講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。

また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。

- (1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
- (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・ゲーム (シングルス)
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム (ダブルス)
- 15 時限目： }

#### 履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

#### 成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。



科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席率の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓球)	まきの しのぶ 牧 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。  
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
  - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
  - (2) スマッシュを打つことが出来る。
  - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目：
- 9 時限目：
- 10 時限目：} 総合練習、シングルスゲーム練習
- 11 時限目：
- 12 時限目：
- 13 時限目：
- 14 時限目：} 総合練習、ダブルスゲーム
- 15 時限目：

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まき の 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

#### 講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

#### 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擱脚・双峰貫耳・轉身左擱脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攷捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

保健  
体育  
目

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いた たい し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：                    ♪                    ♪
- 10時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 11時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 12時限目：スポーツチャンバラ：                   ♪                   ♪
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 保  
健 健  
体 体  
目 目

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。  
また技術の課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション  
 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ  
 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ  
 4時限目：総合練習  
 5時限目：総合練習  
 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）  
 10時限目： }  
 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）  
 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

保健体育目

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	すず き じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。  
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すずき じゅん へい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。  
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。  
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。  
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：〃
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11 時間目： }
- 12 時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの 牧 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： }  
                  } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目： 総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： }  
                  } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目： 総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目： 総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まき の 野 しげる 牧 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バスケットボール)		全学科4選	

#### 講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

#### 履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

#### 成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	<small>え ぐち じゅん いち</small> 江 口 淳 一	全学科選	1

#### 講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自立的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら Highで Full にテニスと関わる態度を養う。

#### 講義の内容・ 授業スケジュール

1日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)

3日目午後：(戦術と応用)

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

#### そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日 (日)～22日 (木)  
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00  
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限 (前期)

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐち じゅん いち 江口 淳 一	全学科選	1

#### 講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス業打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認

1日目午後：ラリーの応用練習

2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ

2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。

3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）

4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）

4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）

5日目午前：団体戦形式の試合

5日目午後：まとめ

#### 履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

#### 成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

#### その他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的のスポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士のコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）  
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）  
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）  
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）  
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具  
① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）  
② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）  
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00  
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。  
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もりもと まもる 森 本 葵 他	全学科選	2

#### 講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義  
1日目 9月6日(月) 実技: 12:50~17:20 打撃練習  
講義: 10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》  
※注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。  
2日目 9月7日(火) 実技: 13:30~16:30 打撃練習  
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》  
3日目 9月8日(水) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》  
4日目 9月9日(木) 実技: 9:00~16:30 打撃練習・ラウンド  
講義: 19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》  
5日目 9月10日(金) 実技: 9:00~12:00 ラウンド

#### 履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

- 実習日程: 9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
- 場 所: ①宿 泊 ホテル安比グランド 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025  
岩手県岩手郡松尾村安比高原  
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100  
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
- 定 員: 40名
- 集合解散: 現地(ホテル安比グランド)  
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
- 受講料: 39,500円(左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間: 5月24日(月)~6月5日(土)
- 服装・用具  
① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)  
② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。  
③ グローブは、必ず各自で用意すること。  
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

#### 成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

#### そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	鈴木 淳平 他	全学科選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場  
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。  
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
  - 1日目 2月14日(月)  
午後、現地ホテルロビー集合  
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
  - 2日目 2月15日(火)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
  - 3日目 2月16日(水)  
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
  - 4日目 2月17日(木)  
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
  - 5日目 2月18日(金)  
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

保健体育目

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場  
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名  
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。  
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。  
納入期間：5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているのに特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ論1(前期)	佐藤 政之 <small>まさ とう まさ ゆき</small>	禅・仏教1選	2

#### 講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 ♪： ♪（食生活と栄養）
- 4 ♪： ♪（運動不足と成人病）
- 5 ♪： ♪（平均余命と寿命の伸び）
- 6 ♪： ♪（健康のための生活習慣）
- 7 ♪： ♪（喫煙・飲酒）
- 8 ♪： ♪（ストレス社会と健康障害）
- 9 ♪： ♪（ストレスと健康測定）
- 10 ♪：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11 ♪： ♪（スポーツマンのトレーニング）
- 12 ♪： ♪（スポーツマンの運動処方）
- 13 ♪： ♪（スポーツ医学の一般知識）
- 14 ♪： ♪（スポーツと環境・条件）
- 15 ♪：まとめ

#### 成績評価の方法

「レポート」の提出3回

#### 教科書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科選	2

#### 講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10時限目：熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14時限目：体力について
- 15時限目：テスト

#### 成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

#### 参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カヅサ出版) 1,700円
- 2 『最新図解救命救急-応急手当の手引き-』(小学館) 700円

#### そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	むら まつ 村 松 誠	全学科選	2

#### 講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

#### 履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

#### 成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

#### 教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まきの野茂 牧野茂	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11時限目：日常生活と健康② 〃・〃・〃 ②
- 12時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』（カズサ出版部）1,700円  
他は、講義のなかで紹介する。

## II 專門教育科目

科  
專  
門  
教  
育  
目



## II. 専門教育科目

禅学序	説〈永井政之〉	255
仏教学序	説〈片山一良〉	255
仏教学序	説〈松本史朗〉	256
坐禅	I 〈角田泰隆・岩永正晴・永井政之・晴山俊英〉	256
宗典	典〈晴山俊英〉	257
宗典	典〈岩永正晴〉	257
宗典	典〈石井清純〉	258
禅学研究	I 〈岩永正晴〉	258
禅学研究	II 〈晴山俊英〉	259
禅学研究	III 〈熊本英人〉	259
禅学研究	IV 〈休講〉	
仏教研究	I 〈吉津宜英〉	260
仏教研究	II 〈池田練太郎〉	261
仏教研究	III 〈吉村誠〉	261
仏教研究	IV 〈休講〉	
インド仏教史	史〈田上太秀〉	262
パーリ仏教史	史〈奥平龍二〉	263
ベトナム仏教史	史〈四津谷孝道〉	263
中国仏教史	史〈岡部和雄〉	264
朝鮮仏教史	史〈石井公成〉	264
日本仏教史	史〈飯塚大展〉	265
中国禅宗史	史〈石井修道〉	265
日本禅宗史	史〈佐藤秀孝〉	266
禅籍講読	I 〈石井修道〉	266
禅籍講読	II 〈佐藤秀孝〉	267
禅籍講読	III 〈岩永正晴〉	267
禅籍講読	IV 〈大谷哲夫〉	268
仏典講読	I 〈岡部和雄〉	268
仏典講読	II 〈田上太秀〉	269
仏典講読	III 〈池田魯参〉	269
仏典講読	IV 〈飯塚大展〉	270
宗教史	史〈長谷部八朗〉	270
インド仏教文化史	史〈金沢篤〉	271
中国仏教文化史	史〈永井政之〉	271
日本仏教文化史	史〈袴谷憲昭〉	272
日用経典	典〈皆川広義〉	272
禅学概論	論〈石井修道〉	273
仏教概論	論〈池田練太郎〉	273
中国古典語初級	級〈吉村誠〉	274
インド哲学史	史〈金沢篤〉	274
中国哲学史	史〈前川亨〉	275
西洋哲学史	史〈中村友太郎〉	275
インド仏教思想史	史〈松本史朗〉	276
中国仏教思想史	史〈伊藤隆壽〉	276
原始仏教	論〈片山一良〉	277
真宗学概論	論〈休講〉	

淨土	概論	〈小澤憲珠〉	277
真言	概論	〈遠藤祐純〉	278
蓮宗	概論	〈休講〉	
日蓮	概論	〈休講〉	
新神道	概論	〈田沼真弓〉	278
外国語	佛書講読	〈四津谷孝道〉	279
外国語	佛書講読	〈石井清純〉	279
禅学	特講 I	〈休講〉	
禅学	特講 II	〈休講〉	
禅学	特講 III	〈休講〉	
禅学	特講 IV	〈休講〉	
仏教	特講 I	〈休講〉	
仏教	特講 II	〈飯塚大展〉	280
仏教	特講 III	〈休講〉	
仏教	特講 IV	〈奥野光賢〉	280
仏教	伝道概説	〈皆川広義〉	281
仏教	伝道研究	〈皆川広義〉	282
青少年	問題研究	〈讚岐真佐子〉	283
青少年	指導演習	〈休講〉	
宗教	法概説	〈洗建〉	284
詩書	偈道	〈休講〉	
現代理学	と仏教	〈寺山葛常〉	284
宗教学	概論	〈休講〉	
キリスト教	概論	〈長谷部八朗〉	285
イスラム教	概論	〈挽地茂男〉	286
哲学	概論	〈菊地達也〉	287
宗教学	概説	〈飯田亘之〉	287
現代哲学	概説	〈河谷淳〉	288
仏教	民俗学	〈久保陽一〉	289
宗教学	教育	〈須藤寛人〉	289
心理学	概論	〈小山一乘〉	290
パーリ語	初級	〈間山英俊〉	291
パーリ語	上級	〈片山一良〉	292
サンスクリット語	初級	〈福田孝雄〉	292
サンスクリット語	上級	〈金沢篤〉	293
チベット語	初級	〈金沢篤〉	293
チベット語	上級	〈松本史朗〉	294
中国古典	語上級	〈木村誠司〉	294
ラテン語	語上級	〈小川隆〉	295
仏教	文献学	〈上野勝広〉	295
中国文学	講読	〈野沢佳美〉	296
禅	美術	〈休講〉	
仏教	美術	〈村松哲文〉	296
坐禅	美術	〈村松哲文〉	297
演習	禅 I	II 〈石井清純・松田陽志〉	297
演習	I	II 〈池田練太郎〉	298
演習	I	II 〈飯塚大展〉	298
演習	I	II 〈池田魯参〉	299
演習	I	II 〈石井修道〉	299

演	習	I	・	II	〈石	井	清	純	.....	300
演	習	I	・	II	〈伊	藤	隆	壽	.....	300
演	習	I	・	II	〈岩	永	正	晴	.....	301
演	習	I	・	II	〈大	谷	哲	夫	.....	301
演	習	I	・	II	〈岡	部	和	雄	.....	302
演	習	I	・	II	〈片	山	一	良	.....	302
演	習	I	・	II	〈金	沢		篤	.....	302
演	習	I	・	II	〈熊	本	英	人	.....	303
演	習	I	・	II	〈佐	藤	秀	孝	.....	303
演	習	I	・	II	〈田	上	太	秀	.....	304
演	習	I	・	II	〈永	井	政	之	.....	304
演	習	I	・	II	〈長	谷	八	朗	.....	304
演	習	I	・	II	〈晴	山	俊	英	.....	305
演	習	I	・	II	〈松	本	史	朗	.....	305
演	習	I	・	II	〈皆	川	広	義	.....	306
演	習	I	・	II	〈吉	津	宜	英	.....	306
演	習	I	・	II	〈吉	村		誠	.....	307
演	習	I	・	II	〈四	津	谷	孝	.....	307

科  
專  
門  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学序説	なが い まさ し 永井政之	禅1必	4

講義のねらい

長い仏教の歴史から見れば、菩提達磨（ボダイ・ダルマ）によって伝えられ七、八世紀以降に本格的に展開した「禅」は、いわば新興勢力に過ぎません。でも後の中国の仏教や日本の仏教を考える上で禅をはずすことはできません。しかし禅を学ぶためには、まず仏教に関わる基本的な知識が必要です。

この授業ではまずインドを起源とする「仏教」が、そもそもどのような教えを説く宗教であるかを概説します。ついで中国に伝わった仏教のあらまし、そして禅の基本的な立場、さらにはその歴史へと講義をすすめていきたいと思います。

すぐに理解できることもあるでしょうし、なかなか理解できないものもあるでしょう。必要に応じて参考書（辞典や研究書、概説書）なども紹介しますから、やる気だけは失わないで出席してください。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席や課題図書についてのレポートの結果などを総合して評価します。

教科書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）定価1,600円  
『宗教学Ⅱ』（更正社）

そのほか適宜プリント資料を配付します。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教学序説	かた やま いち ろう 片山一良	仏教1必	4

講義のねらい

仏教を学ぶ者に必要な基礎的知識の獲得を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、仏教の学問と信仰に触れ、世界の宗教、仏教の歴史と文化を概観する。

前期は、「仏伝」をテーマに、仏・法・僧について講義する。

後期は、「信仰と智慧」をテーマに、戒・定・慧について講義する。

ただし、いずれも経典を中心にしてその理解を求めるものである。

履修上の留意点

仏教学は、もとより「歴史」と「比較」に基づいて成り立つが、人格全体による学である。学びに丁寧であることを期待したい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教学序説	まつもと しろう 松本史朗	仏教1必	4

講義のねらい

これから仏教を学ぼうとする新入生諸君が、仏教研究に必要な基礎的知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

仏陀である釈尊の伝記、原始仏教の基本的教理、その後の仏教の歴史的思想的展開、仏教の経典の説明、術語の説明等を中心に講義する。

成績評価の方法

期末テストによって評価する。

教科書

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅 I	つのだ あいりゅう いわなが しょうせい 角田 泰隆・岩永 正晴 なが い まさし ほけやま しゅんざい 永井 政之・晴山 俊英	禅・仏教2必	4

講義のねらい

仏教学・禅学は、共に坐禅に基づく智慧の宗教の知的営為である。しかしこれは、単に相対的知解の究明にのみ終始するのではなく、その究極は不曾染汚の行持である坐禅の、不断の実修にこそ、その重心があることを忘れてはならない。無偏無党の坐禅なくして正遍知による見極めはありえない。従って、坐禅が、常に学問する者の上に正しく位置づけられて行くのでなければ、真の仏教学・禅学とは言えない。かかる道元禅師の正伝の坐禅を実修して、自他の見を超えた無所得無所悟の仏法を行持することに勤めて行く。

講義の内容・授業スケジュール

全時間、坐禅実習・経行・講義を行い、前期は『正法眼藏坐禅儀』と『経行軌』について、後期は『普勧坐禅儀』について講じ、道元禅師正伝の仏法を明らかにする。

履修上の留意点

仏教を学ぶ者の基本であるから、自らの節度ある生活を心掛け、実習に臨んでは次のことを堅く守ること。

- (1) 新学期最初の授業は、坐禅堂における進退・作法と席次など必要事項を指示するので、必ず出席すること。
- (2) 時間厳守：始鈴10分前に全員入堂し、坐禅に入ること。遅刻・早退は全て欠席とする。
- (3) 私語・懈怠の厳禁：坐禅堂のある禅研究館の四階では、一切の私語をせず、毎時間、懈怠を戒めて真摯に精励すること。
- (4) 威儀厳正：仏制に順じて虚飾を避け、正服を基本に清楚な服装を心掛け（暑季は白のYシャツ可）、堂内の進退は作法に随い、身のすまいを正して厳粛に勤めること。
- (5) 直堂の当番：直堂を、毎時間2名（前策と後策）ずつ勤めるが、当番に充った者は、責任をもって、予め講本の作法をよく読んで理解し、前回の担当者からよく習って進退・作法を確認して行うこと。無責任なため叱責されるなど、全員に迷惑をかけぬよう注意すること。

成績評価の方法

- (1) 全時間の「3分の2」以上の出席と、毎時間、真摯に実習したかを点検し、総合判断して評価を決める。
- (2) 追試・再試等による救済措置は、全く無い。

教科書

『坐禅講本』（更生社）2,266円

参考書等

『坐禅用心記』『普勧坐禅儀不能語』

その他

授業は、40分間の坐禅、10分間の経行、40分間の講義の形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	禅 2 必	4

講義のねらい

道元禅師の教えの特徴は只管打坐にあるとまとめられることが多いが、その教えが記されている宗典を実際に読んでいる学生は少ないのではないだろうか。また、たとえ読んでみたとしても、『正法眼蔵』などは一読して理解できる書ではない。そこには一般的言語感覚という壁が大きく立ちはだかっているからである。言い換えれば仏の眼差しが散りばめられているのである。この講義を通してそうした仏法ないし曹洞宗の立場を理解され、おのおのが人生の糧とし得れば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に道元禅師・瑩山禅師両祖の簡単なプロフィールを紹介し、次に宗典と呼ばれる典籍を一通り説明する。その後、『正法眼蔵』を中心に実際に内容を読み込んでいくこととなる。

履修上の留意点

仏教学と禅学、そして宗学の立場の違いを確認すること。

成績評価の方法

必修につき、出席を重視する。また、毎時間簡単な課題を出すので調べてくること。課題の提出状況とその出来、出席状況と授業中の態度によって評価する。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 典	いわ なが しょう せい 岩 永 正 晴	仏教 2 必	4

講義のねらい

曹洞宗で両祖と仰ぐ道元禅師・瑩山禅師の名著について概説し、その主要な巻ないし章を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

先ず両祖の名著である『正法眼蔵』と『伝光録』の成立・伝播・研究等について概説する。次に『正法眼蔵』『仏道』ならびに『伝光録』『第五十二祖（懐奘禅師）章』の講読を行う。

履修上の留意点

安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。

教科書

テキストはコピーしたものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第1・2巻（春秋社刊）、『瑩山禅』第1～4巻（山喜房仏書林刊）。その他は講義の中で適宜紹介する。

科 専  
門 教  
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗典	いし い きよ ずみ 石 井 清 純	仏教2必	4

講義のねらい

曹洞宗の開祖である道元・瑩山両禅師の著作を通じて、禅籍の読解力を養いつつ、日本曹洞宗の教えの基本理念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに両禅師の著作を俯瞰し、日本曹洞宗における両者の位置付けと「宗典」の定義について考える。その後、『正法眼蔵』・『伝光録』の中から、適宜、巻・章を選択し、両者の特徴を意識しながら読み進める。

履修上の留意点

曹洞宗の開祖である道元・瑩山両禅師の著作を通じて、禅籍の読解力を養いつつ、日本曹洞宗の宗風の基礎を学ぶ。

成績評価の方法

前期終了時と年度末の2回のペーパーテストに出席点を加味して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

- (1)『正法眼蔵』 河村孝道校註『道元禅師全集』巻1・2(春秋社)  
水野弥穂子校註『正法眼蔵』全4冊(岩波文庫)  
(2)『伝光録』 東隆眞訳註『現代語訳 伝光録』(大蔵出版)  
孤峰智瑤校註『伝光録』(鴻盟社)

その他

『正法眼蔵』・『伝光録』については数多く出版されているので、それぞれに一揃いずつ用意しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究 I	いわ なが しょう せい 岩 永 正 晴	禅2・3選必 仏教2・3選	4

講義のねらい

この科目は禅の教義に関する講義を行なうものである。みずからの信仰や思想を体系化し論書を著した教理学者たちとは異なり、禅者たちはその時処あるいは修行者の機根に応じて自在に説法したため、偈頌などの簡潔で象徴性に富むことばを用いることが多かった。しかし、禅者のそのような言動(教説)も、禅籍として記録され注釈が加えられていく過程で、体系的な解釈がなされるようになったと思われる。この講義では『大智禅師偈頌』と、江戸時代の各期に多数作成された注釈書類を取り上げる。入元経験もある大智禅師(1290-1366)の偈頌は多くの主題を詠み、形式・内容ともにすぐれたものとして広く読まれてきた。そこで各偈頌の主題・偈頌・注釈の各々に考察を加え、大智禅師や各注釈者たちが指し示した曹洞宗の宗旨について講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず『大智禅師偈頌』の解題をおこなう。次にいくつかの偈頌を取り上げ、その主題・偈頌の内容・各注釈書の示す解釈の順で解説をおこなう。

履修上の留意点

安易に欠席することなく、積極的に参加して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート(数回)によって成績評価を行う。

教科書

『續曹洞宗全書』「歌頌」所収本をコピーして配布する。

参考書等

伊吹敦『禅の歴史』、石井修道『中国禅宗史話』、鏡島元隆監修・曹洞宗宗学研究所編『道元思想のあゆみ』1~3、水野弥穂子『日本の禅語録 大智』他。その他は講義で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅱ	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	禅2・3選必 仏教2・3選	4

講義のねらい

ある教団の宗教生活の実践を考えると、まずその教団の約束事を確認し、次いでその約束事が存在する意義を探るのが正攻法であろう。そこで道元禅師ないし曹洞宗で用いられる清規と戒律をみることとなるが、この講義を通して、表面的と思われる威儀作法が、実は根底で宗学と密接に関わっていることを理解されたい。

講義の内容・授業スケジュール

道元禅師の撰と思しき清規・戒律文献のポイントを追いかけて、過去や他宗派、および現状との比較を少しく眺めていく。

履修上の留意点

何故そうするのか、という点を考えられたい。

成績評価の方法

受講者が多い場合は期末試験に出席の状況を加味した評価を、少人数の場合はレポートの提出による評価を考えている。

教科書

その都度配布する。

参考書等

講義の中で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究Ⅲ	くま もと えい にん 熊 本 英 人	禅2・3選必 仏教2・3選	4

講義のねらい

禅学研究Ⅲは、「教団」を主題とする講座である。近世における、宗学の主張や、仏教に対する批判なども視野に置きながら、明治維新以降の曹洞宗教団の近代化の諸相とその問題点を中心に講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の近代化とはいったい何であったのか。明治以降、仏教教団は、僧侶の世俗化や、教義の再構築など、大きく変貌してきた。さらに、近年の、檀家制度の崩壊や、「葬式仏教」への批判などまで含めて、仏教教団はさまざまな問題を抱えてきた。ここでは、近現代の曹洞宗教団の諸問題や、その変遷の持つ意味について考えてみる。

仏教教団の理想と現実の乖離を見ることによって、教団の存在意義を考える手がかりともしたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

柏原祐泉著『日本仏教史 近代』（吉川弘文館）2,524円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究 I	よしづ よしひこ 吉津宜英	仏教2・3選必 禅2・3選	4

講義のねらい

仏教研究Iの目的は釈尊以来、今日に到るまでの仏教者達の教理や思想を研究することです。それらのなかには相互の矛盾するものや、対立するものもありません。また、いったいこれを仏教と認定して良いか疑問になるような教理もあります。それらをできるだけ偏見なく公平に認識したいものです。私は釈尊の自洲（自己を拠る所にする）と法洲（法を拠る所とする）の教えが重要であると考えています。法洲の立場からすればこれが仏教であるというある一定の基準は存在するものと思われま。問題は自洲です。自洲は自分を拠る所として、自覚を深めてゆくことですので、人間の多彩なあり方がそのままその人の仏教観に反映すると言えます。そこで、自分の考えを是とすれば、ある特定の人の仏教観を仏教ではないと批判することもありうるわけですが、しかし、私は何らかの教理や思想を仏教ではないと批判することには慎重でありたいと考えています。それは批判する側の自分の立場そのものも問題であるからです。必要なことは、自分の仏教観と古典的な人物や現代の仏教者との絶えざる対話の努力であると思います。それが研究ということでしょう。他の人の仏教観をどれだけ正確に理解するかということが、自己認識にも反映して、自洲の公平さに繋がるものと考えます。講義の中心に釈尊の初転法輪で説かれた中道を置き、それぞれの教理や思想の特色とその特色が発揮される原因をできるだけ公平に深く究明してゆきたいと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の中道は二辺を離れることと、水平対等であることの二義になると考えます。ところで不二は大乗経典には多くの用例があります。空思想の必然的な流れとして一切の対立が打ち払われて、般若経などから不二が盛んに説かれます。そして中国仏教では不二が中道に結び付けられますが、この不二論は中道論には相応しくないと考えます。中道論は縁起論や無我論などの多元的にして、自己中心的ではない仏教思想の実践の中核をなすものです。不二論は空思想の範囲では許容されるのですが、一元論的な方向に傾きやすいのです。一元論は神を立てる宗教やある種の哲学では自然な議論ですが、二辺を離れる中道義からすると単なる一辺に墮することになり、中道とは言えません。不二中道が出現した歴史的経緯とその問題点を考えて、現代日本の社会の中で仏教が活性化し、社会の諸問題に向かって具体的な提案ができる思想構造を提案したいと思ひます。前期は大乗仏典の不二の用例を検討し、後期は中国仏教の不二中道の用例を考察します。年間を通じて仏教の活性化と社会に向かう仏教の原点としての中道を志向します。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を筆記すると共に御自身の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎ですが、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、それらの結果を総合的に勘案し、成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、できるだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

講義の際、随時参考図書などを紹介します。

専科  
教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅱ	池田 練太郎 <small>いけだ れんたろう</small>	仏教2・3選必 禅2・3選	4

講義のねらい

「仏教研究Ⅱ」の講義は、仏教における実践の問題を扱うことになっている。仏教の実践にはさまざまな側面があるが、本来的には戒・定・慧の三学のうち、戒と定がその中心をなすといえよう。本講義では、業（karman）や修行生活など、人間の行為に関わる問題にも触れながら、戒学・定学を中心として仏教における実践的な側面を総体的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、仏教における実践の範囲・内容について概観し、その後特に戒律の問題を考える。後期には、修行に関する種々の問題について、禅定を中心にして考察する。講義は、おおむね以下の次第に沿って進める予定である。 a, 仏教における実践 b, ブッダの修行について c, 中道・八正道と仏教の実践 d, 律蔵の成立とその意味 e, 戒と律に関する諸問題 f, 業について g, 禅定の諸相 h, 仏教における修行

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

教科書は用いない。必要に応じてテキスト・資料等を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教研究Ⅲ	吉村 誠 <small>よしむら まこと</small>	仏教2・3選必 禅2・3選	4

講義のねらい

この講義では、唯識思想とその歴史的展開について概説します。唯識思想とはあらゆる存在はただ心のあらわれであるとみて、自己の心のありかたを転換しようとするものです。唯識思想は4・5世紀頃にインドで大成しましたが、6・7世紀には中国に伝えられて独自の発展をとり、東アジアでは仏教の基礎学として学ばれてきました。

前期は、インド瑜伽行派の唯識思想について、彼らの基本教義であるアーラヤ識説や三性三無性説を中心に解説します。後期は、中国における唯識思想について、如来蔵思想との交渉のなかで独自の学説を展開したプロセスを検証します。唯識思想や如来蔵思想に関心がある者、思想史の研究方法を学びたい者の受講を期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 唯識とは何か (2) 唯識思想を説く経典・論書 (3) 瑜伽行派と『解深密経』 (4) 弥勒と『瑜伽師地論』 (5) 無著と『摂大乘論』 (6) 世親と『唯識三十頌』 (7・8) アーラヤ識縁起 (9・10) 三性・三無性 (11) 転依 (12) 真如 (13) まとめ
- (後期) (1) 如来蔵とは何か (2) 如来蔵思想を説く経典・論書 (3) 『涅槃経』と悉有仏性 (4) 『大乘起信論』と如来蔵縁起 (5~7) 中国唯識の展開 (地論学派・摂論学派・唯識学派) (8) 玄奘と『成唯識論』 (9) 一乗と三乗 (10) 五姓各別 (11・12) 日本唯識の展開 (法相宗) (13) まとめ

科専門教育  
目

履修上の留意点

予習は特に必要ありません。参考文献は随時紹介しますので、講義を聴いて興味を抱いたことを本で調べてまとめるなど、自主的に学習するよう心がけてください。また、出席状況と授業態度を重視しますので、毎回出席する覚悟のある人だけ履修してください。

成績評価の方法

出席状況とレポートを総合して評価します。

教科書

横山紘一『唯識思想入門』（第三文明社）1976年

参考書等

高崎直道『唯識入門』（春秋社）1992年 その他、授業中に随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教史	た が み た い し ゅ う 田 上 太 秀	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

インド仏教史はたんに仏教の歴史の講義に止まらず、インド哲学思想やインド文化史の中に位置づけられた仏教の様相を時代を追って講義しようと考えている。  
たんに歴史の叙述だけでなく、それぞれの事象を残された彫刻や絵画などで紹介したり、植物や動物の関わりにも触れて説明をしたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

昨年の講義に準じて本年の講義は進めるが、多くはプリントを配布し、それを資料にして講義する。

講義内容・目次

- 第1章 ゴータマ・ブッダ以前のインド
- 第2章 ゴータマ・ブッダの生きた時代の社会環境
- 第3章 ゴータマ・ブッダの生涯  
ブッダの系譜、ブッダの誕生、ブッダの少年時代、出家の動機、修行生活、菩提樹下の開悟、45年間の伝道活動、死への旅
- 第4章 ブッダの根本思想 四諦八正道
- 第5章 仏教の分類  
地域的区分、教理展開の時代的区分、修行の価値的区分
- 第6章 アショーカ王と仏教
- 第7章 教団分裂と部派の仏教
- 第8章 経典の成立
- 第9章 大乘仏教の起源
- 第10章 大乘仏教の思想の流れと特色
- 第11章 主な仏教文献の類型と思想

成績評価の方法

出席時数が授業時数の過半数を超えていない場合は出席不良と見做し、テストの点数がよほどの高得点でないと、不可となる。  
皆勤の者には素点にプラス点を付けることがある。  
成績評価の基本は期末テストの点数にある。

教 科 書

テキストはコピーを配布する。

参 考 書 等

佐々木教悟ほか著『仏教史概説（インド篇）』（平楽寺書店）750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
パ ー リ 仏 教 史	おく だいら りゅう じ 奥 平 龍 二	禅・仏教2・3選必	4

#### 講義のねらい

本授業は、紀元前3世紀にインドからスリランカに伝えられ、そこで大成した上座部（テーラヴァーダ）仏教、すなわち、パーリ語を聖典用語とする「南方上座部仏教」が11～14世紀に東南アジア大陸部の諸民族（モン、ミャンマー、タイ、クメールおよびラーオなど）に伝えられて以来今日までこの地域に興隆してきた仏教の歴史を辿ること、その仏教の特徴を明らかにすること及び今もなお生きた仏教として大多数の人々の篤い信仰を集めている要因を探ることを狙いとする。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 序論：(1)東南アジア地域の一般概況、(2～3)歴史文化的枠組と特徴および参考文献の紹介、(4)仏教の起源と上座部仏教、(5～6)上座部仏教のスリランカへの伝播とスリランカ仏教史、(7)東南アジア大陸部への南方上座部仏教の伝播、(8～9)ミャンマー仏教史、(10～11)タイ・ラオス仏教史、(12～13)カンボジア仏教史、(14)その他の地域（ベトナム、インドネシア、シンガポール）の仏教史
- (後期) 東南アジア大陸部における仏教の受容と変容：(15～16)仏教の受容と変容、(17～22)ミャンマー仏教の事例—修行実践形態、出家者と在家者、仏塔信仰、民間信仰、宗教意識と宗教観、(23)東南アジア大陸部仏教の比較的特徴、(24～25)東南アジア仏教の最近の動向、(26)まとめ

#### 成績評価の方法

年2回の期末レポートに受講姿勢を加味し総合的に評価する。

#### 教科書

教科書は使用せず、随時、レジュメ乃至資料を配布する。

#### 参考書等

石井米雄『タイ仏教入門』（めこん）、石井米雄編『講座：仏教の受容と変容』（佼成出版社）、石井米雄監修『ブッダ：大いなる旅路2』（NHK 出版）

#### その他

授業は講義形式。適宜、質疑応答も行う。ビデオ等の補助教材も活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
チ ベ ッ ト 仏 教 史	よ つ 谷 こ う 道 四 津 谷 孝 道	禅・仏教2・3選必	4

#### 講義のねらい

チベット仏教は、長い間アジアの一辺境地の特殊な仏教であると理解されてきた。しかし、近年の仏教研究においては、チベット仏教の理解が如何に重要であるかが見直されつつある。授業では、仏教研究においてチベット仏教が有するその重要性を様々な角度から開明にしてゆきたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

思想史的な側面と文化史的な側面から、チベット仏教の形成、その変遷、そして現状を説明する。

#### 成績評価の方法

学年末の試験。

#### 教科書

授業に必要な資料は、授業において随時配付する。

#### 参考書等

山口瑞鳳：『チベット』（全二巻）（東洋叢書3）（東京大学出版会）  
松本史朗：『チベット仏教哲学』（大蔵出版）



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教史	岡部 和雄	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

「中国－仏教史」と「中国仏教－史」をうまくバランスさせて講義したい。漢代から宋代までを概観するが、ことしはとくに漢魏晋南北朝をくわしく研究してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

年度のはじめに章分けと進度のスケジュールを示す。

履修上の留意点

とくに教科書を指定しない。必要に応じて参考文献や論文を紹介する。中国の歴史全般の知識も講義の前提となるので、わかりやすい中国史の概説書を座右に置いてほしい。

成績評価の方法

年度末の試験によって評価する。

教科書

『禅学研究入門』（大東出版社、1994）所収の「中国仏教と禅」を読んでおくことを勧めたい。

参考書等

『禅学研究入門』（大東出版社、1994）所収の「中国仏教と禅」を読んでおくことを勧めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮仏教史	石井 公成	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

仏教伝来から現代に至るまでの朝鮮仏教について概説し、印度、中国、日本、ベトナムなどの仏教との共通点と違いを考える。

講義の内容・授業スケジュール

仏教伝来の状況と、朝鮮仏教の精華である新羅仏教の教理、禅宗の展開などに重点を置き、資料を読みながら通説を批判的に検討してゆく。

履修上の留意点

漢文文献が中心となる。仏教漢文の訓練という点も考慮し、漢文の基礎力がつくような授業形態とするが、自分から積極的に漢文に取り組もうとする姿勢が必要となる。

成績評価の方法

平常点と秋のレポートによる。

教科書

参考書は数が少ないため、授業内容に応じて関連論文の一覧を配布する。

参考書等

鎌田茂雄『朝鮮仏教史』（東京大学出版会）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	飯塚大 展 <small>いづか ひろ のぶ</small>	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

日本への仏教伝来から江戸時代までの歩みを概観する。

講義の内容・授業スケジュール

各時代の仏教の歩みを、信仰が育んだ文化や美術とも関連させながら講義する。前期は仏教公伝より国家仏教の理念形成と挫折、平安新仏教の前提、法華一乗と真言密教、平安浄土教等のテーマで講義する。後期は、中世日本における仏教の正統と異端について、江戸時代幕藩体制下における仏教について、以上のテーマで講義する。

履修上の留意点

日頃から仏教辞典や概説書に親しみ、基礎的な知識の修得に心掛けて欲しい。

成績評価の方法

前・後期2回ずつの小テストと期末レポート試験にて厳正に評価する。

教科書

特定の教科書は用いない。但し随時プリントを配布する。

参考書等

授業時に随時紹介する。特に前期第1・2回目の講義において、概説書の紹介を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修 道 <small>いし い しゅう どう</small>	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方折りにも触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭邯山靈祐⑮黄檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文(400字詰め5枚程度)のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』(禅文化研究所) 3,605円

参考書等

『禅学大辞典』(大修館書店)、入矢義高等『禅語辞典』(思文閣書店)。

科専門教育  
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤 秀孝	禅・仏教2・3選必	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円  
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円  
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円  
 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	石井 修道	禅3・4選必 仏教3・4選	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。今年度は圭峰宗密が裴休に答えた『裴休拾遺問』を読む。この禅籍は、唐代の北宗・牛頭宗・洪州宗・荷沢宗の宗風の特色を分類したものである。この分類は、唐代の初期の禅の分類を考えるのに貴重なものであり、その後の禅宗の展開を知るには、是非とも読まねばならないものである。幸いに名古屋の真福寺文庫本を私が紹介することができたので、それを講読したい。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された圭峰宗密と裴休の伝記（400字詰め5枚以上）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。  
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅱ	佐藤秀孝	禅3・4選必 仏教3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義は中国禅宗でも宋代以降の禅籍（禅宗文献）を講読するものであり、それを通して宋代以降の禅宗の特質を考えていくことを目的とする。南北朝時代の菩提達磨を初祖とする中国禅宗は、唐代に独自の発展を遂げて祖師禅として定着し、唐末五代には中国禅の五家（邨仰・臨済・曹洞・雲門・法眼の五宗）が起り、北宋時代には臨済宗が黄龍・楊岐の二派に分かれている。宋代の禅宗には、頌古などの禅文学の興隆や、公案参究の看話禅の隆盛、五山十刹などの官寺機構の制度化、さらに日本への禅宗の伝来など、究明すべき興味深い課題が多い。そうした諸問題を踏まえながら、最初に宋代の禅宗と禅籍について講義形式で概観し、その後『碧巖録』『宏智禅師語録』『大慧正法眼蔵』などの当該の禅籍を講読していくことにしたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

はじめは講義形式で行ない、後半は内容の講読へと進みたい。

#### 履修上の留意点

漢文の語録・文集であるので、読解力を増すように努力してもらいたい。

#### 成績評価の方法

平常点（出席率や学習・発表態度）と年度末の定期試験による。

#### 教科書

授業の折に当該のものをコピーなどにて配布する。

#### 参考書等

筑摩書房『禅の語録』シリーズの『輔教篇』『雪竇頌古』『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』『大慧書』『無門関』『禅関策進』など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	岩永正晴	禅3・4選必 仏教3・4選	4

#### 講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度は道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められているほどで、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍であり、この科目の目的に添うものと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

#### 履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

#### 成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。

#### 教科書

コピーし製本したものを配布する。

#### 参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅳ	おおたにてつお夫 大谷哲夫	禅3・4選必 仏教3・4選	4

講義のねらい

本講座は、近世・江戸時代、強固な宗教統制の下で展開された洞門の宗統復古運動を記録した『宗統復古志』（上下2巻）を主として、他のそれに関連する書物を併読しながら、その運動が醸し出し、それ以後の洞門の二大支流となった中山道白（1636～1715）師とそれに対立する天桂伝尊（1648～1735）師を中心とする二派との宗義論争の比較検討を通して、“宗統”の現代的意義について参究する。

講義の内容・授業スケジュール

『宗統復古志』を演習形式をとりながら、かなりの速さで読み込んで行くので、その時間内に進む範囲ぐらいの予習は欠かさずしておいてもらいたい。

成績評価の方法

出欠・レポート・期末試験による。

教科書

教科書となる『宗統復古志』（上下2巻・『曹洞宗全書』所収）は開講時にコピーを配布する。

参考書等

参考書は適宜に指示し、参考文献は適宜にコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅰ	おがべかずお雄 岡部和雄	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

仏典に親しんでもらうため、そのいくつかを精選して講読する。パーリ仏典の和訳（片山一良訳）、漢訳阿含経の訓読文、大乘仏典の梵文和訳・漢訳などから、適切な文例を選ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの数回は「仏典入門」の意味で、初心者向けの仏典解題を試みる。『仏典入門事典』（大蔵経学術用語研究会編、永田文昌堂、2001年）などを座右に備えてほしい。

履修上の留意点

講読だから特別の下調べを要求しないが、実力をつけるためには休まないで出席し、配布のプリント資料は有効に活用してほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験により成績を評価する。

教科書

講読のテキストは随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅱ	田 <sup>た</sup> 上 <sup>がみ</sup> 太 <sup>たい</sup> 秀 <sup>しゅう</sup>	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

『正法念処経』を講読する。本経は大乗仏教における輪廻思想を具体的に五道を以って説いたもので、地獄から天上界までのそれぞれの生類の生活を述べている。

特に人間がどんな悪業を積めば地獄や餓鬼や畜生の各世界に生まれるのか、どんな善業を積むと天上界に生まれるのか、具体的に叙述する。善業と悪業の内容による再生の決定が来世観や人間差別観に大きな影響を与えている点が大きな問題となろう。

講義の内容・授業スケジュール

経典（翻訳したもの）を読みながら、考察する。

履修上の留意点

出席カードによって出欠を取るのので、授業時数の過半数以上の出席が必須条件である。

成績評価の方法

期末テストによって評価するのが基本であるが、皆勤のものには付加点がある。

教科書

テキストは、コピーを用意するので、毎回配布する。

参考書等

講義中に必要に応じて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅲ	池 <sup>いけ</sup> 田 <sup>だ</sup> 魯 <sup>ろ</sup> 参 <sup>さん</sup>	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

仏教漢文の読解力を養うために『法華経安楽行儀』を講読する。本書は中国史の南北朝時代末期に活躍した高僧南嶽慧思の著書として名高い。『妙法蓮華経』安楽行品に説かれている教えをどのように実践することができるかという課題を、身・口・意・誓願の四種安楽行としてまとめ、その有効性を説き示す。道元禪師が『普勸坐禅儀』において「坐禅は唯だ是れ安楽の法門なり」と示されるに至る源流は正しく本書まで遡ることができる。仏教の修行とはどういう構えのものであるか一度是非確認して欲しいものと考えます。

講義の内容・授業スケジュール

小論なので、最初から順次、読み下し文にして読んで行く。慣れて来たら当番を決め順番に受講生に読んでもらい、疑問点、問題点を示しながらコメントを加えていくような授業形態となるであろう。

履修上の留意点

仏教用語を丁寧に調べ、意味を明らかにし、仏教の修行論はどのようなものであろうか、体系的に把握してみたいと考える学習意欲の高い人を歓迎する。

成績評価の方法

当番に当たったときの予習の仕方や発表態度等平常のようすを評価し、課題レポートによって理解度を評価し、その上で総合的な評価を出す。

教科書

大正新修大蔵経46巻所収本をコピーして配布する。

科専門教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典講読Ⅳ	飯塚大展	仏教3・4選必 禅3・4選	4

講義のねらい

中世日本の仏教の教義について、各宗派に秘密伝授された切紙史料を通じて、その内容を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は葬送に関する切紙や無縁草紙、諸回向清規等を解説する。後期は、永平寺室内に相伝された切紙を一通ずつ読解し解説する。

履修上の留意点

原典講読を行なうので、くずし字や変体仮名等の予備知識があることが望ましい。

成績評価の方法

前・後期2回ずつの小テストと期末レポート試験によって厳正に評価する。

教科書

特定の教科書は用いない。但し随時プリントを配布する。

参考書等

石川力山『禅宗相伝資料の研究 上・下巻』（法蔵館、各巻18,000円）  
大本山永平寺『永平寺史料全書 禅籍篇第一巻』『同 第2巻』

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教史	長谷部八朗	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかを見る。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド仏教文化史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

仏教をさまざまな人間の営みの一環として捉えようとするのが本授業の中心となる。いささか具体的に述べるなら次のようになる。

すなわち今から約2500年前、インドに起った仏教は、紀元前後に中国へ伝来する。中国人にとっては異文化であった仏教は、少なからぬ変容を遂げつつ、中国に定着する。言うまでもなく定着した仏教は、中国人の理解した仏教ということとなる。

今年、「仏教の葬送儀礼」にテーマを設定して論ずるものとしたい。

履修上の留意点

適宜プリントを配布し、参考文献を指示する。

成績評価の方法

レポート及び出席点によって成績を評価する。

参考書等

曹洞宗総合研究センター編『葬祭—現代的意義と課題—』1,300円



科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	袴谷憲昭	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

下記の教科書により、仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における仏教文化の実態を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 仏教東漸—半跏思惟像
- II 「玉虫厨子」と捨身供養
- III 『往生要集』と地獄極楽
- IV 『一言芳談』と後世物語
- V 『日本史』における仏教
- VI 『新論』の国体論と仏教
- VII 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。なお、必要に応じて資料を配布するが、資料の再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

参考書等

渡辺照宏『日本の仏教』

科目名	担当者名	配当学科	単位
日用経典	皆川広義	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

現在、日本の仏教徒が、法要の折などに読誦し看経している般若心経、法華経寿量品偈、法華経観音普門品偈、修証義を、経文にそって平易に解釈し、仏教における悟りと安心をあきらかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1、般若心経
  - ①般若心経について
  - ②経文の解釈
  - ③般若心経における悟りと安心
- 2、法華経寿量品偈
  - ①法華経と寿量品偈について
  - ②経文の解釈
  - ③寿量品偈における悟りと安心
- 3、法華経観音普門品偈
  - ①観音普門品偈について
  - ②経文の解釈
  - ③観音普門品偈における悟りと安心
- 4、修証義
  - ①修証義について
  - ②経文の解釈
  - ③修証義における悟りと安心

履修上の留意点

よく出席する。経文の解釈のときは、必ずテキストで予習をしてくること。

成績評価の方法

受講態度（出席）とレポートと試験によって、評価する。

教科書

担当教員作成のテキストを、有料で配布する。

専科  
教育目

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	石井修道	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるかすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源諸詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円  
『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円  
『禅学大辞典』（大修館書店）  
入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	池田練太郎	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。  
a, 仏教とは何か b, ブッダの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱 f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科 専  
門 教  
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国古典語初級	よしむら まこと 吉村 誠	禅・仏教1・2・3・4選	4

講義のねらい

著名な仏典を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。漢文の句法について学ぶとともに、仏教漢文特有の読み方に慣れ親しみ、仏典を正確かつ批判的に読む力を養います。前期は『維摩経』と『法華経』（『観音経』）の一部を読み、後期はその訳者である鳩摩羅什の伝記（『高僧伝』）を通読します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 漢文の読み方 (2) 仏典とは何か (3~7) 『維摩経』を読む (8~13) 『法華経』を読む (13) まとめ  
(後期) (1) 『高僧伝』の世界 (2) 鳩摩羅什の事跡 (3~12) 鳩摩羅什伝を読む (13) まとめ

履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文や中国語を学習したことがない者、仏教関連の授業を受けていない者でも心配はいりません。ただし、語学の習得には継続した学習が不可欠ですので、毎回出席する覚悟のある者のみ履修してください。歴史・思想・文学・美術などの分野で仏教漢文を資料として読みたい者、東アジアの仏教を原典で学びたい者の受講を期待しています。

成績評価の方法

予習や出席の状況、およびレポートを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

漢和辞典は必携。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド哲学史	かなざわ あつし 金沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教を産んだインドのヴェーダ体制の内実を探り、宗教・哲学の変遷を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の教材に沿って、ヴェーダ時代より中世に到るまでの主だったトピックを通史的に概説する。併せて、インド哲学研究の方法論・問題点なども検討する。

履修上の留意点

日頃よりインドに関心の目を向け、主体的に常にながしかの問題意識をもって授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

数回のレポートと年度末の筆記試験など。

教科書

早島鏡正他著『インド思想史』（東京大学出版会）

参考書等

講義の中で適宜紹介する。

専科  
教育目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前川亨	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

東アジア世界の文化・社会に多大な影響を与えた中国の思想を学ぶ。儒教・道教・仏教それぞれの思想と相互の関連、それらが朝鮮・日本にどのようなかたちで影響を及ぼしたのか、などの課題をとりあげることになる。それを通して、中国人の思考様式を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は孔子の時代から唐代までを扱う。まず中国の思想史の全般的な問題を概括し、その後、孔子・孟子・荀子から始めて、儒家・道家・神仙思想、更に道教の成立や仏教伝来などに及ぶ。断代史的ではなく、問題史的に検討するように心掛け、思想史研究の面白さと困難さを伝えたいと思う。

履修上の留意点

当該テーマに関心を持ち、継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲を有する学生諸君の履修のみを、心から歓迎する。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちの者の履修は認めない。中国の文献を扱う関係上、中国語についての初歩的な知識を有することが望ましいが、授業そのものは中国語を履修していなくても理解することが可能である。東アジアの思想・宗教・社会・文化……など様々な分野に関心のある諸君の積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを書いてもらう。テーマは授業で取りあげた内容に基づくものとする。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの話題を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を聞く機会もつくる。積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋哲学史	なか むら ともたろう 中村友太郎	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

古代および中世の西洋哲学史を展望しつつ、なるべくその流れのうちに登場する思想家たちの思索の核心に触れることを志向したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代ギリシア哲学の系譜に即して、①古代哲学の始まり、②ソクラテス以前の思想家たち、③ソフィストとソクラテス、④プラトンの哲学、⑤アリストテレスの哲学、⑥ストア学派、⑦新プラトン主義、を扱う。後期は中世キリスト教の哲学の展開をあとづける。1) キリスト教哲学の起源、2) アウグスティヌスの思想、3) 12世紀の初期スコラ学、4) 13世紀の知的高揚、5) トマス・アクイナスの哲学、6) 14世紀の後期スコラ学、7) 中世の神秘思想と近代への移行。

履修上の留意点

「哲学」philosophia の名に値する知的営みの根本は、自ら問いかけ思考しつづけることにあるので、その歴史的研究に際しても、主体的・積極的な取りくみが不可欠である。

成績評価の方法

成績評価は、毎回のリアクション・ペーパーに反映される授業への積極性や、夏休みの課題をも含む何回かのレポート提出と年度末の定期試験により総合的に行う。それゆえ継続性を自覚した授業参加が不可欠である。

教科書

基本テキストとして、クラウス・リーゼンフーバー『西洋古代・中世哲学史』（平凡社ライブラリー）1,400円を使うが、ほかに資料等のコピーを適宜配布する。

科 専  
門 教  
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教思想史	まつもと しろう 松本史朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

インド仏教の思想的展開を概説することによって、仏教思想の特質を明らかにするのが、本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・スケジュールは、ほぼ次の通りである。(a) 仏教成立以前のインド思想(ヴェーダ・ウパニシャッド・ジャイナ教)、(b) 原始仏教の思想(縁起説・四諦説・無我説等)、(c) 部派仏教のアビダルマ哲学、(d) 大乘經典の思想(『般若経』『華嚴経』『法華経』『涅槃経』等の思想)、(e) 中観派の空思想、(f) 如来蔵思想、(g) 瑜伽行派の唯識思想、(h) 仏教論理学の思想。

履修上の留意点

厳正な試験を行なうので、安易な気持ちで履修することは、避けられたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

早島鏡正他著『インド思想史』(東京大学出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教思想史	いとう たかとし 伊藤隆壽	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

中国仏教思想の形成について、仏教と中国の伝統思想である儒家思想や道家思想との交流の視点から講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教伝来以前の中国思想 2. 仏教の基本思想 3. 中国での仏教理解のあり方 4. 中国仏教思想の諸相

履修上の留意点

仏教のみならず中国伝統思想についても関心を持ち、自主的に参加し学習してほしい。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教科書

コピー資料を配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原始仏教	かた やま いち ろう 片山一良	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
浄土学概論	お さわ けん じゅ 小澤憲珠	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

日本の鎌倉時代には新しい仏教が次々に誕生する。その先駆をなしたのは法然(1133-1212)による浄土宗である。法然の浄土教(念仏思想)は当時の仏教界の常識をくつがえすものであったため、仏教を曲解しているとの批判もあった。しかし時代と人間とを透察した浄土教であったので、次第に民衆に受容されるようになる。また同時代の禅宗とは対極にある仏教といえる。法然は釈尊一代の仏教をどのようにとらえたのか、その念仏思想の特色は何であったのか、「浄土教の歴史と思想」というテーマの中で、法然の浄土教をうきほりにしてみたい。

前期では、法然の浄土教の概略を示しつつ、インドの浄土教を主に、後期では、法然に影響を与えた中国の浄土教、そして法然自身の思想について学習したい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2)日本の浄土教と法然の浄土教 (3)インドにおける浄土教の起源 (4~8)浄土を説く経典 (9・10)竜樹(ナーガールジュナ)の浄土教 (11)世観(ヴァスバンドゥ)の浄土教 (12)小結  
(後期) (13)中国慧遠(334-416)の浄土教 (14)曇鸞(476-542?)の浄土教 (15)道綽(562-645)の浄土教 (16)善導(613-682)の浄土教 (17)日本の奈良朝期から平安期の浄土教 (18)法然の生涯 (19~21)法然の浄土教 (22)法然の門下 (23)法然浄土教への批判 (24)総括

成績評価の方法

講義に積極的に参加し、4分の3以上出席した受講生を対象に、期末試験の結果で評価する。

科 専  
目 門  
教 教  
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
真言学概論	遠藤祐純	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

真言宗は、陀羅尼宗、瑜伽宗、曼荼羅宗、三密宗などの異称も持っている。初期仏教から大乘仏教に至る広汎な思想を内包する仏教である。従来の大乗仏教には見られなかった果分可説、法身説法、即身成仏などの新しい分野を拓いた密教の特質を顕密対弁思想、密教の相承系譜を通して明かし『大日経』『金剛頂経』を軸とする両部思想から而二不二、即事而真を導き出し、本不生際にある自己の真実を知ることが究意とすることを空海の著作を通して学ぶ。同時にそれが釈尊の成道に直結することを併せ学ぶ。真言密教に捉われることなく広く密教全体の理解を目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、大乘仏教の一として印度に興った密教は Tantric Buddhism か Buddhist Tantra かを検査することを緒に、南印度、中国、西藏、そして日本伝播された様相を探る。〔五・六月〕には、プトンの『総タントラ部解説』や『瑜伽タントラの海に入船』などで、タントラの種類などを講ずる。真言宗の根本聖典である『大日経』（行タントラ）『金剛頂経』（瑜伽タントラ）を概説し、密教の相承系譜を学習する。

後期（九・十月）は、空海の求道の軌跡を追い、入唐、密教受法、帰朝開宗について述べ、彼の著作、特に三部作とされる『即身成仏義』『声字実相義』『字字義』を概説する。

十一・十二月以降は、真言宗の骨格をなす十住心思想について『弁顕密二教論』等と併せて論ずる。

#### 履修上の留意点

密教は印度の土着思想と深く関わっているので、仏教ばかりでなく多様な印度思想に目を配っておいて欲しい。

#### 成績評価の方法

評価は、筆答試験あるいはレポート、出席点、授業中の発言等による。

#### 教科書

テキストなし。高神覚昇『密教概論』、松長有慶『密教の相承者』、松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』などを読んでおくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
神道概説	田沼真弓	禅・仏教2・3・4選	4

### 専科 教育目

#### 講義のねらい

日本の風土の中に育成した民族宗教である神道を学ぶことは、同時に、日本人の伝統的宗教心・思惟方法（考え方の傾向）・価値志向性の特質を解明することでもある。

本講座では、祭り・神社・神道古典・神道思想等を素材として講義する。特に、比較文化の観点から、一神教の特質（神観・人間観・歴史観・世界観）と多神教である「神道」の特質を比較して、それぞれの特徴を考えてゆきたい。又、外来文化（仏教等）受容態度を繕きながら、日本人の信仰的特質をも指摘したい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- （前期）（1・2）神道の起源、米と日本人 （3～5）神道と世界宗教（古事記と聖書を読む）  
（6）祝詞・和歌・言霊 （7）祭の特色と機能 （8～10）神社の原初形態、庭上祭祀・殿内祭祀 （11～13）神宮祭祀と賢所祭祀  
（後期）（14・15）隣国の神と日本の神 （16・17）中臣祓と般若心経 （18・19）ハロウィンと魂まつり （20・21）盆行事と他界観 （22・23）祖先崇拜と喪葬儀礼 （24・25）年中行事・人生儀礼 （26）現代社会と祭の変容

#### 履修上の留意点

宗教を学ぶことは、同時に文化の多様性を知り国際的視野を広げることにも繋がります。宗教が人間生活にとってどのような意味と働きを持っているのかを考え、日々の生活の中で神道的なものがどのように機能しているのかを再確認して欲しい。

#### 成績評価の方法

年度末試験

#### 教科書

渡辺真弓『神道と日本仏教』（ベリかん社）2,400円。その他、関連資料のコピーを配布。

#### 参考書等

上田賢治『神道のちから』（橘出版）、安蘇谷正彦『神道とは何か』（ベリかん社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語仏書講読	よつや こう どう 四津谷 孝 道	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、外国語で著された仏教に関する研究論文を読解することを通して、欧米の研究者の優れた仏教理解に触れることばかりでなく、語学力の向上も目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

本年度は、下記の資料を講読する。

- ・ Tom Lowenstein: The Vision of the Buddha, Duncan Baird Publishers, 1996.
- ・ D. S. Ruegg: Ahimsā and Vegetarianism in the History of Buddhism, in Buddhist Studies in honour of Walpola Rahula, 1980.
- ・ Lambert Schmithausen: The Case of Vegetarianism Buddhist – A Buddhist Perspective, Journal of Indian Philosophy, vol.12, No.1.

履修上の留意点

授業においては、受講生にテキストを訳出してもらおう。各回においてはさほど多く進むつもりはないが、その分だけ予習・復習を綿密にしてもらいたい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

上記（最初の授業の際に、必要な部分を配付する）

参考書等

授業において、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語禅書講読	いし い きよ じゆん 石 井 清 純	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

西欧の知識人に深い影響を与えてきたという鈴木大拙の著作から、禅の入門書を選び、禅・仏教用語の英語表記の方法やその思想的特徴について学ぶ。

講義の内容・  
授業スケジュール

ページごとに担当を決め、順次読み進めてゆく。なお、使用する教科書は、英文と日本語訳が同時収録されているので、作業としては、訳文における特殊用語の表記方法の確認が中心となろう。

履修上の留意点

禅・仏教用語は一般の英和辞典では検索できないので、参考書に示した仏教専門用語の辞書を用意していただきたい。

成績評価の方法

前期末レポートおよび年度末の筆記試験によって評価する。また学期中に随時課題を科す。

教科書

*An Introduction to Zen Buddhism* (禅学への道) by D. T. Suzuki, Art Days

参考書等

*Japanese – English Buddhist Dictionary* (大東出版社)

日英禅語辞典 (The Japanese – English Buddhist Dictionary) (山喜房)

ほか



科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講Ⅱ	飯塚大展 <small>いいづかひろのぶ</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	無住道暁(1226~1312)の著作『沙石集』『雑談集』等を通して、中世日本における仏教者の生き方とその思想について講義する。
講義の内容・授業スケジュール	無住の伝記と著作について概説した上で、その著作の中からテーマ毎に用例を挙げながら講義を進める予定である。
成績評価の方法	平常点、及び期末テストによって評価する。
教科書	特定の教科書は用いない。
参考書等	大隅和雄『日本の中世2 信心の世界、遁世者の心』(中央公論新社) 2,400円 小島孝之『沙石集』(小学館) 4,657円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講Ⅳ	奥野光賢 <small>おくのみつよし</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい	本講義では、「我が国の仏教諸宗派のほとんどが受け容れている教理で、大乘にとつての根本的なもの」といわれる如来蔵・仏性思想について考察する。
講義の内容・授業スケジュール	最初に高崎直道博士を中心としたこれまでの如来蔵・仏性思想に対する研究史の概説を行なう。それを踏まえた上で各論に及ぶ。今年度は昨年度に引き続き『涅槃経』を講読しながら如来蔵・仏性思想について考えてゆく。 (前期) (1~5) 如来蔵・仏性思想研究史概観 (6~7) 仏教史上における涅槃経の位置 (8~9) 涅槃部の経典 (10~11) 涅槃経の成立過程 (12~13) 涅槃経の伝訳と流伝 (後期) (14~26) 涅槃経講読を通じての如来蔵・仏性思想の考察
履修上の留意点	履修者には、しっかりとした問題意識をもって授業に参加することを望む。『涅槃経』の講読にあたっては、十分な予習復習が要請されることになるであろう。
成績評価の方法	出席点および学年末のレポートによって評価する。
教科書	教科書は特に指定せず、プリントを配布する。
参考書等	参考書はあまたある。それらの一々については講義中に適宜指示する。さしあたって、次の書のみをあげておく。 高崎直道『増補新版・仏性とは何か』(法蔵館) 定価2,800円(税別) 田上太秀『仏性とはなにかー『涅槃経』を解き明かす』(大蔵出版) 定価2,700円(税別)
その他	受講者の人数にもよるが受講生との対論がなされる形式で授業が進められるよう努めるつもりである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道概説	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教における伝道について、理論と実践の二面より、概説したい。仏教伝道は、教主釈尊の生涯や教えを宣布する布教活動と、その教えにより人々を育成する教化活動よりなっている。理論面では、まず、釈尊の教えをふまえて、仏教における伝道の原理を明らかにして、なんのために伝道をするのかを把握したい。次に、①教法、②人間(対機)、③伝道法の三点より、生死の苦悩からの解脱道としての仏教伝道を説明する。実践面では、教えの広宣流布を中心とする布教活動と、教えにより人々を教化育成し、悟りと安心をあたえる教化活動に分け、現場における具体的実践を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 宗教における伝道 有所得の伝道と無所得の伝道
- II 仏教における伝道の原理
  - 1. 教主釈尊の伝道 悲智慈の展開としての伝道
  - 2. 仏教伝道の歩み インド・中国・日本・その他の国々へ
  - 3. 仏教伝道における ①教法②人間(対機)③伝道法(布教と教化)
    - ① 教法(仏法 教理 教え)
      - 1 菩提樹下の悟り 2 根本教理 縁起説 四諦説 3 教え 対機相応の説法
    - ② 人間(対機)
      - 1 仏教における人間、生命論(縁起、無自性、空、仮説有)
      - 2 未信者と信者 3 現代人の意識と行動
    - ③ 伝道法
      - 1 伝道者の理念(自信教人信、自未得度先度他、四摂法、自利と利他の伝道)
      - 2 伝道者の資格 3 布教教化カリキュラム(信仰の誘引と形成)
      - 4 伝道組織としての教団と、伝道の場としての寺院
- III 仏教伝道における布教活動と教化活動
  - 1. 布教活動(未信者を対象とした伝道活動)
    - 1 文書布教 2 唱導布教 3 視聴覚布教 4 総合布教
    - 5 無意図的布教(仏教文化、寺院の社会活動など)
  - 2. 教化活動(信者を対象とした伝道活動)
    - 1 自己教化 2 1対1の教化
    - 3 禪的合宿研修による集団教化 4 法座(講、仏青、仏婦)
    - 5 儀礼(日曜礼拝、恒例法要、葬祭法要) 6 聖典講読会
    - 7 聖地巡礼(インド釈尊聖地巡礼、中国日本祖師聖地巡礼、観音霊地巡礼)
    - 8 写経 写仏など
- IV その他の伝道
  - 1. 世代別伝道
    - ①児童布教 ②青少年伝道 ③婦人伝道 ④壮年伝道 ⑤老人伝道
  - 2. 地域別伝道
    - ①地方伝道 ②都市伝道 ③国外伝道

科 専  
門 教  
育 目

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。仏教伝道の活動は、人々への思いやりと自己の安心形成のためになされるものであることを、この授業を通して学びとっていただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度(出席率など)、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教 科 書

増谷文雄編『仏教の根本聖典』(大蔵出版)定価2,500円

参 考 書 等

大西憲明著『現代仏教教化法』(百華苑)定価2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教伝道研究	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

—対機研究と死の教育—

この仏教伝道研究では、伝道上とくに重要な課題をとりあげて、詳細にかつ深く考察する。このたびは、「対機研究」「葬祭儀礼」「死の教育」の三点をとりあげる。

「対機研究」では、仏教論、生命論をふまえ、新しい生命、人間科学の研究成果なども参照して、現代における伝道対機としての人間を考察する。

「葬祭儀礼」では、仏教の伝統的な葬祭儀則をふまえながら、現代人の葬祭に関する意識調査などを参照して、現在の仏教的葬祭より葬祭仏教を創造する道をさぐりたい。

「死の教育」では、生死の苦悩からの解脱道としての仏教の立場より、現代の「死の教育」の歴史、その内容などを考察して、安らかな死の受容をつくりだしてゆきたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

- I 対機研究と仏教伝道
  1. 釈尊における生命論と人間論
  2. 現代科学の生命論と人間論
    - ① 生命の歴史 (生命科学)
    - ② 生命の構造 (分子生物学)
    - ③ 人間の歴史 (文化人類学)
    - ④ 人間の生涯 (生理学 医学)
    - ⑤ 人間の心 (大脳生理学、心理学、社会学)
    - ⑥ 人間の苦悩 (臨床心理学)
  3. 現代の人間論と伝道
- II 葬祭と仏教伝道
  1. 人間と葬祭について
  2. 仏教における葬祭の歴史
  3. 葬祭仏教 儀則と儀礼
  4. 現代人の葬祭意識
  5. 葬祭仏教の創造と伝道
- III 死の教育と仏教伝道
  1. 生老病死の教育としての仏教
  2. 「死の教育」の歴史
  3. 死に関する文化
  4. 現代人の死生観 死の不在の時代
  5. 死に対する恐怖 (意識調査)
  6. 死の受容のプロセス
  7. 病名告知とターミナル・ケア
  8. ホスピス緩和ケアの理念と役割
  9. 悲嘆のケアと葬祭
  10. 脳死と臓器移植
  11. 現代における安らかな死の受容と伝道

専科  
教育目

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。今年のテーマ「人間 生命論」「葬祭」「死の教育」の考察を通して、生きた仏教伝道を修得していただきたい。

成績評価の方法

聴講の態度(出席率など)、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

教科書

なし

参考書等

- I 「人間 生命論」
 

植原和郎『人類進化学人間』(中央公論社)  
『生命40億年はるかな旅』全6巻 (NHK 出版)
- II 「葬祭」
 

主室諦成『葬式仏教』(大法輪閣)
- III 「死の教育」
 

キューブラロス『死の瞬間』(読売新聞社)  
近藤裕著『自分の死にそなえる』(春秋社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
青少年問題研究	讃岐真佐子	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

この講義では、「青少年」つまり児童期、青年期（小学生～20代前半頃）に生じ得る諸問題について、主に発達の、臨床心理学的視点から学ぶ事を目的とする。現代は不適応状態や問題が長引く傾向にあり、またその質的側面も、従来の自己葛藤型から漠然とした無気力型へ、さらに言語で訴えるよりも身体症状として現す等、様々な変化が見られるように思う。またこの時期は、一般に親や兄弟、友人、学校や地域等の多くの人との関わりを通して子どもが大人に成っていく、まさしく自分自身を作っていく時である。それだけにこれらの人々といかなる質の関係を持ち、どのような人と出会うかが決定的に重要な意味をもつと思われる。この講義ではこのような問題意識を基に、この時期の青少年に起こり得る諸問題を、発達や事例に則して生き生きと学んでみたいと思う。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 青少年に生じ得る「問題」をどう捉えるのか——その二面性について  
 II. 青少年にいかに出会っていけるのか——臨床心理学に基づくカウンセリングを中心として  
 III. 事例を通して、不登校、友人関係（いじめ）、非行などのテーマ毎に学ぶ  
 (後期) IV. 人間の誕生から青春期に至るまでの心の発達の諸相  
 V. いくつかの症状（対人恐怖、無気力、身体症状等）や、心の健康について

#### 履修上の留意点

授業は講義中心となるだろうが、その日の内容への質問や感想を毎回書いて提出してもらい、受講生同士のフィード・バックも考えていきたい。出席状況（授業態度を含む）も重視する。

#### 成績評価の方法

出席状況と定期試験

#### 教科書

必要な資料は適宜配布する

#### 参考書等

- ・岩宮恵子著『生きにくい子どもたち』（岩波書店）
- ・河合隼雄著『カウンセリングを語る（上下）』（創元社） 『大人になることのむずかしさ』（岩波書店） 『あなたが子どもだったころ』（楡出版） 『子どもの宇宙』（岩波新書386）
- ・小川捷之・村山正治編『学校の心理臨床』（心理臨床の実際2）金子書店
- ・季刊 『仏教——特集癒し』No. 31（法蔵館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 法 概 説	あらい けん 洗 建	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

現代日本の宗教法制について概説する。わが国における宗教法制の根幹は、憲法の保証する信教の自由と、政教分離の原則によって規定され、これに基づき宗教団体に法人格を賦与する目的で宗教法人法が定められている。憲法原理の意義をしっかりと理解した上で、今回の宗教法人法の一部改正問題を含めて民法と宗教法人法の間にある諸問題などを理解し、法の精神を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、現憲法の原理が導入されるまでの近代日本宗教法制史を概観する。信教の自由の理念がいかなる背景から生まれ、どのように導入されたのか、わが国の宗教文化との間にどのような問題が存在するのかを理解して貰いたい。  
後半は、宗教法人法の諸規定について概説し、民法との関係、税制との関係、法の精神とその諸問題についての理解を深める。

履修上の留意点

将来、寺院に携わる人のために実務的問題にも触れなければならないが、寺院と関係のない人も多いようであるから、法の精神やその意義に力点を置いて講義する。具体的実務問題などで質問のある人は、積極的に質問して貰いたい。

成績評価の方法

試験またはレポートと、出席点を総合して評価する。

教科書

指定しないが、後半の授業では憲法第20条、第89条、および宗教法人法の条文を、六法全書などからコピーして、持っておくようにして貰いたい。

参考書等

随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	てら やま かつ じょう 寺 山 葛 常	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

私どもが生きているのは、いま・ここにしかない。そこを充実させるのに、書道は最適の一法と思う。それはまさに“いま・ここに・われを尽す”稽古だからである。当面したいま・ここに・われが尽くせれば、その線は澄む。その澄んだ線を持続して、文字がかければ、そこには美しい書が生まれよう。あとは、鑑賞眼を高め、技術を錬磨し、教養を培って、各自の書を深めていけばよい。

その辺のことを、理論と実技と鑑賞を通して、身心学道としての書道を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期（4・5月）書道の概説と基本—中国・日本古来の書論の要点、実技に当たっての姿勢・呼吸・気の充足等から一本の線の稽古。（6・7月）篆・隸・楷・行・草・かなの基本と代表的古典の臨書。

後期（9・10月）王羲之の書論と楷行草の錬磨。（11月以降）空海の書論と臨書から創作へと展開していく。

履修上の留意点

先ず書道の基礎的知識と実技の基本を学び半紙に古典の臨書を試み、次に大きな筆でからだ全体で書く。それは必ずしも筆を持たなくても、天空に向かって全身で書く“空書”によっても可能である。そして毎時間、名筆を鑑賞し、後半は雅箋紙にそれぞれの成果を表現してみたい。

成績評価の方法

出席日数、授業時の臨書作品および、期末の作品等によって評価する。

教科書

寺山且中書『筆禅道』（春秋社）2,800円

専科  
教育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 概 論	はせべ はちろう 長谷部 八 朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は、日本人の宗教行動の特質を、既成宗教、新宗教、民俗宗教の比較検討を通して探究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、宗教学の基本的な術語や概念の解説を中心に進め、この学問の特徴を把握する。後期では、それを踏まえて日本宗教の性格を理解する。とくに、神仏習合と称される我が国の宗教の習合性・重層性に着目し、種々の儀礼を通して検証すると同時に、そのような形態を生んだ理由や背景について、歴史性を考慮しながら論ずる。

また、民衆の宗教的ニーズの在り様にも言及する。主に現代社会をめぐる、諸宗教の交錯する状況の下で、人びとは宗教に何を求め、かつ宗教はそれにどう対応しているのかを、具体例に沿って探ってみたい。

成績評価の方法

評価方法は未定である。なお、授業の中で小論文を課す予定である。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キ リ ス ト 教 概 論	ひき ち しげ お 挽 地 茂 男	禪・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ヨーロッパ精神は二つの源流、すなわち、ギリシア思想とキリスト教に遡ると言われる。ヨーロッパの長い文化と伝統を理解しようとする時、その根底に流れるキリスト教の理解を欠くことができない。本講はこのキリスト教を理解の対象とする。しかし対象に接近する仕方は様々である。一つの宗教を理解しようとする場合一般に宗教を構成する4つの要素を中心に考えることができる。すなわち宗教の根幹をなす神観、人間観、世界観を形成している。(1) 宗教思想(ピラーフ・システム)。これはそれぞれの宗教のもつ伝承や神話や経典・教義の中心に流れている。この宗教思想を原理として実践される。(2) 宗教儀礼。この象徴的な行為の体系である儀礼は、集団の成員間に連帯感を高め、メンバーとしての自覚をもたらす。このように形成される。(3) 宗教集団(教団)は宗教的な意味によって結ばれた一つの社会的グループである。宗教集団はそれぞれに独自のピラーフ・システムや儀礼的な行動様式とともに成員組織や物的施設を有している。(4) 宗教体験はこのような宗教集団の集団的営みの内外で、集団的なものとして、また個人的なものとして経験される。実際はこの人間の内的な体験こそ、宗教現象の根本にあるものであって、それが外的に表現される場合、宗教思想、儀礼、教団といった形式をとるとも言える。

本講はこれら4つの側面から、他宗教との対比を重視しつつ、キリスト教の成立と展開、その思想と文化をとらえようとするものである。よって概ね以下のような計画にそって授業が進められる。

講義の内容・授業スケジュール

前期	1	キリスト教研究の射程	1) 宗教研究の立場と分野 (1)
	2	〃	2) 宗教研究の立場と分野 (2)
	3	〃	3) 宗教の構成要素 (1)
	4	〃	4) 宗教の構成要素 (2)
	5	聖書の思想	1) 聖書の虚無思想
	6	〃	2) 神の言の思想
	7	〃	3) 罪と救済の思想
	8	〃	4) 「赦し」の思想
	9	〃	5) キリスト教における愛の思想
	10	〃	6) 隣人愛の思想
後期	1	聖書と文学	1) 史的イエスとキリスト (1)
	2	〃	2) 史的イエスとキリスト (2)
	3	〃	3) 遠藤周作のキリスト論 (1)
	4	〃	4) 遠藤周作のキリスト論 (2)
	5	〃	5) 映画「深い河」を見る (1)
	6	〃	6) 映画「深い河」を見る (2)
	7	〃	7) ドストエフスキーと聖書 (1)
	8	〃	8) ドストエフスキーと聖書 (2)
	9	キリスト教思想と倫理の基礎	1) 生への畏敬と倫理
	10	〃	2) キリスト教的死生観

専科  
教育目

履修上の留意点

必ず聖書を購入し、授業で指示される当該箇所を参照すること。この講義では、キリスト教の根幹を形成する聖書に親しむことが、キリスト教理解の重要な一部として要求される。

成績評価の方法

試験と出席率

教科書

挽地茂男『キリスト教入門A』、『キリスト教入門B』(DTP出版)  
『旧・新約聖書』(版はいずれのものでもよい)

参考書等

挽地茂男『図解雑学キリスト教』(ナツメ社)  
金子晴勇『キリスト教思想史入門』(日本基督教団出版局)  
木田、山内、土岐編『聖書の世界』(自由国民社)

その他

授業の進め方—講義を中心とするが、講義中数回ビデオ・フィルムを教材として用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イスラム教概論	菊地達也	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

世界の三大宗教の一つとされるイスラムであるが、仏教、キリスト教と比べた場合、日本人はあまりにイスラムに無知である。イスラムに関する限られた知識も、9・11同時多発テロ以降は特に戦争やテロリズムといった偏ったイメージによって覆われている場合が多い。

しかし、グローバル化が進み、否が応でもイスラム教徒と無関係に生きることができなくなっているこの時代に、そのような無知が許されるわけがない。そこで、この講義においては、イスラムの創生から現代に至るまでの幅広い時代を取り扱い、その全体像を解き明かすことを目指す。

#### 講義の内容・授業スケジュール

授業前半では、ムハンマドによるイスラム創始（7世紀）とその後の歴史を概括し、宗教としてのイスラムの基本的なあり方について概説する。その後は、法学、神学、哲学、スーフィズム（神秘主義）、シーア派などの個別分野を取り扱う。授業の最終段階においては、現代イスラムの動向について概括する。

ビデオなどの映像・音響素材、中東に関わる様々な事物を適宜紹介するので、学生にはイスラム教徒の信仰や日常生活になるべく触れてもらいたい。

#### 履修上の留意点

イスラムの全体像を把握するためには、なるべく全ての授業に出席してもらいたい。馴染みの薄い分野について話をする場合もありえるので、疑問がある場合には積極的に質問していただきたい。

#### 成績評価の方法

夏休み明けに提出してもらうレポートと学年末テストで成績を判定する。

#### 教科書

M. リズン『イスラーム』（岩波書店）

#### 参考書等

参考書については、授業内で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	飯田巨之	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

生命の操作が大幅に可能となった時代にそれがどこまで許されるとすべきか、人間の尊厳を軸にすえて議論するのが本講のねらいである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）

生命操作とその問題；IVF、胚研究、遺伝子操作他。

人間の尊厳概念とその歴史；ストア派の思想、キリスト教における神の似姿と人間の尊厳、ルネッサンスにおける人間の尊厳の概念、パスカルとF. ベーコンにおける人間の尊厳概念の展開。

（後期）

カント哲学における人間の尊厳概念。

人間の尊厳、生命の神聖性と生命の操作。

#### 履修上の留意点

教師の側からの一方通行ではなく学生諸君にも発言してもらいながら対話方式で授業を行うのでテキストを前もって読んでおくことが大切。

#### 成績評価の方法

①最終回の論述テスト、②出席状況、③レポート、④授業中の質問、コメント等による授業への参加度により総合的に評価を行う。

#### 教科書

特に定めない。

#### 参考書等

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

金子著『ヨーロッパの人間像』（知泉書館）

高橋編『ヒトの生命と人間の尊厳』（九州大学出版会）

<http://www.fine.chiba-u.ac.jp/>



科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教哲学	河谷 淳 <small>かわたにあつし</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

宗教 (religion) が「信じる」ことであり、哲学 (philosophy) が「知を愛する」ことであった場合によっては既存の世界観を「疑う」ことであるとするならば、両者は互いに対立するもののように見えるかもしれない。だが、そうした理解は古代ギリシア以来の西洋思想史をひとたび眺めてみるならば必ずしも事実とは言えない。宗教哲学とはそうした信と知とが織りなす「あやめ」について考える営みである。「宗教哲学」は、(1) 特定の宗教的立場に立ってそこから様々な哲学的問題について考える、あるいは、(2) 宗教という世界についての語り方を哲学的アプローチによって考える、との少なくとも二通りの仕方でも語られる。本講義の趣旨はあくまで後者であって、授業では主に西洋の宗教哲学 (とりわけキリスト教的哲学) を題材として取り上げるもの、特定の宗教の教義についての解説を目指すというわけではなく、むしろ、「信じる」という人間の営みがどのような地平において成立しているのかについて哲学の側から考えてもらうところに本講義の目的はある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では次のようなテーマを取り扱う。

前期： (a) 神話的語りと哲学的語りとの関係 (ギリシア神話の性格と哲学の始まりとしてのギリシア哲学)  
 (b) 「パスカルの賭」 (信念形成と合理性)  
 (c) 神義論 (悪の問題)

後期： (d) 神の存在証明 (宇宙論的証明・目的論的証明・存在論的証明)  
 (e) カントにおける宗教哲学的射程 (倫理と宗教の相補的關係)  
 (f) 天使論 (天使の存在可能性とその哲学的意義)

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験 (それぞれ40点満点) と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

上枝美典『「神」という謎 - 宗教哲学入門 -』 (世界思想社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代哲学概説	久保陽一	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

現代哲学の共通な傾向として、言語の問題への強い関心がある。それは、人間が世界を認識し理解し、また情報を伝達する際の媒体が主に言語であるという事実によるだけでなく、人間存在そのものが言語的であるという理解や、近代の「意識」の立場に伴う問題点が「言語」のレベルで克服されうるという見通しに基づいているからであろう。そこで、「言語」をめぐる現代の諸哲学の考え方を学び、検討してみたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

「言語」に関する次の三つの現代の代表的な思想潮流を取り上げる。  
 (Ⅰ) フレーゲ、ムーア、ラッセル、クワイン、オースティン等の言語分析と意味論。  
 (Ⅱ) デルタイ、フッサール、ハイデッガー、ガダマーの意味論と言語思想  
 (Ⅲ) カッシーラーの「象徴主義的」文化哲学。

#### 履修上の留意点

よく出席し、ノートを取る。疑問点は遠慮なく質問すること。

#### 成績評価の方法

出席回数とレポート等によって評価する。

#### 教科書

河谷・久保編『原典による哲学の歴史』（公論社）

#### 参考書等

渡辺二郎『現代哲学』（放送大学教育振興会）  
 藤本隆志『ワイトゲンシュタイン』（講談社学術文庫）  
 ペグラー編『解釈学の根本問題』（晃陽書房）  
 カッシーラー『人間』（岩波書店）

#### その他

時々、講義内容についてレポートを書いてもらい、それについてコメントを付けて返すことにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教民俗学	須藤寛人	禅・仏教2・3・4選	4

#### 講義のねらい

宗教学的視座を養うことが本講義の目的です。多くの日本人にとって、宗教は、必ずしも明確な形を持ったものではありません。しかし、人間や文化を理解することの、すべてではないにしても、その一部は宗教を理解することによって可能となるものであると考えられます。日本人の宗教とは何かを理解することは、日本人とは何かという問題に深く関わっていますし、ひいては自分とは何かを考えるための足がかりになると思われます。また、日頃、目にする出来事でも、そこに何かしらの宗教的意味が見いだされることがあります。視座を少し変えるだけで、それが可能になる場合もあります。本講義がそのための助けになればと思っています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

a. 宗教とは何か？ 宗教学とは何か？ 宗教と呪術。聖と俗。  
 b. 儀礼。呪術。シャーマニズム。噂・怪談・都市伝説。  
 c. 日本人の他界観。諸宗教の歴史。日本の宗教。現代の宗教状況。  
 以上の三点を本講義の基軸とし、主要な概念や理論について解説をしていきたいと思ひます。また具体的な事例やタイムリーな話題を交えて講義をおこなっていききたいと思ひます。

#### 履修上の留意点

できるだけ遅刻はしないで下さい。私語は慎んでください。携帯電話・PHS等は授業中は着信音がならないようにするか電源を切ってください。

#### 成績評価の方法

夏期レポートを20%、学期末の定期試験80%とし、出欠状況を加味して総合的に評価します。

#### 教科書

教科書は用いません。要点をまとめたプリントを配布します。

#### 参考書等

授業の流れに応じて、適宜、紹介したいと思ひます。

科 専  
門 教  
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 教 育	こ 小 山 一 乗 こ やま かず のり	禪・仏教2・3・4選	4

### 講義のねらい

本授業科目名称である用語「宗教教育」は一義的ではなく、複雑であり、いわゆる対日米国占領政策の一環であるいわゆる「神道指令」に象徴される日本人の精神改造計画実施上、戦後教育改革の中心的論点・課題であって来た。本講義のねらいは、その用語「宗教教育」には、多義的で、実に複雑にして様々な教授概念の類型があることを知り、巷間のとかくの常識的捕捉を再検討し、また、現時局下の教育基本法改正論議上に浮上するいわゆる「宗教教育」論議中に伏在する、その、法的思考 (legal mind) ・教育的思考 (educational mind) ・宗教的思考 (religious mind) の紆余曲折の歴史的経緯を知る。そして、これまでの「宗教教育」の問題点を知り、これからの世界的脈絡中での「宗教教育」の不可避的且つ不可欠な課題点を明らかにし、手垢のついた既成概念にとらわれないで、カリキュラムをデザインすることが出来るようになるその内容知と方法知とを身につけることを目的とする。横断的・総合的捕捉を試みる。宗教に由来する日常生活用語が教育の場面に数多伏在している事象への気づきを端緒として講義を開始する予定。

本講義は、決して、或る特定の宗教・宗派を価値ありとして判定して促進したり、または、価値なしと判定してそれを抑制したりするというそのような内容・方法を専らに考えるというような、とかくありがちないわゆる宗派信仰への導入をのみ考えるといういわゆる狭義の宗教教育を構想する講義ではない。決して狭義的ではなく、先ずは、寛容の態度を育てることを構想するものであり、その意味で広義的である。様々な宗教や宗派、宗教現象を事例として取り上げる。

具体的には、多くの音声教材、映像題材、文字教材、マルチメディア等を用いて、適宜、様々な、童謡、民謡、歌謡曲、唱歌、教え歌、演歌、浪曲、説話、写真、古典音楽、詩、書など様々なジャンルの現象にふれ、日常の実際生活の深層・表層において、宗教的事柄が、隠れたカリキュラム又は顕れたカリキュラムとして、人間形成にいかに関与しているかの諸相を考察する。

### 講義の内容・授業スケジュール

- (1~2)用語「宗教教育」の教授概念類型 (5つの類型)
- (3~4)宗教的情操教育の成立をめぐる対立的2見解
- (5~6)「教育」、そして「教育」の「目的」「目標」「内容」「方法」  
(法的思考・教育的思考；目的-目標、判断力-批判力、選択-決定等)
- (7~9)「教育観の分類」、「教育の目的の考察先行事例」、「開発主義」と「注入主義」  
知識理解度事項・態度的事項・技能的事項
- (10~11)「宗教の様々な分類」、文献「宗教の定義集」、あなたの定義を考える端緒
- (12~13)日本国憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領の相互補完関係  
教育基本法第9条立法制定審議の推移の検証から看取される問題と今後の課題  
対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実  
宗教教育と宗教科教育(教育職員免許法に規定)との差異検討  
(←だれでも)の国語教育と、誰でもではない国語科教育との比較からの援用論)
- (14~16)命題「法は風土の産物」(モンテスキュー『法の精神』)を問題意識の根柢におく  
世界各国の風土、風習、習慣、慣習、法、比較法  
各国の宗教教育
- (17~18)これからの宗教教育の教授概念検討(不均衡是正)  
政策・法律論議「何を教えることができないのか」の禁止事項  
教授概念論議「何を教えることができるのか」の肯定的事項  
意図的用法・成功的用法、行動的解釈・非-行動的解釈、事実的言明文・規範的言明文
- (19~25)宗教教育の指導計画：題材(subject-matter)としての事例・用語等  
宗、教、育、education、prenatal education、pedagogy、andragogy、gerogogy、誓願、アニミズム、アニメーション、更に、何~何事、what~whatness、児童生徒の疑問態(の調査研究)、内外の種々の童謡、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、教師、学者、学生、日常用語になった仏教語(挨拶・会釈・我慢・玄関・工夫・覚悟・油断・娑婆等)、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア、入学式、卒業式、入社式、成人式、結婚式、等
- (26)まとめ

### 履修上の留意点

宗教教育という用語への偏見・先入観をいったんは払拭して欲しい。教科書を使用して授業を進める。必要に応じ、映像教材・音声教材・文字教材等を複合的に視聴するので、PC設備のマルチメディア教場(事前に授業中に指示)や視聴覚教室(授業中に指示または掲示)への移動指示に注意すること。印刷教材プリントを配布するのでファイル表紙を用意して欲しい。宗教学、宗教人類学等の関連授業科目を積極的に受講することを是非勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期休暇後提出、学年末提出、その他中間で適宜にレポート課題提出を求める）  
課題は具体的に授業中にて指示するので出欠席には要注意。出席点による。出席を尊重。

教科書

小山一乗著『教育と寛容—宗教的事実・規範の取り扱いとそのおしえ方、評価の観点—』（宣協社）2,940円消費税込

参考書等

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこがちがうか』（大法輪閣）1,600円  
脇本平也著『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円。その他適宜紹介・指示する

その他

原則として講義形式で実施するが、適宜、発表、討論をおこなう予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学概論	間島 英 俊 <small>まじま ひでとし</small>	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われま。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,800円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科 専  
門 教  
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
パーリ語初級	かた やま いち ろう 片山一良	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は文法全体について講義し、後期は『歓喜経』(Sampasādanīya-sutta)を講読する。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

年度末テスト、および平常点による。

教科書

コピーにて配布する。

参考書等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

その他

随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
パーリ語上級	ふく だ たか お 福田孝雄	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

パーリ・テキストの中から、原始仏教の基礎を構成する諸文献を選び、仏教の発展史に沿って、講読して行く予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、原始仏教の最初期の文献を中心に講読して行く予定である。後期では、講読中のテキストに相当する他の資料も必要に応じて適宜参照し検討を加える。

履修上の留意点

履修者は、事前の下調べをしてくること。

成績評価の方法

定期試験は実施せず、授業中の履修者の状態を参酌して、最終的に成績の評価を行う。

教科書

講読用の資料等は、随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サンスクリット語初級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際的・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教 科 書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』（春秋社）

参 考 書 等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
サンスクリット語上級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

仏教などのインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の上級篇。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の教本をテキストに、サンスクリット語に関係の深いデーヴァナーガリー文字に習熟し、サンスクリット文法を改めて確認すると共に、サンスクリット文解読のための実際的な力を養う。演習形式。

履修上の留意点

サンスクリット語初級程度の修了者であることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

教 科 書

ランマン著『サンスクリット読本』（Charles R. Lanman, A Sanskrit Reader）OUP

参 考 書 等

辻直四郎著『サンスクリット文法』（岩波書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語初級	まつもと し ろう 松本史朗	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

科目名	担当者名	配当学科	単位
チベット語上級	きむら せい し 木村誠司	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

チベット人学僧の著作を読む。

講義の内容・授業スケジュール

チャンキャ ICang skya (1717-1786) 作『教義規定』は宗義文献として高い評価を受けている。本年度は、その中の『毘婆沙師』章を講読する予定である。講読は、ゆっくり、着実に進めたい。

成績評価の方法

評価は平常点によって行う。

教科書

テキストは初回にコピー配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語上級	お <sup>がわ</sup> 川 <sup>たかし</sup> 隆	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

以前は精読を主に行っていたが、近年は方針を転換し、多読をめざすことにしている。昔に比べて高校・大学で接する「漢文」の量が極度に少なくなり、語学的な知識を勉強しても、それがなかなか実際の読解力に結びつかなくなってきたからである。具体的には詩・散文・小説の各分野の作品を選読する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は散文の作品を読み、中国古典語の基本的な文法・句型を学習する。後期は詩の形式と規則をおぼえながら有名な詩を読んでもみる。予習・復習を怠らないなら、現時点で基礎学力に自信のない人でも、履修してもらって問題ない。

履修上の留意点

「中国古典語初級」か「中国語ⅠA-ⅠB」か、できれば一方はすでに学び終えていることが望ましいが、それを履修の条件とはしない。しかし、もしどちらもまだなら、なるべく今年度、この科目と並行して、少くともどちらかの勉強に着手してほしい（初回の授業で個別に学習相談に応ずる）。

成績評価の方法

平常点評価。

教科書

プリント配布。そのかわり必ず下記の辞典を用意されたい（授業で毎回使用する）。

参考書等

辞書：『全訳・漢辞海』（三省堂）2,840円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラテン語	うえ <sup>の</sup> 野 <sup>かつ</sup> 勝 <sup>ひろ</sup> 広	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラテン和訳の練習問題に取り組みます。前期は序論から第10課まで、後期は第11課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担も大きな科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文献学	野沢佳美	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、中国で編纂された仏教教典の一大叢書である大蔵経（一切経）の歴史とそれを取り巻く諸問題を取り上げます。

仏教が中国に伝えられて以降、様々な仏典が翻訳・書写され、その集成されたものが大蔵経です。当初大蔵経は書写されましたが、やがて印刷されるようになると、その巻数も膨大なものになり、また大蔵経の種類も次第に増えていきます。本講義では、そうした大蔵経の成立とその編纂経緯などを眺めながら、今日までアジア各国に伝えられた各種大蔵経の意義などを考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、中国における大蔵経編纂の概観をおこない、おもに宋～元代以降の印刷大蔵経の変遷と周辺諸国への伝播などを取り上げます。後期では、明代以降の大蔵経を取り上げ、とくには明初の南蔵・北蔵・嘉興蔵などの各大蔵経の編纂経緯、仏典入蔵問題などを取り上げ、その問題点などを考えていきます。

履修上の留意点

本講義では大蔵経編纂の流れを基軸とし、これに個々の大蔵経を取り巻く諸問題を取り上げますので、継続した出席が必要となります。また講義の性格上、中国や朝鮮半島、日本の歴史についての基礎知識が必要となりますので、予習を欠かさないように努めてください。

成績評価の方法

出席状況と前期末・後期末のレポート提出にて評価します。また、随時課題を求めることもあります。

教科書

とくには定めません。随時プリントを配布いたします。

参考書等

『大蔵経－成立と変遷－』（百華苑、1989年再刊）、竺沙雅章『宋元仏教文化史研究』（汲古書院、2000）、同「大蔵経編纂」（『大谷大学通信』50号、2000）、椎名宏雄『宋元版禅籍の研究』（大東出版社、1993）、野沢佳美『明代大蔵経史の研究』（汲古書院、1998）。

その他

授業は講義が中心となりますが、その都度意見を求めることがあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅美術	村松哲文	禅・仏教2・3・4選	4

専科  
教育  
科目

講義のねらい

禅宗では、はじめ偶像を崇拜せず、自己の内面に仏性を悟ることを旨としていた。そのため仏像や仏画の類は制作されることがなかったが、宋代になると、僧侶たちが余暇に水墨画を描くようになり、これが次第に集団をつくり職人画家まで出現する。描かれる題材は、祖師像・禅会図・山水図など様々である。日本へは鎌倉時代以降、こうした禅宗絵画が伝わった。本講義では、中国から日本までの禅宗絵画を中心に解説し、枯淡玄幽を重んじる禅の美意識を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] 講義ガイダンスと宋代の社会と仏教（1～3）  
 北宋の絵画（4～7）  
 南宋の絵画（8～11）  
 元の絵画（12～15）  
 [後期] 日本における宋代絵画の受容（16～19）  
 元代絵画の受容（20～23）  
 画僧の活動（24～27）  
 題材別解説（28～30）

履修上の留意点

講義内容を留めるのみならず、講義の際に映すスライドなどもしっかり観察してもらいたい。また、博物館・美術館に見学に行く機会を多くつくること。

成績評価の方法

定期試験と出席点、レポートなどで総合的に評価する。

教科書

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	むら まつ てつ ふみ 村 松 哲 文	禅・仏教2・3・4選	4

講義のねらい

インド・中国・朝鮮・日本の仏教美術について、歴史的背景と照らし合わせながら概観する。仏像は、地域や時代によって、その作風などに相違が生ずることを理解してもらいたい。そして、その相違を自分で発見できるようになることが本講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期] 仏教美術の世界 (1)  
 インド・無仏時代 (2・3)  
 インド・ガンダーラ仏とマトゥラー仏 (4・5)  
 中国・初期の仏像 (6)  
 中国・敦煌石窟 (7～9)  
 中国・雲岡石窟 (10～12)  
 中国・龍門石窟 (13～15)
- [後期] 中国・地域的な様式差 (16～17)  
 朝鮮・三国の仏像 (18～20)  
 朝鮮・統一新羅の仏像 (21)  
 日本・飛鳥時代の仏像 (22～23)  
 日本・白鳳時代の仏像 (24～25)  
 日本・天平時代の仏像 (26～28)  
 日本・平安時代の仏像 (29～30)

履修上の留意点

博物館・美術館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。

成績評価の方法

定期試験と出席点、レポートなどで総合的に評価する。

教 科 書

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅 II	いしい きよずみ まつだ ようじ 石井 清純・松田 陽志	禅・仏教3・4選	4
坐 禅 I [再クラス]		禅・仏教(再クラス)	

講義のねらい

道元禅の実践。

講義の内容・授業スケジュール

実習時間は、すべて坐禅・経行(きんひん)の実習となる。経行の後は、『坐禅用心記』を講じる。  
 実習要領および履修に当たっての心構えは、すべて「坐禅I」に同じ。

履修上の留意点

科目の性格上、遅刻は一切認められない。  
 実習に臨むに際しては、服装・言動など常に厳粛・整齊なるを厳しく要求するので、これらのことを予めよく承知しておくこと。  
 なお、学年度最初の実習では、席次(単)の決定や必要な諸注意を行うので履修するものは必ず出席すること。

成績評価の方法

授業実施回数に対する出席回数をもって機械的に判定する。レポート提出等による救済措置も行われないので注意すること。  
 また、坐禅堂の内外における服装や態度に著しく適正を欠くと思われる場合や、講本の忘失などは厳しく減点の対象とする。

教 科 書

『坐禅講本』(更正社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いけ だ れん たらう 池 田 練太郎	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

古来、仏教における入門的な論書として重んじられてきた世親 (Vasubandhu) の著作『阿毘達磨俱舍論』(Abhidharmakosābhāṣya) を、サンスクリット語の原典と玄奘による漢訳を用いて講読する。この講読を通して、仏教の重要な術語や概念を理解するとともに、仏典を正確に読解する力を身につけ、仏教に関わる諸問題について自ら考察する姿勢を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期には玄奘訳『俱舍論』を中心に講読し、後期にはサンスクリット語テキストによって同書を講読する。

履修上の留意点

毎週当番制で和訳を附してもらいが、当たっていない者も必ず予習をして授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業における平常点によって評価する。

教科書

テキストは最初の授業のさいに説明する。

参考書等

関連する問題について発表してもらうことも考えている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	い い つか ひろ のぶ 飯 塚 大 展	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

『狂雲集』を読む。  
林下大徳寺派の僧である一休宗純 (1394~1481) の詩偈集である『狂雲集』の読解を通して、その生きた時代背景を明らかにするとともに、一休の「風狂」「風流」の意味を考察してゆきたい。評価は、演習時の発表と期末レポートによって判断する。

成績評価の方法

評価は、演習時の発表と期末レポート試験にて厳正に評価する。

教科書

柳田聖山『一休宗純 狂雲集』(中央公論新社) 1,400円

参考書等

平野宗浄『一休和尚全集』第一巻『狂雲集(上)』(春秋社)  
 藤木英雄『一休和尚全集』第二巻『狂雲集(下)』(春秋社)  
 平野宗浄『一休和尚全集』第三巻『一休和尚年譜』その他(春秋社)  
 飯塚大展『一休和尚全集』第四巻『一休仮名法語集』(春秋社)  
 寺山旦中『一休和尚全集』別巻『一休墨跡』(春秋社)  
 今泉淑夫『一休和尚年譜1.2』(平凡社)

専  
門  
教  
育  
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	池田魯参	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

天台教学思想を介して仏教の根本思想を学ぶ。  
『摩訶止観』は中国隋代の天台智顛（538～597）によって講説され、当時の南北の地で活躍した仏教者たちの実践理論を踏まえ、独自の仏教理解を提示する。我が国では平安時代以後の日本仏教の展開において極めて重要な役割をはたした。禅宗の展開においても本書の学説は常に意識されている。我が道元も『摩訶止観』やその注釈書である『摩訶止観輔行伝弘決』などから種々の考えを参照している。多くの注釈研究書があるので、本書の仏教観を多角的に検討し、仏教思想の現代的意義を究明したい。

講義の内容・授業スケジュール

漢文で書かれた仏教教理学のテキストを読解できる学力を養うために、根気よく難字難語・専門用語などを一字一句辞書を使って調べて頂き、勉強の成果を当番を決めて発表してもらう。できたらその発表事項について問題点を質疑応答してもらう。

成績評価の方法

毎時限、休まず出席すること、演習の当番に当たったときは全力を傾注して責任を果たすこと、授業中に積極的に質疑応答をすること、等の平常の授業態度を見て評価する。

教科書

池田魯参『詳解摩訶止観』現代語訳編・定本訓読編・研究註釈編全三巻（大蔵出版刊）から講読箇所を適宜コピーして渡す。

参考書等

関口真大校注『摩訶止観』上下巻（岩波文庫）。  
『天台大師全集』所収『摩訶止観』会本全五巻。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石井修道	禅・仏教3必	4
演習 II		禅・仏教4選	

講義のねらい

演習のテキストとして禅の究明に欠かせない『景德伝燈録』を選んだ。1004年に完成した『景德伝燈録』は、それ以前の禅とは何かを知る上でも必読の本であるし、それ以降の禅を学ぶ上には欠くべからざる指針の本である。また、道元禅師が暗記するまで読まれたことは間違いないので、道元禅師の研究をする上でも必読の本である。

講義の内容・授業スケジュール

『景德伝燈録』30巻は、世に「一千七百の公案」と呼ばれる。この演習はその一つ一つを丁寧に読む。なお今年度は巻6以降の南嶽系の著名な禅者を読む。

履修上の留意点

元版の序文によると、367,917字で刻まれたという。それを編集し、書写し、さらに一字一字を刻した人の苦勞を思う時、まず我々はその一字一字を辞典を使用して確かめることから出発し、意味を考え、そして意図を探りたいものである。一年間で学べる分量はわずかであるが、禅者一人一人を禅宗史の上でどのように学問的に追求したらよいかを学んで、他の研究に応用できるように身につくまでまなびたい。  
できる人は中国語の発音まで調べてくること。

成績評価の方法

演習は当番が担当する。また、その年度内に読んだ禅者の中から興味ある人を一人選び、その伝記と思想の特色をレポートに書いて最終授業の時に提出する。400字詰5枚程度（ワープロ可）。

教科書

『景德伝燈録』中文出版社（京都）2,880円

参考書等

入矢義高監修『景德伝燈録三』『同 四』禅文化研究所 各8,500円  
入矢義高監修『禅語辞典』思文閣出版 9,785円  
石井修道『中国禅宗史話』禅文化研究所 3,605円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いし い きよ ずみ 石 井 清 純	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

近年、インターネットの発達と漢字表記の発展により、仏教・禅の研究においてもコンピュータネットワークの重要性が飛躍的に増大した。それは具体的には世界各国による仏教典籍のオンライン供給という形として現れている。

本演習は、シスコネットワークアカデミーのカリキュラムに則り、ネットワークの基礎知識を学ぶことにより、それらに対応してゆく技術を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

前期中に、まず、コンピュータ機器に関する基礎知識と基本操作を身につけ、オンライン資料の使用法に慣れることを目的に授業を進める。

その後、シスコネットワークアカデミー CCNA1(ネットワーク機材と概念に関する基礎知識)の取得をめざし、オンライン教材を使用しながら、講義・演習を行ってゆく予定である。

履修上の留意点

講義やプレゼンテーションは、すべてコンピュータを用いるので、パソコンの基本操作を必ず身につけてもらわなければならない。また、教材や試験はすべてブラウザ上に置かれるので、インターネットに関する基礎的な知識を有していることを希望する。

成績評価の方法

演習中の発表内容および年度末のオンラインテストの成績を以て評価する。

教科書

オンライン教材を使用する。

参考書等

シスコネットワークアカデミー受講ガイド1(シスコシステムズ)ほか。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	い どう たか とし 伊 藤 隆 壽	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

中国仏教の特色を知ることとを目的とし、中国人の書いた諸文献を読むことにより、中国の人々は仏教をどのように受け止め、どのように理解したのかを明らかにし、さらに日本仏教との関わりも考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、現存最古の『法華経』の注釈書である笠道生『法華経疏』を読む。『法華経』の教えを学びながら、道生の注釈の特色をさぐる。

履修上の留意点

漢文のテキストを予習することが中心となるので、主体的積極的な学習を期待する。

成績評価の方法

授業における予習内容及び期末のレポートによって評価する。

教科書

テキスト等の基本資料はコピーを配布する。

参考書等

授業において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	いわ なが しょう せい 岩 永 正 晴	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

江戸時代中期の曹洞宗僧侶が著わした『正法眼蔵』注釈書を対象として演習を行う。各注釈書の背景にある教養や、注釈態度・目的などの調査分析を通して古人の参究の成果を学ぶと共に、演習参加者自身の研究に必要な知識や方法を修得して貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度も前年度に引き続き、『正法眼蔵』参究の初学者がまず始めに参照すべき書として伝承されてきた『正法眼蔵聞解』（斧山玄トツ述）を中心に演習を行う。

履修上の留意点

大学での学習・研究の中でも、演習が担う役割は極めて大きいと考えるので、積極的に参加して貰いたい。また我々は仏教を学ぶのであるから、私も含めた参加者全員が互いに協力し励まし合って学んで行きたい。

成績評価の方法

平常の参加態度と、学年末提出のレポートで評価する。

教科書

『正法眼蔵註解全書』所収本の必要箇所をコピーして配布する。

参考書等

『永平正法眼蔵菟書大成』17（大修館書店）・鏡島元隆『道元禅師とその門流』（誠信書房）・河村孝道『正法眼蔵の成立史的研究』（春秋社）など。但し以上は入手が困難であろうから、図書館を活用して貰いたい。その他は随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	おお なに てつ お 大 谷 哲 夫	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

『永平広録』（10巻）は、道元禅師の弟子たちが編纂した禅師の語録であり、禅師の名著である『正法眼蔵』以外では、特に禅師晩年の宗旨吐露の大演法はまさにここに極まるので、その現代的意義を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、祖山本『永平広録』を底本とし、それに卍山本『永平広録』を対比し、現今経眼しうる江戸期の宗学者の注解をも考究し、伝灯宗学の立場をも併せ勘案しながら、そこに展開される正伝の仏法の真意義を基礎的に順次参究する。

履修上の留意点

指定する演習部分を事前に熟読してくること。

成績評価の方法

年間二度のレポート提出と出席。

教科書

祖山本『永平広録』・卍山本『永平広録』。  
演習箇所は適宜にコピーし配布する。

参考書等

『道元禅師 おりおりの法話』（曹洞宗宗務庁）  
『祖山本 永平広録 考註集成』（上下二巻 大蔵出版）  
『卍山本 永平広録 考註集成』（全一卷 一穂社）  
『永平広録注釈全書』（上中下索四巻 鴻盟社）  
その他の必要文献は適宜コピーし配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	岡部 和雄	禪・仏教3必	4
演習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

漢文仏典に親しむ。訓読や現代語訳について基礎知識を得る。英訳も参照できるような読解力を養う。玄奘や義浄の偉業について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

『大唐大慈恩寺三蔵法師伝』『大唐西域記』『南海寄帰内法伝』から主要な節を選んで読む。原文はそれぞれ大正蔵経第50巻、第51巻、第54巻に収められている。すでに刊行されている訳文（英訳・和訳）を参照する。

履修上の留意点

意欲のある人・下調べをいとわない人の参加をのぞむ。玄奘や義浄に興味ある人、西域や南海の仏教事情に関心のある人でもよい。

成績評価の方法

試験は行なわない。詳細は出席と平常点で行なう。

教科書

テキスト・訳文・参考文献は学年度の初めに配布する。

その他

当番をきめ演習（テキストの解説）をしてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	片山 一良	禪・仏教3必	4
演習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

釈尊によって説かれた原初の教えを「原始仏教」と呼ぶ。その基本的な教えを正しく理解し、いわゆる「大乘仏教」の根本的思想を把握するための足がかりを築きたい。

講義の内容・授業スケジュール

聖典語とされるパーリ語で書かれた原始仏典を読む。本年は詩（偈）と散文からなる『如是語（経）』（Itivuttaka）を選び、五蘊、縁起、四諦・中道の教えについて考えたい。また、前期・後期に各一回、各自の研究課題に基づく発表の機会を設けたい。

履修上の留意点

受講者はパーリ語初級程度の知識をそなえていることが望ましい。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

テキストはPTS本（Itivuttaka）を使用。コピー配布。

参考書等

南伝大蔵経『相應部経典』、その他。

その他

授業は講読・討論を主とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	金沢 篤	禪・仏教3必	4
演習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

仏教の成立・展開にも大きく関わった、インドの思想史・文化史的背景を何う種々文献資料や、いわゆる正統バラモン哲学の基礎的な文献資料を原典で読む。

履修上の留意点

テキストなど詳しいことは、教場にて適宜指示するが、受講者は、サンスクリットの初級程度の知識を有していることが望ましい。また、自分の個人的学問的関心を常時鋭化し、文献渉猟と言葉によるプレゼンテーション技術の習得を心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、出席点を含む平常点をもってする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	くまもと えい にん 熊 本 英 人	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

『明治維新神仏分離史料』を中心に、日本の仏教の近代について考える

講義の内容・授業スケジュール

神仏分離（神仏判然）・廃仏毀釈は、法難の一例、歴史のひとつまとして通り過ぎることが多い。しかし、明治維新を境として、日本の仏教、さらには宗教は、どこが変わりどこが変わらなかったのか。神仏分離・廃仏毀釈の前と後とでの、仏教および寺院の実態を分析する。

まずはじめに、神仏習合の歴史を概観する。そのうえで、明治維新時の神仏分離の実態がどのようなものであったか、またそれが当時どう捉えられていたのかなど、『明治維新神仏分離史料』を軸として、関連史料もあわせて読み進める。テキストの神仏分離の事例については、受講者の興味も考慮して選択する。

演習Ⅱについては、卒業論文の指導にも配慮して講座を進める。

成績評価の方法

平常点及びレポート。

教科書

『明治維新神仏分離史料』（東方書院刊、名著出版復刻）。テキストおよび参考史料は、必要に応じてコピーで配布する。

参考書等

演習の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	さとう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

日本禅宗の草創期の禅僧、とくに鎌倉・南北朝時代に活躍した道元禅師から瑩山禅師やその弟子たちに至る初期曹洞宗教団の祖師方の伝記資料その他を読み進めたい。具体的には江戸時代の僧伝や禅宗灯史が成立する以前の、より素朴な中世撰述資料などをテキストとして演習する。演習を通して資料の読解力を養うだけでなく、禅僧たちの生きざまを通して彼らが目指した禅宗叢林のありかたなど、中世禅宗の息吹きを感じてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに初期曹洞宗に関して、歴史的な概要や現存する史資料について口述し、その後、特定の伝記資料について演習する。その際、学生が輪番形式で割り当てられた箇所について書き下し文と語句の説明と訳文を作って資料を発表してもらう。

履修上の留意点

資料の多くが漢文ないし漢字仮名交じり文で表現されており、しかも独特の禅宗用語や中世用語が用いられていることから、漢文（とくに禅宗漢文）や日本禅宗史の素養を深めておいて欲しい。

成績評価の方法

担当した演習箇所の内容と出席日数を換算して成績を評価するが、授業時間内の態度や意気込みなども総合的に加味したい。

教科書

特定の教科書は使用しない。『三大尊行状記』や古写本『建誓記』などの内容を、『曹洞宗全書』『史伝下』や『続曹洞宗全書』『寺誌・史伝』その他当該資料よりプリントして配布する。

参考書等

大久保道舟『道元禅師伝の研究』や竹内道雄『道元』（人物叢書）など道元禅師に関する研究書、東隆眞『瑩山禅師の研究』など瑩山禅師に関する研究書。『永平寺史』など初期の曹洞宗に関する研究書。

その他

演習では毎時間、担当者を割り当てて調べてきた成果を発表してもらい、それを教員が改めて内容を検討していく。

科 専 門 教 育  
目 録



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	た がみ たい しゅう 田 上 太 秀	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

本論書を読むに当り、仏性思想の原典の『涅槃経』を取り上げ、思想の原点を読出し、仏性思想の発展史を把握させたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

漢文が読めるようになるまで読み方を指導し、仏教用語の独特な読み方を指導する。

履修上の留意点

予習・復習を必ず行い、必ず出席すること。

成績評価の方法

日頃の学習態度によって評価する。

教 科 書

大正蔵経所収の『仏性論』をコピーしたもの。

参 考 書 等

授業中にその都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	な が い ま さ し 永 井 政 之	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

北宋を代表する禅者の一人、慧洪（1071～1128）の著わした『林間録』を読みます。北宋を代表する禅者の一人である慧洪は、その生涯において4度の下獄を経験するほどの波乱の人生を送ります。一方、その著作『石門文学禅』は「五山文学」の世界に大きな影響をあたえました。かくしてその評価はさまざまとなりますが、彼が「あるべき教え」と「人」を模索し続けたことは疑いありません。その集約が『林間録』にあります。

時には皮肉を込め、時には慨嘆しつつ語られる北宋禅の世界は、「灯史」に限定されない生き生きとした様相そのものを語っているのではないのでしょうか。

成績評価の方法

評価は当番に当たった際の発表や、ふだんの履修態度を総合的に評価します。

教 科 書

テキストは江戸時代の木版本をコピーして使用します。返り点や送りがなも付されているので、比較的読みやすいと思います。

参 考 書 等

参考書については授業中に適宜指示しますが「漢和辞典」は必ず用意してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	は せ べ は ち ろ う 長 谷 部 八 朗	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

仏教をはじめとした種々の宗教儀礼を構成する道具・言説・所作などのシンボリックな解釈、あるいは曼荼羅・絵巻・聖画・偶像などのイコノロジカルな分析を通して、宗教的な行為や造形物の背景にあるところの教えに裏打ちされた意味・価値の世界を探究する。

講義の内容・  
授業スケジュール

上記に関する主要な文献を取り上げ、検討する。また、履修者に関連テーマを与え、調べた内容をレポートしてもらい、それに基づいて議論する機会も持ちたい。

成績評価の方法

授業態度や提出物、出席状況などを総合して評価する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

まずは基礎的な辞書類の選び方・使い方を習得し、自らの手で疑問を解決できるようにする。最終的には受け身の学問から攻めの学問へ転ぜられたい。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗禪戒諸資料を読む。いわゆる仏教全体の中にあつて禪宗の戒律思想は頗る特異で、教家のそれと比較し難いとされる。しかし幸いにも江戸期の先学が禪戒について詳細に議論をする中で随所に教学的考察を試みている。この点を念頭に置きつつ、本演習では道元禪師ないし曹洞宗における戒律思想を探るべく曹洞宗関係を中心に諸資料を参究していく。

成績評価の方法

出席の状況ならびに平常点によって評価する。

教科書

適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	まつ もと し ろう 松 本 史 朗	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

インドの大乗仏教の基本的概念・教理を理解するために、初期瑜伽行派の重要なテキストである『菩薩地』を、サンスクリット語（梵語）の原典で読む。

講義の内容・授業スケジュール

原典を履修者に和訳してもらう。

履修上の留意点

テキストは、サンスクリット語なので、サンスクリット語初級を修了した程度の語学力を要する。

成績評価の方法

成績評価は、出席を含む平常点による。

教科書

テキストなどの詳細は、教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	みな 皆 川 ひろ よし 義	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

救主釈尊の教えをふまえて、仏教の根本課題である悲と智と慈について考察する。悲は、すべての人々にある生死の苦悩であり、仏教の原点である。智は、釈尊の菩提樹下の悟りであり、人々を生死の苦悩より解脱させる道の発見である。慈は、生死の苦悩からの解脱道を思いやりとして人々に説示することであり、仏教伝道の力である。この演習では、仏教の悲と智と慈という視点より、人々の苦悩をふまえて、新しい癒しの仏教の創造をしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、悲と智と慈の人・釈尊の生涯と教えについて、概説する。その後、担当者を決めて、テキストを読み、研究を発表し、討論し、課題を明らかにする。

履修上の留意点

授業日数の三分の二以上出席すること。  
次に、テキストの予習を必ずして、演習にのぞむこと。

成績評価の方法

各自の研究発表と学習態度（出席日数など）、それに学年末の試験の成績などを、総合して評価する。

教 科 書

増谷文雄編『仏教の根本聖典』（大蔵出版）

参 考 書 等

増谷文雄著『仏陀』（角川書店）

そ の 他

夏休みの後半ごろ、合宿研究会を行う。また、随時、仏教や禅の実践的学習をすすめる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	よし 吉 津 よし 英 ひて	禪・仏教3必	4
演 習 II		禪・仏教4選	

講義のねらい

東アジアにおける中道思想論  
仏教の実践の原点は『律蔵』『大品』での五比丘への説法、初転法輪に見られるように苦楽の二辺を離れた中道にあると思う。また釈尊が重要な場面で強調した自洲と法洲の水平対等のあり方も中道の内容を規定する姿勢と考える。ところで大乘になると空が強調され、一切の法の階層性が空じられて、例えば「生死即涅槃」「煩惱即菩提」に類する相即観が説かれる。そのような相即観は「不二」とも表現され、例えば吉蔵の三論教学には「不二中道」の用例も見える。中道に不二の意味を読み込むことは中道の原意から逸脱すると考える。東アジアの諸教学に中道の諸形態を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

最初に私が演習の趣旨を総合的に説明する。各自はそれぞれ自分のテーマを設けて、年間1・2回、約15分前後の小発表を行ってもらいたい。それをめぐって、質疑応答し、問題点を掘り下げたい。

履修上の留意点

出来るだけ積極的に演習の討議に参加してもらいたい。

成績評価の方法

小発表の内容と、毎週の質疑応答に積極的に参加することを評価の第一のポイントにする。次に1月15日締め切りで10枚（400字原稿用紙換算、ワープロも可）以上の小論文の提出を求める。小発表と小論文のテーマは異なってもよい。以上の小発表と小論文、そして質疑応答への積極的な参加を総合的に勘案して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	よしむら まこと 吉 村 誠	禪・仏教 3 必	4
演 習 II		禪・仏教 4 選	

講義のねらい

漢訳仏典を読みながら、中国仏教の諸問題を考察します。主な研究領域は、唯識思想と如来蔵思想の展開、伝記・説話・儀礼・美術にみる仏・菩薩への信仰、儒教・仏教・道教の三教交渉などです。

本年度は、地藏信仰を取り上げます。前期は、唐代に実叉難陀（652-710）が翻訳した『地藏菩薩本願経』を読み、地藏信仰の特徴について考えます。後期は、偽経（中国で作られた経典）の『十王経』などを読み、中国における地藏信仰の展開について検証します。

受講者は演習を通じて、漢訳仏典を正確に読めるようになり、学問の研究方法を身に付けることができるでしょう。それを各自の研究に生かすようにしてください。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 地藏信仰とその経典 (2-6) 『地藏菩薩本願経』を読む (7) 研究発表  
(8-12) 『地藏菩薩本願経』を読む (13) 研究発表  
(後期) (1) 地藏信仰の展開 (2-6) 『延命地藏菩薩経』を読む (7) 研究発表 (8-12) 『十王経』を読む (13) 研究発表

履修上の留意点

毎回休まず出席してください。演習は輪読形式で行なうため、漢文訓読の予習が必要です。漢文の読解力を向上させたい者、中国の文化に広く関心を持つ者の受講を期待しています。

成績評価の方法

予習や出席の状況、およびレポートを総合して評価します。

教科書

速水侑『地藏信仰』（塙書房、1975年）。その他、プリントを使用します。

参考書等

真鍋広済『地藏菩薩の研究』（三密堂書店）1960年。澤田瑞穂『修訂地獄変—中国の冥界説』（平川出版社）1991年。その他、授業中に随時紹介します。

その他

唯識思想や如来蔵思想の研究指導を希望するものは「仏教研究Ⅲ」も受講してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	よつや こう どう 四津谷 孝 道	禪・仏教 3 必	4
演 習 II		禪・仏教 4 選	

講義のねらい

この演習では、大乘仏教における、特に中観思想における「空」について検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

『般若経』において説かれた「空」に論理的な根拠を与え、中観思想の礎を築いたのは、龍樹（ナーガールジュナ、紀元2-3世紀）という人物である。当演習では、この龍樹を開祖とする中観派の思想を中心に、大乘仏教を広い視野で考察してみたい。

今年度はインド思想全体を視野に入れ、「沈黙」をテーマに「空」とは何かを探ってみたい。

履修上の留意点

この授業の受講生に関しては、サンスクリット語やチベット語等の知識を有することが望ましい。

成績評価の方法

年度末のレポートによって評価する。科目専門教育専門教育科目

教科書

特になし。

参考書等

授業において、随時言及する。

その他

特になし。

科 専  
門 教  
育 目

科  
專  
門  
教  
育  
目

# Ⅲ 他学部履修科目

他学部  
履修科目

第7 他学部履修科目  
レ1A 開  
部講

### Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

上代文学研究	I	〈中嶋真也〉	315
中古文学研究	I	〈松岡智之〉	315
中世文学研究	I	〈櫻井陽子〉	316
近世文学研究	I	〈近衛典子〉	316
近代文学研究	I	〈榎本正樹〉	317
比較文学		〈満谷マーガレット〉	317
西洋思想史		〈柴野博子〉	318
演劇概論		〈阿部由香子〉	318
日本民俗学		〈谷口貢〉	319
イギリス文学特講	I	〈石原孝哉〉	319
イギリス文学特講	II	〈高野正夫〉	320
イギリス文学特講	III	〈岡崎寿一郎〉	320
イギリス文学特講	IV	〈荒井良雄〉	321
イギリス文学特講	V	〈富士川義之〉	321
イギリス文学特講	VI	〈丸小哲雄〉	322
アメリカ文学特講	I	〈東雄一郎〉	322
アメリカ文学特講	III	〈足田和人〉	323
演劇特講(イギリス・アメリカ)		〈落合和昭〉	323
時事英語		〈サンダース, L. P.〉	324
地理思想史		〈吉田敏弘〉	324
地形学		〈小池一之〉	325
人口地理学		〈江崎雄治〉	326
文化地理学		〈小田匡保〉	326
応用地理学		〈高木正博〉	327
現代地理学特論		〈休講〉	
日本史特講Ⅶ〔近代〕		〈熊本史雄〉	327
東洋史特講Ⅲ〔近世史〕		〈趙軍〉	328
考古学特講Ⅲ〔日本石器時代〕		〈設楽博巳〉	328
西洋文化史		〈石田恵子〉	329
産業・職業社会学		〈山田信行〉	329
マス・コミュニケーション論		〈休講〉	
社会福祉発達史		〈林千代〉	330
国民所得論		〈吉野紀〉	331
日本経済史		〈橋野知子〉	332
農業政策		〈溝手芳計〉	333
教育経済論		〈谷敷正光〉	334
日本経済論		〈小林正人〉	335
中国経済論		〈小杉修二〉	336
アメリカ経済論		〈瀬戸岡紘〉	336
EU統合論		〈休講〉	
現代西欧経済論		〈休講〉	
ロシア・東欧経済論		〈山縣弘志〉	337
財務会計論		〈小栗崇資〉	338
会計監査論		〈森田佳宏〉	339
管理会計論		〈石川祐二〉	340



					論	〈古	澤	敏	造	.....	341	
貿					論	〈金	子	昇	平	.....	342	
行	政	較			法	〈西			修	.....	342	
比					法	〈竹	中	智	香	.....	343	
相					史	〈北	野	か	ほる	.....	344	
西	洋				法	〈北	野	か	ほる	.....	345	
英					法	〈若	林	亜	里砂	.....	346	
經					(1)	〈若	松	邦	弘	.....	346	
ヨ	一	口	ツ	パ	政	(2)	〈若	松	邦	弘	.....	347
ヨ	一	口	ツ	パ	政	学	〈小	堀	訓	男	.....	347
国					史	〈浦	田	早	苗	.....	348	
ヨ	一	口	ツ	パ	政	法	〈富	井	幸	雄	.....	348
地	方	較			学	〈木	暮	健	太郎	.....	349	
比					論	〈大	塚		桂	.....	350	
現	代				法	〈休			講	.....		
比	較				論	〈鹿	嶋	秀	晃	.....	351	
經	營				論	〈茂	垣	広	志	.....	352	
国	際				史	〈山	田		勝	.....	352	
商	險				論	〈石	名	坂	邦	昭	.....	353
保	務				論	〈渡	邊		惠一郎	.....	354	
財	營				論	〈片	桐		伸	夫	.....	355
經	務				論	〈休			講	.....		
税	營				論	〈高	井	徹	雄	.....	356	
經	報				論	〈西	村		和	夫	.....	357
情	營				計	〈長			国	強	.....	358
經					学	〈休			講	.....		
医	療				学	〈休			講	.....		
医	療				学	〈休			講	.....		
異	文	化	コ	ミ	ユ	ニ	ケ	ー	シ	ョ	.....	359
国					学	〈片	山	淳	晴	賢	.....	360
国					史	〈服	部		龍	太郎	.....	360
女					史	〈高	嶋		め	ぐみ	.....	361
文					論	〈蘭	部	幹	生	他	.....	361
国	文	学			究	〈小	林		治	他	.....	362
古	典	戯			劇	〈岡	田		万	里子	.....	362
メ	デ	イ			現	〈松	田		直	行	.....	363
時	事				語	〈岡	本			誠	.....	363
臨	床	放			論	〈休			講	.....		

[フレックスBで開講される他学部履修科目]

商学総論	〈大吹勝男〉	364
社会思想史	〈阿部弘〉	365
国際経済論	〈休講〉	
商業政策	〈岩下弘〉	366
アジア経済論	〈鄭章淵〉	367
社会政策	〈光岡博美〉	368
価値理論	〈荒木勝啓〉	369
銀行論	〈齊藤正〉	370
一ヶテイ	〈休講〉	
経営管理	〈休講〉	
中小企業論	〈休講〉	
人口論	〈休講〉	
労働管理	〈休講〉	
法思想史	〈高橋洋城〉	371
日本法制史	〈茂野隆晴〉	372
西洋法制史	〈休講〉	
西経法	〈荒井登志夫〉	373
国際関係論	〈南山淳〉	373
地方自治法	〈富井幸雄〉	374
国際紛争解決法	〈王志安〉	375
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	375
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	376
経営財務論	〈高田光明〉	377
経営組織論	〈日野健太〉	378
経営益組企業論	〈園田哲男〉	379
公管理会計論	〈猿山義広〉	379
管会監査論	〈阿部一人〉	380
日本経済論	〈羽鳥茂〉	381

第1期  
他学部履修科目  
開講部

第7他  
レ学  
1A部  
部開  
講修  
目科

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究 I	なかじま しんや 中嶋 真也	禅・仏教	4

講義のねらい

現存最古の歌集『万葉集』に収められた歌には、用いられた表現に基づき、類歌・類想と処理されるものが少なくない。しかし、同様な表現でありながら、すべてが同じなのではない。多様な表現性が見届けられ、また『万葉集』の中での歌の享受をも想定させるのである。表現を共有する歌を取り上げ、古代の歌のありようの一端を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』の概説から始め、類歌・類想と説明される歌々を取り上げ、丁寧に読み解く。原文・訓みの確定と内容面の把握の関わりを提示していく。

履修上の留意点

出席を重視し、集中して講義内容を理解しようと努めること。

成績評価の方法

出席、授業態度、前期末のレポートと年度末の試験によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	まつおか ともゆき 松岡 智之	禅・仏教	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的のものに関する問題提起をする。  
②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	さくら い よう こ 櫻井陽子	禅・仏教	4

講義のねらい

軍記物語において、人物、特に英雄的な人物がどのように描きだされているのかを考える。人物の造型を鑑賞し、その面白さを味わうことも目的であるが、それ以上に、軍記物語にとって、登場人物に何が必要とされているのか、ひいては、軍記物語が何を描こうとしているのかを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的に多くの作品に触れながら進める。  
 1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。  
 4～6 為朝を読む(『保元物語』)  
 7～9 義平と義朝(『平治物語』)  
 10～13 清盛・義仲・義経(『平家物語』)  
 14・15 『承久記』  
 16～18 楠正成・足利尊氏(『太平記』)  
 19～21 義経・弁慶(『義経記』)  
 22～24 曾我兄弟(『曾我物語』)  
 25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	この え のり こ 近衛典子	禅・仏教	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』(和泉書院)

その他

講義

第7他学部履修科目  
1A開講部講目

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究 I	えの 榎 本 正 樹	禅・仏教	4

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆる W 村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野 頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方、人物の関係性、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリ、少女小説など、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。

参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、赤坂真理、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、藤沢周、町田康、柳美里、長野まゆみ、多和田葉子、保坂和志、いしいしんじ、金城一紀、佐藤哲也、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年にデビューした新人作家や文学界のトピックスについても、スポット的に言及していく予定です。

榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報なども盛り込んでいきたいと思ひます。

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらうレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト ([www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/](http://www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/)) も参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	みつたに 満谷マーガレット	禅・仏教	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロナル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年  
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年  
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

他第  
学部  
履修  
科目  
講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	柴 <sup>しば</sup> 野 <sup>の</sup> 博 <sup>ひろ</sup> 子 <sup>こ</sup>	禅・仏教	4

講義のねらい

西洋思想の流れをたどりながら、より良く生きるための話題を提供したい。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期は、まず、古代(ギリシア、ローマ)と中世(キリスト教)の思想を概観し(4・5月)、その後、カントとショーペンハウアーをとりあげる(6・7月)。  
後期は、現代哲学の一つである生(レーベン)の哲学を中心に、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デイルタイ(11・12月)の思想を見てゆきたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教 科 書

久保陽一・河谷淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	阿 <sup>あ</sup> 部 <sup>べ</sup> 由 <sup>ゆ</sup> 香 <sup>か</sup> 子 <sup>こ</sup>	禅・仏教	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多様であるのはなぜか?演劇と文学はどのような関係にあったのか?日本演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、作品を読み、鑑賞していくこととする。受講者には実際に劇場へ足を運んでもらい、観劇してもらおう。

講義の内容・  
授業スケジュール

- [前期] (1、2) 演劇の近代化  
(3、4) 堤春恵「仮名手本ハムレット」  
(5、6) 文学と演劇  
(7、8) 菊池寛「父帰る」  
(9、10) 女優の登場  
(11、12) 政治と演劇  
(13) まとめ
- [後期] (1、2) 青年と演劇  
(3、4) 演劇の中の「夢」  
(5、6) 演劇を描いた演劇  
(7、8) 三谷幸喜「ショーマストゴーオン」  
(9～12) 現代演劇の上演状況について  
(13) まとめ

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ行って観劇してもらおうので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講が望ましい。

成績評価の方法

前期末の試験、観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教 科 書

特定のものはない。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義が中心ですが、レポートを発表してもらうこともあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	禅・仏教	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	石原 孝哉	禅・仏教	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』（三修社）2,800円、配布プリント

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

他7第  
学部履修開  
A1  
修科目講部



科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかの まさお 高野正夫	禅・仏教	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、Dryden や Pope などに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomson のように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward Young や Robert Blair そして Thomas Gray などのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年に William Wordsworth と Samuel Taylor Coleridge によって出版された *Lyrical Ballads* という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おか ぎさお 岡崎寿一郎	禅・仏教	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」 modernity という言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人アイエーツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらに D.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

第7他学部履修科目  
IA開科  
部講目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	あら い よし お 荒井良雄	禅・仏教	4

講義のねらい

オースティンからモームまで、イギリス小説の代表的作家と作品に内在する「ブライス禅」を講義する。イギリス小説の映画化作品に関しても「ブライス禅」を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

R. H. Blyth の *Zen in English Literature* や *Twenty-Five*、*ZEN Essays* などを参照しながら、作品の言葉（名句）を引用しつつ講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇中に作成するレポートと、12月の最終講義の時間におこなうテストで評価する。

教科書

教科書は使用せず、プリントを用意する。

参考書等

北星堂書店から出版されているブライスの全著作と、岩波書店発行の『鈴木大拙全集』40巻ほか。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よし ゆき 富士川義之	禅・仏教	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	<small>まる</small> 丸 <small>こ</small> 小 <small>てつ</small> 哲 <small>お</small> 雄	禪・仏教	4

講義のねらい

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考が要求されます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や態度に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。

だが、外国文学を研究するにあつては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考えることには錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評のについてのさまざまな方法論があることを講義します。従って、本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せる方法について講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自然言語と虚構言語の相違について
2. 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
3. 文学テキストの機能と力について
4. さまざまな批評方法について

・伝統批評・伝記批評、ロシア・フォルマリズム・ニュー・クリティシズム、受容理論、精神分析批評、構造主義・記号論批評、ポスト構造主義批評、ニュー・ヒストリシズム批評、ポストコロニアル批評などを講義し、批評方法を修得するためにテキスト演習も行います。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

Elements of fiction by R. Scholes（英宝社）  
 プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参 考 書 等

- 『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）  
 『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	<small>あづま</small> 東 <small>ゆういちろう</small> 雄一郎	禪・仏教	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

成績評価の方法

欠席率が3分の1を超えた場合は評価対象外とし、授業内の小テスト、小レポート、前期・後期のレポートによって総合的に評価する。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし た かず ひと 足 田 和 人	禅・仏教	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おち あい かず あき 落 合 和 昭	禅・仏教	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀のアイランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell(1882-1948)、Alice Gerstenberg(1885-1972)、Eugene O'Neill(1888-1953)、Thornton Wilder(1897-1975)、Tennessee Williams(1911-83)、Arthur Miller(1915-), Shirley Jackson(1919-65)、Edward Albee(1928-), Sam Shepard(1943-), David Mamet(1947-), アイランドでは、John Millington Synge(1871-1909)、Samuel Beckett(1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley(1894-1984)、Peter Shaffer(1926-), Harold Pinter(1930-), 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』ミネルヴァ書房
- 2) プリント

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語	サンダース, L.P.	禪・仏教	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TV ニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。  
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教 科 書

教科書は使用せずプリントを配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	よし だ とし ひろ 吉 田 敏 弘	禪・仏教	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景画史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・授業スケジュール

配布資料・Powerpointを用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教 科 書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参 考 書 等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）  
織田武雄『地図の歴史』（講談社）  
織田武雄『古地図の世界』（講談社）  
葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）  
小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）  
水津一朗『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）  
野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

第7他学  
部履修  
1A開  
部講目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 形 学	こ 小 池 一 之 こいけ かずゆき	禅・仏教	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、  
地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形）

後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税

小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	江崎雄治	禪・仏教	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- 〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握（性比、年齢構造）
- 〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標（合計特殊出生率）、出生率の低下とその要因
- 〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標（生命表、平均寿命）、人口高齢化とその要因

(後期)

- 〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴
- 〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動
- 〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因
- 〔将来人口の推計〕将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田匡保	禪・仏教	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートの提出は必須で、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

第7他学部履修科目  
1A開講部講義目

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木正博 <small>たかぎまさひろ</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあい、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野
2. 河川流域の水収支
3. 日本の河川流況特性
4. 河成平野の地形分類と防災
5. 河道治水から流域治水へ
6. 水防の再構築
7. ダムと森林
8. 日本の水利用
9. 農業用水の利用と問題点
10. 濁水とは…
11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える
13. 多摩川における水利権の変遷
14. 地域用水と環境用水
15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドや OHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講 VII (近代)	熊本史雄 <small>くまもと ふみお</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争  
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的に講義形式で進め、必要に応じてレジュメと史料を適宜配布する。

他第  
学部履修科目開講部



科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ (近世史)	ちょう ぐん 趙 軍	禪・仏教	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 近代以前の日中通史       | 9. 「満州事変」から日中戦争へ   |
| 2. 「日清提携」と「征亜論」の創生 | 10. 日本の敗戦と台湾との「国交」 |
| 3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭 | 11. 政経分離と政経不可分     |
| 4. 宮崎滔天と中国         | 12. 国交正常化と日中平和友好条約 |
| 5. 頭山満と中国          | 13. フィーバーと摩擦       |
| 6. 辛亥革命・孫文と日本      | 14. 改革開放と「新アジア主義」  |
| 7. 内田良平と中国         | 15. 真のアジア共生をめざして   |
| 8. 中国の国民革命と日本の対応   |                    |

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年  
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参考書等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年  
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅲ 〔日本石器時代〕	した ら ひろ み 設 楽 博 己	禪・仏教	4

講義のねらい

考古学の年代論 弥生時代が500年さかのぼるのではないか、という新聞記事は記憶に新しい。でもなぜなのか、知っている人は少ないだろう。日本に前期・中期旧石器時代があったという詐欺に、日本考古学がまんまとだまされてしまったのはなぜか。年代には相対年代と絶対年代がある。考古学独自の年代決定方法は相対年代の決定にとくに有効であるが、歴史学の基礎になる実年代を求めていくには自然科学的手法の助けを借りなくてはならない。考古学により実年代がどのように決められてきたのか、現在の年代論の到達点と問題点をさぐるとともに、AMS法という高精度な炭素14年代測定法によって純粋考古学の年代観が大きく揺さぶられている状況を紹介し、これからの考古年代論のあるべき姿をともに考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 ①AMS法による高精度編年とはなにか ②考古学的手法による年代決定法  
③自然科学的方法による各種の年代測定 ④前期・旧石器捏造問題と年代論  
後期 ①縄文時代の土器編年と実年代 ②弥生時代の実年代を論じる ③古墳時代の始まりと邪馬台国問題 ④考古学と年代論

履修上の留意点

考古学の基礎は年代論にあるので、しっかりと講義を聞いてほしい。講義中の私語厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので要注意。

成績評価の方法

年度末の試験による評価。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史	いし だ けい こ 石 田 恵 子	禅・仏教	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート

教科書

特になし

科目名	担当者名	配当学科	単 位
産業・職業社会学	やま だ のぶ ゆき 山 田 信 行	禅・仏教	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2部から構成される。  
 第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。  
 第2部（後期）では、“グローバル化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり。  
 第1部 現代日本の産業・労働・職業  
 1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題  
 2. 労使関係とはどんな関係なのか  
 3. 賃金・雇用・労働者  
 4. 労働者の統制と参加  
 5. 労働組合と労働運動  
 6. 技術革新と技能の変化  
 7. 国家と労使関係  
 8. 変容する産業・労働・職業の世界  
 第2部 労使関係の国際比較  
 1. グローバリゼーションと労使関係  
 2. インダストリアルイズムと多元的資本主義発展  
 3. アメリカ合州国と不自由労働  
 4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係  
 5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展  
 6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

参考書等

適宜、指示する。

他7第  
学部  
履修開  
科目講部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし ちよ代	禅・仏教	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	吉野 紀 <small>としの おさむ</small>	禪・仏教	4

### 講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率は何故に上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえは実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

### 講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回  
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。  
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回  
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。  
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回  
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。  
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回  
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。  
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回  
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わせられる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

### 成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

### 教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

他7第  
学部履修開  
修科目講部

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済史	はし野のともこ 橋野知子	禅・仏教	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論における研究蓄積を紹介しつつ、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. ガイダンス日本経済史をみる眼
2. 近代経済成長への胎動  
幕藩制政治経済システムの特徴／国内市場の変質／開国と幕藩体制の解体
3. 資本主義経済の成立  
諸改革から地租改正へ／地租改正の歴史的意義／殖産興業政策の展開／資本家・労働者の出現／貿易構造と諸産業
4. 産業革命の展開  
企業勃興期／産業基盤や制度の整備／諸産業・貿易の発展からの接近／欧米・アジア・日本の貿易からみた世界経済の再編過程／資本主義の確立と諸問題
5. 両大戦期の日本経済  
「大正新時代／天佑」としての第一次大戦／国際経済環境の変化と日本／大戦後の経済と社会／恐慌の時代／高橋財政
6. 戦時から戦後へ  
戦時経済／戦後改革と経済復興
7. 現代経済の形成過程  
高度経済成長／高度成長の終焉／バブルの時代／平成不況／ここからどこへ

履修上の留意点

他の受講生の迷惑となる行為は慎んで下さい。

成績評価の方法

前期末・学年末試験により評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教科書

特に指定しません。毎回資料（レジュメ）を配付します。

参考書等

講義の中で毎回紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みづ て よし かづ 溝 手 芳 計	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1～2回)
2. 食料問題と食料政策 (3～7回)
3. 農家所得問題と農産物価格政策・直接支払い (8～12回)
4. 農業構造問題と構造政策 (13～18回)
5. 戦後における日本と世界の農業政策 (19～25回)

#### 履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

#### 成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

#### 教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)

#### 参 考 書 等

F. マグドフ他編 (中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章 (大月書店)  
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	やしきただみつ 谷敷正光	禪・仏教	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」(一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」(一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」(一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」(一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」(一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」(一部ビデオ)
- (10) ブレア首相の経済と教育「福祉のニューディールとオペティングアウト」(一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (11) 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業(映画)
- (12) 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
- (13) 教育令時代における経済と教育1 工場払下と産業の勃興(一部ビデオ)
- (14) 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (15) 学校令時代における経済と教育1 産業革命と紡績業の発展(一部ビデオ)
- (16) 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (17) 実業学校令時代における経済と教育1 重工業の発展と資本主義の確立(一部ビデオ)
- (18) 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法(一部ビデオ)
- (20) 高度成長第1期の経済発展と教育(一部ビデオ)
- (21) 高度成長第2期の経済発展と教育(一部ビデオ)
- (22) 高度成長第3期の経済発展と教育(一部ビデオ)
- (23) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。  
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）  
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）  
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）  
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）  
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）  
 揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）  
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）  
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）  
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）  
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）  
 その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 論	こばやし まさと 小林 正人	禅・仏教	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本の経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程  
 景気の現状と雇用情勢  
 戦後改革  
 日本の高度経済成長：歴史とその原因  
 産業政策の役割  
 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展  
 産業構造の理論と歴史  
 主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械  
 日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較  
 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望  
 平成不況の意義  
 情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

講義資料は一度しか配布しないので確実に収集し、保管する。講義資料なしで定期試験を受けることはむずかしい。講義ではOHPなどをひんばんに使うので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。講義の節目に小テストを実施することもある。

成績評価の方法

学期末テストと小テストの総合評価による。試験は論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

その他

成績質疑応答では講義資料を持参しなければならない。

第1開講科目  
 履修科目  
 他学部



科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小 <sup>すぎ</sup> 杉 <sup>しゅう</sup> 修 <sup>じ</sup> 二	禪・仏教	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかっていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4,000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック2000-2001』(古今書院) 3,800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬 <sup>せ</sup> 戸 <sup>と</sup> 岡 <sup>おか</sup> 紘 <sup>ひろし</sup>	禪・仏教	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくとも理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。  
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店) 1994年 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店) 2003年をおすすめします。

他学部履修科目  
第7レIA開講  
部講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることとはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論とマルクス
  - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への転換
  - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と経済管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立と実態
  - (2) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
  - (1) 経済構造の特質と軍事生産
  - (2) 工業生産力と工業技術
  - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) プレジネフと停滞の時代
  - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧の文化と社会
  - (2) 資本主義化の諸問題
  - (3) ロシアと日本——比較経済史——

#### 履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

#### 教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

#### その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのの当然のことになるだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	小栗 崇資 <small>おぐり たかし</small>	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

#### 履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

#### 成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

#### 教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

#### 参考書等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

#### 講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

#### 履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

#### 教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

#### 参 考 書 等

(財)財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いしかわ ゆうじ 石川 祐二	禅・仏教	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・  
授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人個人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜配布する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう まう 古 沢 紘 造	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 講義の内容・授業スケジュール

#### I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

#### II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

#### 成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

#### 教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

#### 参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法 各 論	かね こ しょう へい 金 子 昇 平	禪・仏教	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教 科 書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

そ の 他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 憲 法	にし おさむ 西 修	禪・仏教	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。

- ①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）
- ②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、
- ③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、
- ④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

- ①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
- ②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと
- ③私語は絶対に慎むこと
- ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

- ①出席・レポート 30点
- ②前期試験 30点
- ③後期試験 40点。

教 科 書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参 考 書 等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

そ の 他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	たけなかちか 竹中智香	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と大きくリンクしていることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的変化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 〔前期〕

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

##### 〔後期〕

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

#### 履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

#### 成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

#### 教科書

有斐閣双書『民法（8）親族 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円  
有斐閣双書『民法（9）相続 [第4版増補版]』（有斐閣）1,600円

#### 参考書等

六法  
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』（有斐閣）2,200円  
『法律学小辞典』（有斐閣）4,500円



科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	またの北野かほる	禪・仏教	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
  - 第1章 法制史学概説
    - 第1節 法制史学の方法と対象
    - 第2節 法制史学の目的と効用
    - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
  - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
    - 第1節 時間的範囲
    - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
  - 第1章 古代
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 法構造
  - 第2章 中世 (1066 - 1350)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造 封建制
    - 第3節 統治構造 封建制の解体
    - 第4節 法構造
  - 第3章 近世 (1350 - 1650)
    - 第1節 歴史過程
    - 第2節 社会構造
    - 第3節 統治構造
    - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

第7他学部履修科目  
1A開講部  
部講目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	またの 北野かほる	禅・仏教	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 法系
  - 第1節 近代法の法系
    - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
    - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
  - 第2節 イギリス法の特徴
    - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
  - 第3節 英米法の分類
    - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
  - 第1節 法内容の歴史性
    - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
  - 第2節 法概念の社会性
    - (1) 法の概念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
  - 第3節 法思考の実務性
    - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
  - 第1節 判例法
    - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
  - 第2節 判例法の理論
    - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
  - 第3節 制定法の解釈
    - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な分離解釈の理論

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円  
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わかばやしありさ 若林 亜理砂	禅・仏教	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持になうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	わかまつくにひろ 若松 邦弘	禅・仏教	2

講義のねらい

市場と国家の対立、民主主義の保証と統治の改善、国際統合の進展など、西ヨーロッパの諸国が今日抱える政治上の課題を理解するために重要な枠組みについて概説的な講義を行います。各国の相違というより地域の共通性、個別の事象というより基底の構造を明らかにすることに重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。

- ①ヨーロッパ政治をみる視点、②歴史的背景、③イデオロギーと政党グループ、④対外関係、⑤西欧における国際統合、⑥西欧の民主主義

履修上の留意点

現代政治は現実の問題であるため、新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新の国際ニュースに触れておくことが望まれます。参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。また、高校の「世界史」の知識を前提に授業を進めますので、自信のない人は復習しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	若松邦弘 <small>わかまつくにひろ</small>	禅・仏教	2

講義のねらい

議会政治の祖国であり、日本の政治制度にも大きな影響を与えてきたイギリスの政治をとりあげ、そのしくみを理解するために基礎となる見方を概説します。幅広く関心をもってもらうため、現代のイギリスを中心に講義を進めていきますが、表面的な知識の寄せ集めではなく、その裏にあるイギリス政治・社会の構造を理解してもらえよう期待しています。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。  
①「連合王国」の構成、②自由主義の歴史、③立憲体制、④議会、⑤行政機構、⑥政党制と選挙制度、⑦第二次大戦後の政治史

履修上の留意点

新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新のニュースに触れておくことが望めます。また、参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	小堀訓男 <small>こほりのりお</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

他学部履修開  
目講部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	うら 浦 た 田 さ 早 苗	禪・仏教	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合—— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教 科 書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	禪・仏教	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教 科 書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房) 2,000円

参 考 書 等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。  
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

そ の 他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
比較政治学	こ くれ けん たろう 木 暮 健太郎	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

本講義の目的は、20世紀に発展をとげた比較政治学の諸理論を中心に考察を行い、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視座を提供することである。それぞれの理論の解説を通じて、比較政治学のさまざまな理論が、現実政治を考察する上でいかに適応可能なのかという点についても言及する。政党システムや政治システムに関する代表的な理論から、討論型民主主義や電子民主主義といった近年の新しい理論まで、幅広くとり上げる。

前期（4月～7月）は、比較政治学の基本的な前提について考察した後、政党システムをめぐる理論を中心に講義を進める。

後期（9月～1月）は、現代世界の民主主義理論を中心に講義を進める。後期後半では、比較政治学と国際関係との関連性についても言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1～2）イントロダクション。（3～9）政党システムと政党システムの規定要因。（10～12）政党システムの変化といくつかの事例。（13）前期まとめ。  
（後期）（14～17）現代民主主義の基礎理論。（18～19）現代民主主義のタイプ。（20～22）新しい民主主義理論。（23～25）民主化と国際関係。（26）後期まとめ。

#### 履修上の留意点

関連する他の科目と併せて履修することが望ましい。また、この科目に関連する情報を新聞やニュース、インターネットなどを通じて日常的に収集し、理解を深める努力を求めたい。

#### 成績評価の方法

定期試験およびレポートの評価を総合して判断する。前期もしくは後期のいずれかを筆記試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

#### 教科書

岩崎正洋『政党システムの理論』（東海大学出版会）2,800円

#### 参考書等

河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治』（日本経済評論社）2,500円

#### その他

講義形式を中心とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おおつか 大塚 かつら 桂	禪・仏教	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。  
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。  
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。  
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営労務論	かしま ひであき 鹿嶋 秀晃	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

#### 講義の内容・授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

#### 履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのではないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

#### 成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

#### 教科書

テキストは特に指定しない。

#### 参考書等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』（ミネルヴァ書房）1993（定価3000円程度）、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』中央経済社、1995（定価2600円程度）、経営労務をより体系的に深く学習するのにより白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』東洋経済新報社、1992（定価3500円程度）をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

#### その他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/>

この科目は、再試験を実施しません。



科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	禅・仏教	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	山田勝	禅・仏教	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点      | (6) 継続性       |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量       |
| (3) 利潤          | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品          | (9) 価格革命      |
| (5) 市場          | (10) 情報社会と商業  |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

その他

この科目は、再試験を実施しません。

第7他学部履修科目  
IA開講科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしな ぎか くに あき 石名坂 邦 昭	禪・仏教	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学のアプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていないければならず、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)

石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎	禪・仏教	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 分 析 論	かたぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	禪・仏教	4

#### 講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
  - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
  - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
  - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
  - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

#### 講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

#### 履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

#### 成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

\*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」  
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（統）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

\*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

#### 教 科 書

開講時、指示します。

#### 参 考 書 等

随時、紹介します。

#### そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井 徹雄	禅・仏教	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお夫 西村和夫	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

#### 講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

#### 履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

#### 成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

#### 教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

#### 参考書等

そのつど紹介します。

#### その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこきょう 長 国 強	禅・仏教	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・  
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。  
 経営統計について：経営統計の役割、基礎概念  
 統計特性値：平均、分散、正規分布  
 市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理  
 経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測  
 経営指数：物価指数、数量指数  
 統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。  
 この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おく はら じゅん こ 奥 原 淳 子	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下において、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思えます。

#### 講義の内容・授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- ・「日本人」とはどれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

#### 履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

#### 成績評価の方法

出席(毎回とります)・提出物・発表・試験・レポート

#### 教 科 書

開講時指示します。

#### 参 考 書 等

開講時指示します。



科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	片山晴賢 <small>がた やま はる かた</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか  
どのように声を作っているのか  
音声をどのように表記するのか  
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷  
仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。  
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	服部龍太郎 <small>はっ どり りゅうたろう</small>	禅・仏教	4

講義のねらい

各時代の資料により、国語の様相を具体的に確認することによって、国語の歴史を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 概説 (2~4) 上代語 (5~8) 中古語 (9~11) 中世語 (前期)  
(12・13) まとめ  
(後期) (14~17) 中世語 (後期) (18~20) 近世語 (前期)  
(21・22) 近世語 (後期) (23) 近代語 (24) 現代語  
(25・26) まとめ

成績評価の方法

試験やレポート、受講状況等によって判断する。

教科書

適宜プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性史	高嶋 めぐみ	禅・仏教	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化概論	<small>のぶ</small> 蘭部 幹生・井上 優 <small>さとう</small> 佐藤 憲昭・内藤 寿子 <small>ふじた</small> 藤田 和美	禅・仏教	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

- ◎ 4月14日(水) オリエンテーション
- ①文学とタブー 《4/21、4/28、5/12、5/19、5/26、6/2 (6回)》
- ②タブーと宗教 《6/9、6/16、6/23、6/30、7/7、7/14 (6回)》
- ③メディアとタブー 《9/22、9/29、10/6、10/13、10/20、10/27 (6回)》
- ④慣習のタブー 《11/10、11/17、11/24、12/1、12/8 (5回)》
- ◎ 12月15日 まとめ
- ◎ 1月8日 レポート提出(資料室)

蘭部幹生  
井上 優  
佐藤憲昭  
内藤寿子  
藤田和美  
蘭部幹生  
蘭部幹生

他7第  
学部履修  
科目講部

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	小林 治・鈴木 裕子 園部 幹生・松田 直行	禅・仏教	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は、次の通りである。

- ①近現代文学の中の音と音楽 〈4/15, 4/22, 5/6, 5/13, 5/20, 5/27, 6/3〉 小林治
- ②説話文学における音 〈6/10, 6/17, 6/24, 7/1, 7/8, 7/15〉 園部幹生
- ③歌の近代史～J-POP への道程  
〈9/16, 9/30, 10/7, 10/14, 10/21, 10/28, 11/4〉 松田直行
- ④王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から—  
〈11/11, 11/18, 11/25, 12/2, 12/9, 12/16〉 鈴木裕子

履修上の留意点

最初の授業時(4/15)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	岡田 万里子	禅・仏教	4

講義のねらい

テーマ：歌舞伎と日本文化論

日本の古典劇のひとつにかぞえられる歌舞伎は、今日まで、いわゆる日本論、日本人論、日本文化論に、日本人のエートスの表象として引用されてきました。本講義は、履修者に対する歌舞伎へのガイダンスではありますが、歌舞伎を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、歌舞伎、さらには歌舞伎に託されたいわゆる「日本文化」を対象化し、分析、批判的に考察することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

歌舞伎を用いた日本文化論を講読します。関連する舞台のビデオ鑑賞や戯曲講読を通して理解を深めた上で、討議を行っていきます。

履修上の留意点

履修前の歌舞伎に関する予備知識は問いませんが、履修後は積極的に歌舞伎を含む古典芸能を鑑賞してほしい。土日あるいは夜間を利用して、団体鑑賞の機会を設けます。

成績評価の方法

前期および後期末のレポートと授業への貢献度などを総合的に勘案します。

教科書

河竹登志夫『舞台の奥の日本-日本人の美意識』(ティービーエスブリタニカ) 新装版2000年7月, 1,500円 ISBN4484002132,  
このほかの講読資料はコピーを配布します。

参考書等

教場において指示します。

第7他学部履修科目  
1A開講科目  
部講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつ だ なお 直 行 松 田 直 行	禅・仏教	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくリポートによって採点する。それ以外に、適宜提出していただく小リポートにより、出席を確認する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語（前期）	おか もと まこと 岡 本 誠	禅・仏教	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でいって言えば“Current English”ということになるだろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おおぶきかつお 大 吹 勝 男	禪・仏教	4

講義のねらい

近年ますます大学において、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実学主義・実用主義を売りものにする大学が増加しています。大学は学生および社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いかにいけば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役立たないもの、これらを学ぶのが大学です。何年かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、過労死か過労自殺をすることなく、そして使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会人として現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。母さん、学者の良心はどこまで転落してゆくのでしょうか。本講義では現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れるとともに、同時にロジステックスについても考え、さらに、サイプライチェーンとそのマネジメント（管理）について検討します。また、マーケティングおよびブランドの問題についても検討する予定です。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程 商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論・自立化論・卸売排除論・電子商取引（eコマース）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教 科 書

大吹勝男『流通費用の基礎理論』（4月刊行予定）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会思想史	あべひろし 阿部弘	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

#### 講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

#### 成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは5月・7月・10～11月・12月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。

年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、5月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからのテーマをも設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

#### 教科書

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）3,200円＋税

#### その他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	い ち じ ゃ 岩 下 弘	禪・仏教	4

講義の内容・  
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 90年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
  - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法 3) 1991年改正法
  - 5 凍結宣言、要綱及び条例
  - 6 通産省による行政指導=抑制措置
  - 7 規制緩和
    - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
  - 8 特定商業集積法
  - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
  - 1 大店立地法
  - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
  - 1 イギリス
    - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法 2) 日曜営業問題-商店法
  - 2 フランス-ロワイエ法
  - 3 ドイツ-土地利用計画
  - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

その都度指示する。

フ他学部履修科目  
B開講

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん 鄭 ちん 章 よん 淵	禅・仏教	4

### 講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

#### 〔前期〕

1. 経済発展の前史
  - (1) 植民地経済の概要
  - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジア NIEs の経済発展
  - (1) アジア NIEs の範疇と経済発展の特徴
    - ※NIEs の用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
  - (2) 開発独裁体制の成立
    - ※韓国の事例、その他の開発独裁
  - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN 諸国の経済発展
  - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
  - (2) ASEAN の歴史
  - (3) 日本企業の進出状況

#### 〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
  - (1) 中国の開放政策
  - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
  - (1) アジア NIEs 論
  - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
  - (1) APEC の発展過程
  - (2) ASEAN の自由化過程
  - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
  - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
  - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
  - (3) 日本とアジアとの関係の展望

他学部履修科目講

### 成績評価の方法

前期および夏期の2回のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

### 教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。  
大野健一・桜井宏二郎【東アジアの開発経済学】(有斐閣アルマ) 2,000円(税抜き)

### 参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。



科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつおか たくみ 光岡 博美	禅・仏教	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらき よしひろ 荒木 勝 啓	禅・仏教	4

### 講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することにある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されるかもしれない。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつきまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始め、水に価値が生まれはじめる。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思ってい

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

### 講義の内容・授業スケジュール

### 成績評価の方法

### 教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
銀 行 論	さいとう 藤 正 齋 藤 正	禪・仏教	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、ペイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
  - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。  
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
  - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期では戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
  - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
  - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
  - 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

他学部履修科目  
開講

履修上の留意点

- 理解をさらに深めるために
- 1) 前期科目の「現代産業事情 III（野村證券提供講座）」
  - 2) 通年科目の「金融論」、  
を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、定期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年。  
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）  
日本銀行『新版 わが国の金融制度』  
建部正義『はじめて学ぶ金融論』大月書店

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	たか 高 橋 ひろ き 洋 城	禅・仏教	4

### 講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということに自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

### 講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アキナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

### 履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

### 成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

### 教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

### 参考書等

法思想史に関する概説書の例として  
 ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。  
 ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。  
 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげのたかはる 茂野隆晴	禪・仏教	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことも配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、終りに『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようなればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 序 日本法制史を学ぶにあたって
- I 日本法制史とは
  - II 基礎法学のなかの法制史
  - III 日本法制史の時代区分
  - IV 日本法制史教育の沿革
- 第1章 上古（氏族法時代）
- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化
- 第2章 中古（律令法時代）
- (1) 総説 (2) 律令法
- 第3章 中世（武家法時代前期）
- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文
- 第4章 近世（武家法時代後期）
- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令
- 終りに 『家』制度と現代の法意識

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	荒井 登志夫	禅・仏教	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われています。本講では、独占禁止法、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③抽象的な規定の適用実態を理解できるよう具体的な適用事例を挙げて説明する計画です。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕(1~3)前史、全体像・基本的概念 (4~5)私的独占 (6~10)不当な取引制限等(価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11~13)不正な取引方法・前半  
 〔後期〕(14~16)不正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (17~18)第四章規定(株式所有・合併・持株会社) (19)寡占問題(独占の状態・価格の同調的引上げ) (20~23)公正取引委員会、手続規定・措置体系 (24~25)国際的環境(海外独占法、国際的協定) (26)まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

舟田正之・根岸哲『独占禁止法概説』(有斐閣) 3,600円  
 なお、適宜プリントを配付し、法改正情報、事例研究の参考となるようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	南山 淳	禅・仏教	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバルゼーションの拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念的な理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の(特に理論的な)研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教科書

南山淳著『国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—』(国際書院)  
 進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』(有斐閣)

参考書等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみいゆき 富井幸雄	禅・仏教	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。  
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	禅・仏教	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倒産処理法	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	禅・仏教	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するか学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

山本和彦著『倒産処理法入門』（有斐閣）

参考書等

霜島甲一著『倒産法体系』（勁草書房）

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式をとり入れることもある。



科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 営 学	みやぎ てつ 宮 城 徹	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

#### 講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2004年度『アメリカ経営学』授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力 (パワー) (8)
- IV 戦略 (特に提携、グループ、ファミリー) (4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

#### 成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

#### 参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine okonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

#### そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 財 務 論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	禅・仏教	4

#### 講義のねらい

##### 〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

##### 〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

#### 講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

他学部履修科目

#### 履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

#### 成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

#### 参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）  
柴谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

#### その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	ひのけんた 日野健太	禅・仏教	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）  
 大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）  
 田尾『モチベーション入門』（日経文庫）  
 経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	その だ て つ お 園 田 哲 男	禅・仏教	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

園田哲男著『企業論』（八千代出版）2,800円  
適宜プリントの配布を行う。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	禅・仏教	4

講義のねらい

この講義では、すでに受講者が「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本的な理論と手法について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価します。ただし、中心になるのは期末試験の結果です。

教科書

開講時に指定します。なお、適宜、プリントを配布します。

参考書等

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）  
櫻井通晴著『管理会計（第二版）』（同文館）  
岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子著『管理会計』（中央経済社）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	禪・仏教	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1)
  - ①監査の必要 ②監査の意義
  - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的 (2)
  - ①監査の目的 ②監査思想の変遷
  - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
  - ①証券取引法監査 ②商法監査
  - ③その他の監査制度
8. 監査基準 (1)
  - ①必要性 ②生成と展開
9. 監査基準 (2)
  - ①意義 ②体系 ③一般基準
  - ④実施基準 ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試査
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調査
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
  - ①監査概念の拡大化
  - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

他学部履修科目  
B開講

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』(東京経済情報出版) 3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円  
 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円  
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円  
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円  
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円  
 山杵忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円  
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 経 済 論	は 羽 鳥 茂 とり しげる	禪・仏教	4

講義のねらい

日本経済の現状と課題について以下の12のテーマを中心に、データと経済理論にもとづいて講義します。経済理論の最近の発展は著しく、それらについても現実経済への応用を重視しながら解説します。

講義の内容・授業スケジュール

前期：

- (1・2) 日本経済の全体像と国民経済計算
- (3・4) 成長と変動の理論と実際
- (5・6) 資産価格の決定とバブル
- (7・8) 雇用・賃金と労働経済
- (9・10) 企業とコーポレート・ガバナンス
- (11・12) デフレ・スパイラルとインフレーション・ターゲティング
- (13) まとめ

後期：

- (14・15) 為替レートの変動とデリバティブ
- (16・17) 日本経済空洞化論と直接投資
- (18・19) 財政赤字とサステナビリティ
- (20・21) 金融と不良債権および金融政策
- (22・23) 人口構造の変化とマクロ経済
- (24・25) 社会保障と年金
- (26) まとめ

履修上の留意点

経済は誰にとっても生活の1つの重要な要素であるからテレビや新聞で報道される経済ニュースに日頃から接するように心がけて、問題意識を養うようにしてください。

成績評価の方法

原則として年度末の定期試験によって評価します。

教科書

小峰隆夫『最新日本経済入門』第2版（日本評論社）2003年 2,500円

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。また参考文献の紹介も講義のなかで行います。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

他学部履修科目  
フレB開講

# Ⅳ 短大仏教科開設科目

短大仏教科  
開設科目



開設科目  
短大仏教科

## IV. 短大仏教科開設科目

インド・チベット仏教演習	〈木村誠司〉	387
中国仏教演習	〈奥野光賢〉	387
仏教思想演習	〈袴谷憲昭〉	388
仏教文学演習	〈石井公成〉	388

開設科目  
短大仏教科

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド・チベット仏教演習	木村誠司	禅・仏教	4

講義のねらい

ツォンカパ（1357-1419）は、ダライ・ラマの属する宗派ゲルク派を開いた人物で、チベット仏教を代表する学僧である。本講義では、ツォンカパの顕教教理を扱う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代の研究に基づいて、ツォンカパの思想を整理する。後期は、ツォンカパの顕教に関する著作をできるかぎり多く講読する。その際、必要な関係資料も参照する。資料は、コピーして適宜配布する。

成績評価の方法

レポートによって行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教演習	奥野光賢	禅・仏教	4

講義のねらい

「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標としたい。本年度は「三論宗」の項から読み始める。

講義スケジュールは以下のような予定とする。

（前・後期）

（1）授業を進めるにあたっての諸注意と心構え、参考書の指示

（3～4）『八宗綱要』解題

（5回目以降）講読開始

履修上の留意点

演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なうので安心して欲しい。何よりも大切なのは意欲である。

成績評価の方法

純然たる演習科目なので、成績評価は通常点のみで行なう。

教科書

鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）

参考書等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教思想演習	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	禅・仏教	4

講義のねらい

この演習は、仏教文献、特に、日本のそれを通して、仏教思想を解明せんと設けられたものである。その目的のために、当面は、源信（942-1017）に先立つことほぼ一世紀前に活躍した我が国の安然（841-?）の著わした『真言宗教時義』を講読する。本書の四一教判によって、仏教の「全一思想」ともいべき「本覚思想」が我が国においても確立されたと思ふのであるが、その「本覚思想」とはなにかを、この思想のその後の日本仏教へ与えた影響の大きさに鑑み、考察せんとするのが、本演習の目的である。

講義の内容・  
授業スケジュール

原漢文を最初より順次講読していく。

履修上の留意点

漢文の読解が苦手なものであっても、「本覚思想」のなんたるかを自ら吟味してみようと思うものであれば歓迎したい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教 科 書

安然『真言宗教時義』、大正新修大蔵経、第75巻、374頁上-450頁上所収のものをテキストとする。入手困難なものにはコピーを用意したい。

参 考 書 等

国訳一切経、和漢撰述部、諸宗部18。末木文美士訳『安然・源信』（大乘仏典、中国・日本篇19、中央公論社、1991年）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教文学演習	いし い こう せい 石 井 公 成	禅・仏教	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。本年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。

講義の内容・  
授業スケジュール

男女の愛情・無常・自然観・夢・ケガレと罪、その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくため、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答による。討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教 科 書

コピーを配布する。

参 考 書 等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

## V 「日本語」・「日本事情」科目

〔日本事情〕  
〔日本語〕

# V. 日本語・日本事情科目

(対象:外国人留学生・海外帰国子女)

## 《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	393
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	393
日	本	語	II	〈佐野典子〉	393
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	394
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	394
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	395
日	本	語	IV	〈石川守〉	395
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	395
日	本	語	V	〈石川守〉	396
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	396
日	本	語	VI	〈石川守〉	397
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	397

## 《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕	(前期)	〈高橋健太郎〉	398
日本事情 II	〔自然〕	(前期)	〈清水善和〉	399
日本事情 III	〔歴史〕	(後期)	〈浅倉直美〉	400
日本事情 IV	〔思想〕	(前期)	〈赤羽由規子〉	400
日本事情 V	〔社会〕	(後期)	〈川本勝〉	401
日本事情 VI	〔政治・法律〕	(後期)	〈三竹直哉〉	401
日本事情 VII	〔文学〕	(後期)	〈近衛典子〉	402
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽由規子〉	402
日本事情 IX	〔経済〕	(前期)	〈吉田敬一〉	403
日本事情 X	〔経営〕	(前期)	〈永田智則〉	403



「日本事情」  
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。  
漢字の正確な読み、語彙の様々な意味・使い方、表現等を知ることで、日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・まず常用漢字を基本とした語句の読み方を覚え、様々な使い方を知る。
- ・それらを使った例文を通してかたい文章を読むことにも慣れる。
- ・また用例から助詞・機能語・慣用表現・文法等の復習もする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、小テスト）および期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文科系教科の概論・入門書・新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- ・教室活動を通して正しく適切な表現を用いて言いたいことが自由に話せるようになることを目指す。
  - ・発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
  - ・短時間で文章が書けるようにする。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・説明、意見・提案などのスピーチ、その内容について質疑応答・意見交換・討論、ディベートなどを行う。
- ・テープで自分が話した日本語を聞く。
- ・話の内容、感想、意見などを限られた時間内で文章にまとめる。

履修上の留意点

授業活動が大切なので毎時間出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて日本語で聞き取り、その内容や自分の考えを口頭および文章で的確に表現できるようになることを目指す。

講義の内容・  
授業スケジュール

- ・今話題になっているテーマについてビデオを使って内容を把握し、必要に応じて細部まで理解する。
- ・その内容を口頭で説明したり自分の考えを述べたり討論したりする。
- ・また、書き言葉でも表現する。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加し毎時間提出物を出すこと。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、意見を持ち、発表・説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読む。読んだ後に、意見を出し合い、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。後期は、各自分担を決めて、調べたり資料を収集したりして発表を行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

テスト（漢字・語彙テストなど）、小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の話の聴き方、授業態度など）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	全学科	2

講義のねらい

日本の多くのことわざのもとになっている「いろはかるた」を使って日本語の中上級の文法・表現・文法・アクセントなどを勉強していく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「ぬ」から行っていくことにする。

1. 「盗人の昼寝」
2. 「糠に釘」
3. 「瑠璃も玻璃も照らせば光る」
4. 「頬をもって集まる」
5. 「老いては子に従う」

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみ（出席と授業への参加態度）と期末試験等で総合的に評価する。評価の比率は、50：50ほど。

教科書

授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義、そして実践し、原稿用紙に書く。書いたものを再度見なおす。

履修上の留意点

講義・授業中の活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（5回程度）  
授業活動（発言、授業態度、提出物など）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、自作プリントを使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、呼称からはじめ、指示詞、場所関係の表現、形容詞・形容動詞、テンスとアスペクト、依頼、などの順で進んでいく。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は、基礎的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度・態度など＝質問への答え）の二つで評価する。比率は50：50ぐらいである。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	多田羅 哲子 <small>たたら めき こ</small>	全学科	2

講義のねらい

来日後間もない人を対象に、日本で生活する上で必要な基本的日本語を中心に、総合的に学習する。

講義の内容・授業スケジュール

初中級レベルからスタートし、話すことを中心に進める。また、聞く、必要に応じて読み・書き（漢字）も練習する。

履修上の留意点

出席して、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を中心に判断する。

教科書

後日、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	石川 守 <small>いしかわ まもる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本語 V で学習した基礎文法の残りを学習していく。

講義の内容・授業スケジュール

日本語 V で学習した内容は引き続き、更にもその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法
- その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

履修上の留意点

授業は学生への質問という形をとって進めていくので、積極的に発言すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と平常点（出席。授業態度＝授業への参加度）、比率は50：50ほど。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	多田羅 哲子 <small>ただら あきこ</small>	全学科	2

講義のねらい

- ・読解能力を向上させる。
- ・文章を読むことを通して、文法や適切な表現・語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・さまざまな種類の文章を、自分で調べながら読んでいく。
- ・そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、必要なものについてはより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

出席するだけでなく、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I (前期) 〔地理〕	たか 高 橋 けん 健太郎	全学科	2

講義のねらい

空間的側面と関連づけて、人々の生活や地域社会の仕組みと変化について考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に以下の項目について検討する予定である。◇日本の地域性、◇農山村の生活と地域振興、◇都市の構造、◇観光開発、◇地図と地名。

また、日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポートと学期末の筆記試験で評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ(前期) 〔自然〕	しみず よしかず 清水 善和	全学科	2

#### 講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

#### 講義の内容・授業スケジュール

##### 第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲
2. 行政区分
3. 位置の特徴

##### 第Ⅱ章 気候

1. 気候帯
2. 日本近海の海流
3. 気候の特徴
4. 気団と季節
5. 気象観測
6. 気候と文化

##### 第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島
2. 変動の歴史
3. 多様な地形
4. 火山
5. 地震

##### 第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯
2. 生物多様性
3. 生物地理区
4. 里山の生物
5. 帰化生物

##### 第Ⅴ章 自然保護の諸制度

1. レッドデータブック
2. 国内の法律
3. 国際条約

#### 履修上の留意点

なし。

#### 成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

#### 教科書

講義のアウトラインを記したweb版教科書(清水執筆)を紹介する。

#### 参考書等

web版教科書で分野ごとの参考書を紹介する。

#### その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。



科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ(後期) 〔歴史〕	あさくら なおみ 浅倉直美	全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ(前期) 〔思想〕	あかば ゆきこ 赤羽由規子	全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。  
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ(後期) 〔社会〕	川本 勝 <small>かわもと まさる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本社会にはどのような特質があるかを考えてみたい。情報化が進展し日本社会は変貌している。それにともない、日本人の人間関係、社会的行動、社会生活も変化してきている。それらの様相と問題点を検討してみたい。

講義の内容・  
授業スケジュール

1. 変貌する日本の社会－都市化社会、高度情報社会の出現－
2. 生活環境の変容と生活行動－情報環境の変容と情報行動を中心として－
3. 新しい時代の人間関係と社会生活
4. まとめ－日本社会の特徴とは何か－

履修上の留意点

講義内容に関連する社会事象を見つけて発表してもらいます。さまざまな社会問題等に関心を持つよう心がけ、積極的に参加、発言することが望まれる。

成績評価の方法

授業時間内での発表等の平常点とレポートのよって評価する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ(後期) 〔政治・法律〕	三竹直哉 <small>みたけ なおや</small>	全学科	2

講義のねらい

この授業は、留学生のみなさんとともに、日本の政治について、楽しく考える授業です。

講義の内容・  
授業スケジュール

授業の内容は、最初の回に、履修するみなさんにアンケートをとり、みなさんが、日本政治のどういう点に興味や疑問をもっていて、どういうことを授業でディスカッションしたいかを把握してから決めます。

人数にもよりますが、みなさん自身で、日本の政治について、調べてきてもらったり、発表してもらったりすることもあります。

履修上の留意点

辞書を使いながらでよいので、日本語で新聞を読むこと、また、日本語で政治についてディスカッションできることを前提条件とします。

また、日頃から、日本の新聞やテレビで、日本の政治についての情報に接していることも条件とします。

成績評価の方法

平常点（発言点など）と期末試験を総合して素点を出します。

教科書

今のところ使う予定はありません。

参考書等

適宜、授業中に紹介します。

その他

たくさん発言してください。  
最新情報は、下記のホームページで確認してください。  
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅶ (後期) 〔文学〕	このえのりこ 近 衛 典 子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・  
授業スケジュール

日本文学作品を読み進めながら、年中行事、日本の美意識の変遷、文学と絵画の関係など、幅広く日本文化のあり方を考える。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。第1回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教 科 書

その都度指示する。

参 考 書 等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅷ (後期) 〔文化・芸術〕	あかばゆきこ 赤 羽 由 規 子	全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経済〕	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。再・追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経営〕	なが た とも のり 永 田 智 則	全学科	2

講義のねらい

いかなる国も海外との交易を遮断して経済を発展させることはできません。この視点から本講義では、日本の貿易に焦点をあて、東アジア経済の変貌と日本経済について概説します。

講義の内容・授業スケジュール

- 1. 日本経済と国際貿易、
- 2. 為替変動と日本経済、
- 3. 東アジア経済の発展と日本の貿易構造、

履修上の留意点

授業では講義に関連する世界の出来事を取り上げ、ディスカッションの場を設けます。活発に発言し積極的に授業に参加することを期待しています。

成績評価の方法

課題レポートを参考に、授業への出席を重視して平常点で評価します。

教科書

教材は、プリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

「日本事情」  
「日本語」

# VI 随 意 科 目



## VI. 随意科目

英語(海外演習)	409
フランス語(海外演習)	409
中国語(海外演習)	409
日本宗教文化史(小川順敬)	410
民間信仰論(谷口貢)	410
書道史(那須隆吉)	411
編集実務(長谷川孝)	411



随意科目

科目名	配当学科	単位
英語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよび現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単位
フランス語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期留学セミナーでの3週間におよび現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単位
中国語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよび現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 宗 教 文 化 史	お <sup>がわ</sup> とし <sup>ゆき</sup> 小 川 順 敬	禪・仏教2年次～	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。  
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）

ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。

山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教 科 書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 間 信 仰 論	たに <sup>ぐち</sup> <sup>みつぎ</sup> 谷 口 貢	禪・仏教2年次～	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の2冊を紹介しておきたい。

そ の 他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道史	那須隆吉	禅・仏教2年次～	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』（二玄社） 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	長谷川孝	禅・仏教2年次～	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」（視点・視野・視角）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と授業で書く短文（イケン文）など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

